

桐生市男女共同参画 市民意識調査報告書

平成27年7月

桐生市

目 次

1 調査の概要と回答者の構成

(1) 調査の概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の方法	1
3) 調査内容・質問項目	1
4) 回収結果	2
5) 本報告書の見方	2
(2) 回答者の構成	3
1) 性別	4
2) 年齢	4
3) 職業等	5
4) 結婚暦	5
5) 共働き	6
6) 家族構成	6

2 調査結果

(1) 男女平等意識について	7
問 1 性別役割分業意識	7
問 2 男女の地位の平等感	9
(2) 仕事と職場について	18
問 3 職場での男女差の実態	18
問 4 女性が仕事を持つことに対する考え	19
問 5 女性が就業を継続・再就職するために必要なこと	20
(3) 結婚観、家庭生活について	21
問 6 結婚に関する意識	21
問 7 家事等の役割分担状況	25
問 8 子育ての方針	37
問 9 男性の育児休業取得について	38
(4) 老後生活、介護について	39
問10 老後についての不安	39
問11 自分自身の介護の希望	40
問12 介護の現状	41
問13 家族に対する対応の希望	42

(5)人権について	43
問14 女性の人権について	43
問15 配偶者間等の男女間の暴力(DV)について	44
問16 DVの相談状況について	48
問17 差別や人権侵害の経験	49
(6)地域参画、地域活動について	50
問18 地域活動への参画状況	50
問19 ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なこと	51
問20 今後の女性増加を望む職業・役職	52
問21 桐生市委員会等への女性参画のために必要なこと	53
(7)市の施策等について	54
問22 ことば、法律、市の施策の認知度	54
問23 男女共同参画社会実現のために注力すべきこと	55
(8)国の施策等について	56
問24 女性活躍推進のために行政に期待すること	56
問25 女性が働きやすい職場にするために必要なこと	57
(9)自由意見	58

3 参考資料

「男女共同参画に関する市民意識調査」調査票

1 調査の概要と回答者の構成

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

桐生市における男女共同参画の現状と、市民の意識を把握し、男女共同参画行政施策の基本資料とする。

2) 調査の方法

- ①対象:20歳以上80歳未満の男女 1,000人
- ②抽出方法:住民基本台帳より男500人、女500人を無作為抽出
- ③調査方法:調査票を郵送し、返信用封筒にて回収
- ④期間:平成27年2月～3月

3) 調査内容・質問項目

分類	質問項目
(1) 男女平等意識について	問1 性別役割分業意識
	問2 男女の地位の平等感
(2) 仕事と職場について	問3 職場での男女差の実態
	問4 女性が仕事を持つことに対する考え
	問5 女性が就業を継続・再就職するために必要なこと
(3) 結婚観、家庭生活について	問6 結婚に関する意識
	問7 家事等の役割分担状況
	問8 子育ての方針
	問9 男性の育児休業取得について
(4) 老後生活、介護について	問10 老後についての不安
	問11 自分自身の介護の希望
	問12 介護の現状
	問13 家族に対する対応の希望
(5) 人権について	問14 女性の人権について
	問15 配偶者間等の男女間の暴力(DV)について
	問16 DVの相談状況について
	問17 差別や人権侵害の経験
(6) 社会参画、地域活動について	問18 地域活動への参画状況
	問19 ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なこと
	問20 今後の女性増加を望む職業・役職
	問21 桐生市委員会等への女性参画のために大切なこと
(7) 市の施策等について	問22 ことば、法律、市の施策の認知度
	問23 男女共同参画社会実現のために注力すべきこと
(8) 国の施策等について	問24 女性活躍推進のために行政に期待すること
	問25 女性が働きやすい職場にするために必要なこと
(9) 自由意見	
質問数合計	25

4) 回収結果

配布数	回収数	回収率
1,000	351	35.1%

5) 本報告書の見方

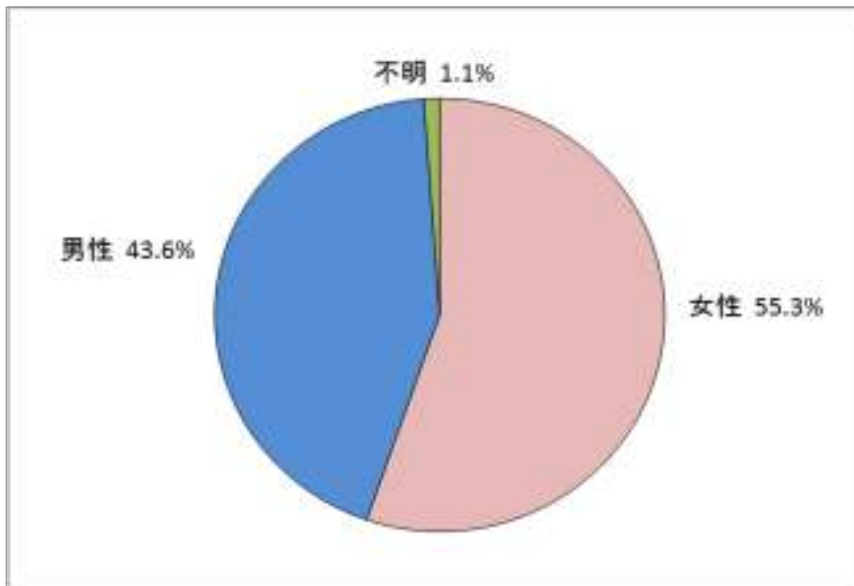
- ①集計はそれぞれの質問の回答者数を基礎とした百分率(%)で示している。
- ②百分率(%)は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までの表示とした関係で、合計は100%とならない場合がある。
- ③複数回答(2つ以上回答してよい質問)の場合は、各回答の合計が100%を超える場合がある。
- ④男女別、年代別などは、不明の人がいたため、合計の全体とは一致しない。
- ⑤前回調査との比較を行った項目では、平成21年度の意識調査との比較をしたものである。設問の表現や選択肢の文面等が変わったものについては、類似の設問との比較をした。

(2) 回答者の構成(人)

属性		女性	男性	性別不明	合計
年齢	20歳代	22	14	0	36
	30歳代	29	18	0	47
	40歳代	31	24	0	55
	50歳代	29	26	0	55
	60歳代	45	39	0	84
	70歳代	38	32	0	70
	不明	0	0	4	4
	総数	194	153	4	351
職業等	自営業	13	28	0	41
	勤め人(常勤)	45	68	0	113
	勤め人(パート、アルバイト、嘱託など)	42	7	0	49
	専業主婦・専業主夫	53	3	0	56
	学生	4	3	0	7
	無職	30	38	0	68
	その他	7	6	0	13
	不明	0	0	4	4
総数	194	153	4	351	
結婚暦	既婚(配偶者あり・事実婚含む)	128	112	0	240
	既婚(配偶者なし)	33	8	0	41
	未婚	33	33	0	66
	不明	0	0	4	4
	総数	194	153	4	351
共働き	共働き	60	47	0	107
	どちらか1人だけ働いている	37	39	0	76
	両方働いていない	25	24	0	49
	不明	6	2	0	8
	総数	128	112	0	240
家族構成	一人世帯	27	18	0	45
	夫婦のみ(事実婚含む)	44	48	0	92
	二世帯世帯	86	64	0	150
	三世帯世帯	33	15	0	48
	その他	4	8	0	12
	不明	0	0	4	4
	総数	194	153	4	351

1) 性別

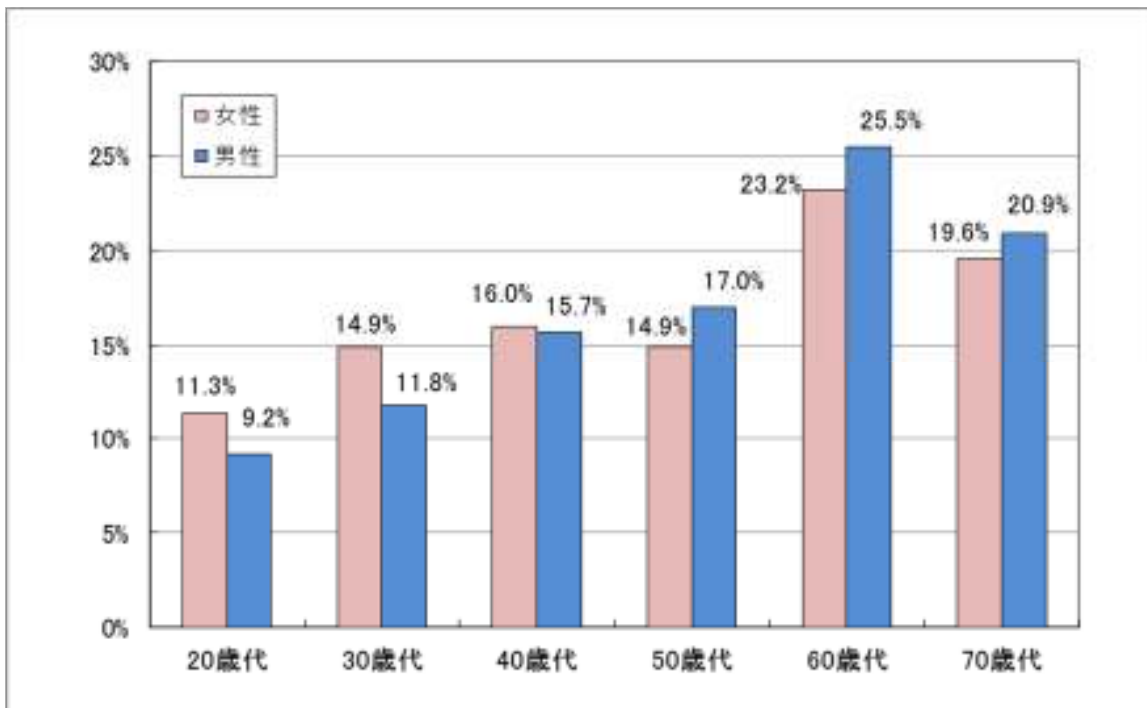
総数 351人



男女比は、女性55.3%、男性43.6%で女性のほうがやや多い。不明(性別未回答者)は1.1%である。

2) 年齢

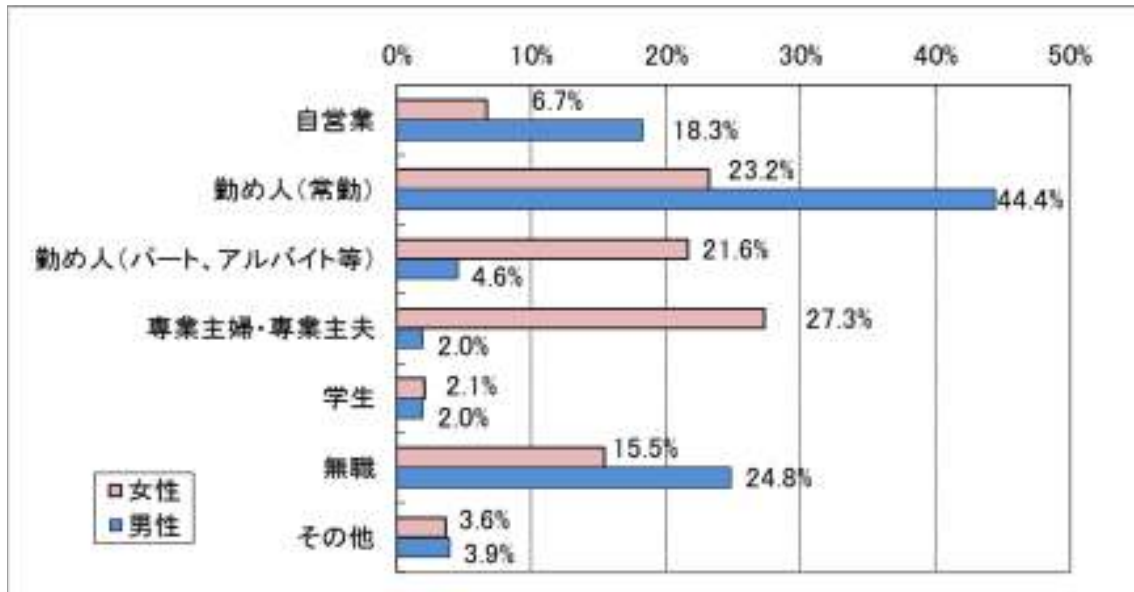
総数 351人



年代は、男女とも60歳代が最も多く、ついで70歳代が多かった。

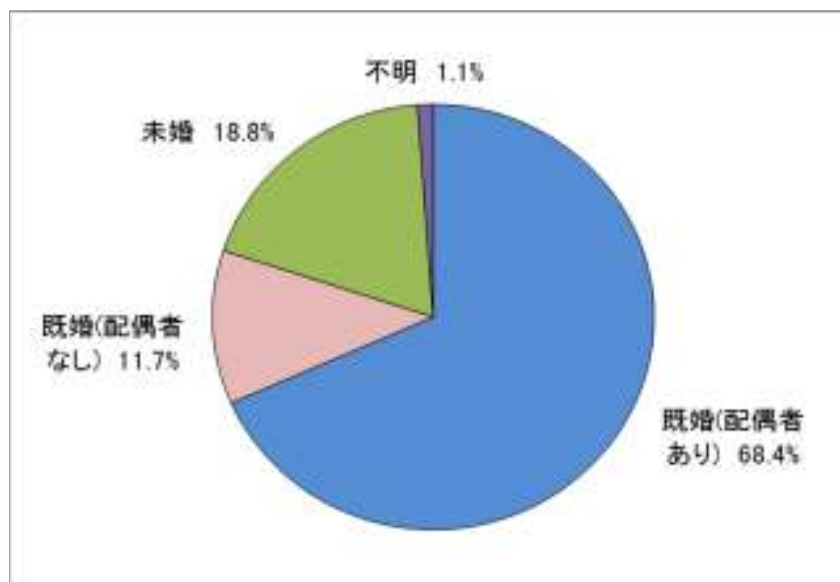
3) 職業等

総数 347人



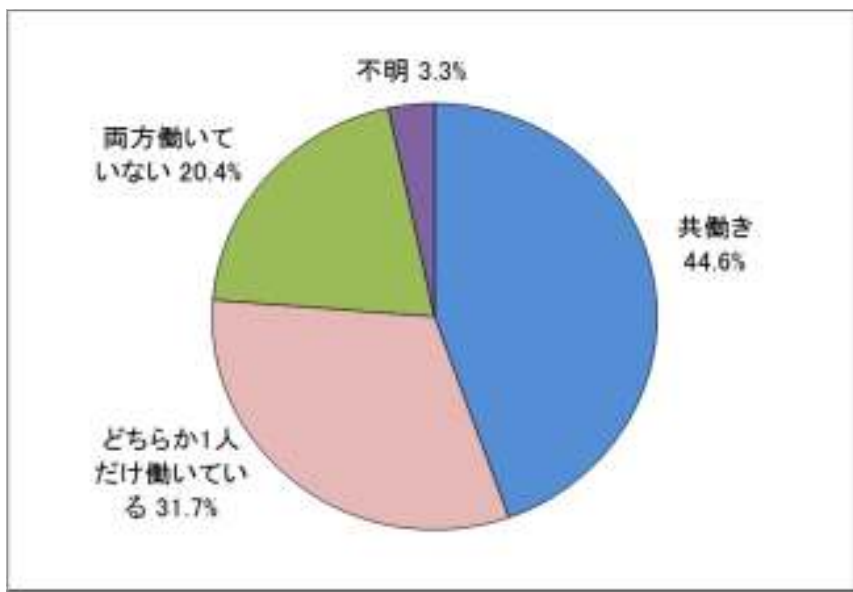
4) 結婚暦

総数 351人



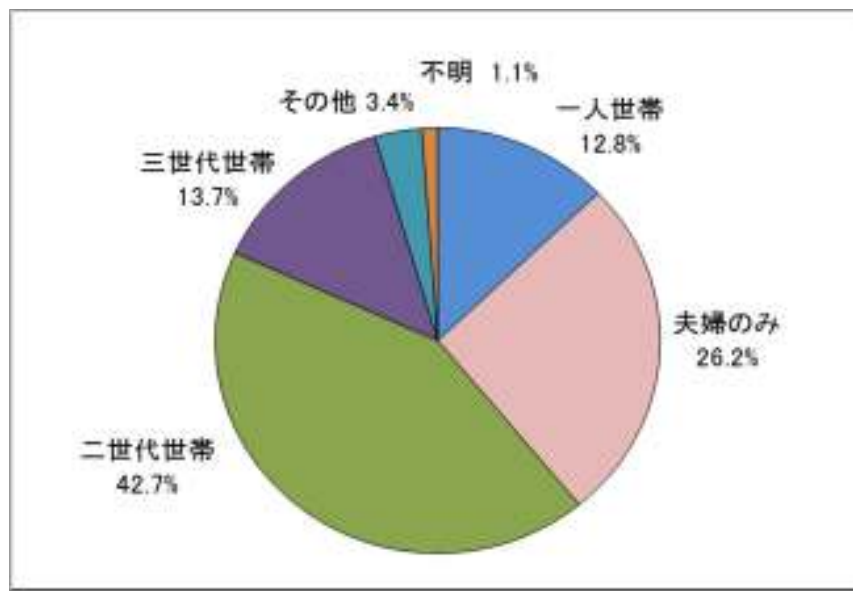
5) 共働き（既婚者(配偶者あり)のみ回答)

総数 240人



6) 家族構成

総数 351人

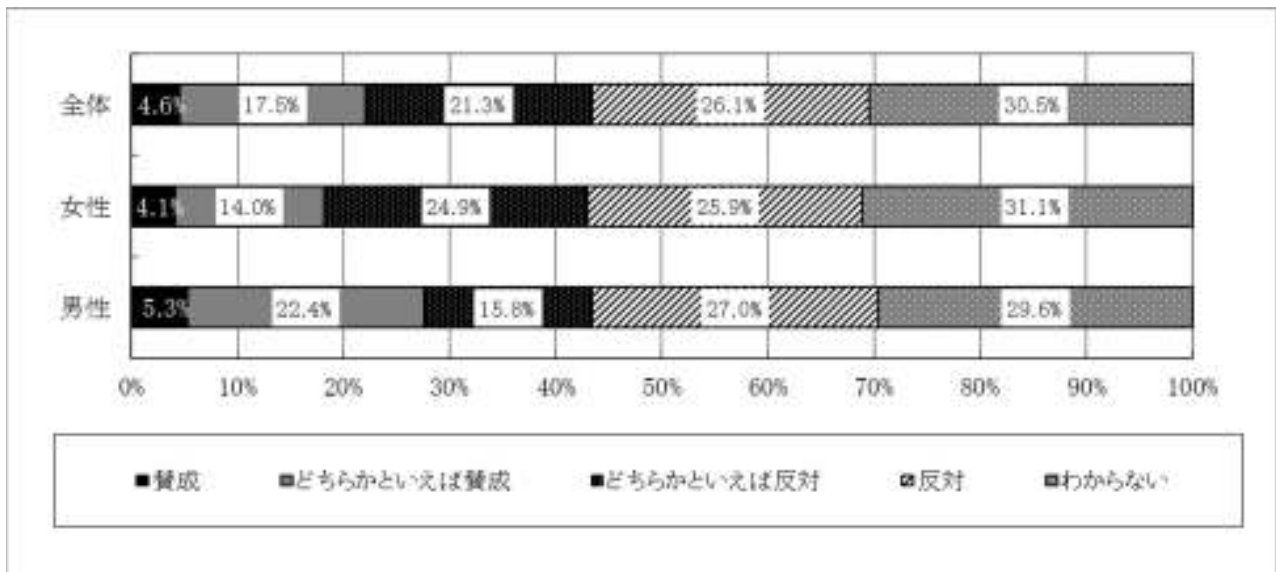


2 調査結果

(1) 男女平等意識について

問1 性別役割分業意識

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたは賛成ですか。反対ですか。(回答は1つ)



◆全体では、「男は仕事、女は家庭」という考えに『反対』(『どちらかといえば反対』を合わせ)の割合は47.4%で、『賛成』(『どちらかといえば賛成』を合わせ)の22.1%を上回った。『わからない』の割合は30.5%であった。

◆前回調査では、『反対』(『どちらかといえば反対』を合わせ)は55.0%、『賛成』(『どちらかといえば賛成』を合わせ)は34.1%、『わからない』が10.9%であったが、今回調査では賛成・反対ともに割合は下がり、『わからない』の割合が大幅に増加している。

◆一方、内閣府調査(※1)では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えについて、『反対』(『どちらかといえば反対』を合わせ)が49.4%、『賛成』(『どちらかといえば賛成』を合わせ)が44.6%、『わからない』が6.0%であった。
平成21年の調査と比較すると、『反対』の割合が下がる一方で、『賛成』の割合と『わからない』の割合が上がっており(※2)、傾向の変化が見られる。

※1 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成26年)

※2 平成21年調査では、『反対』(『どちらかといえば反対』を合わせ)55.1%、『賛成』(『どちらかといえば賛成』を合わせ)41.3%、『わからない』3.6%であった。

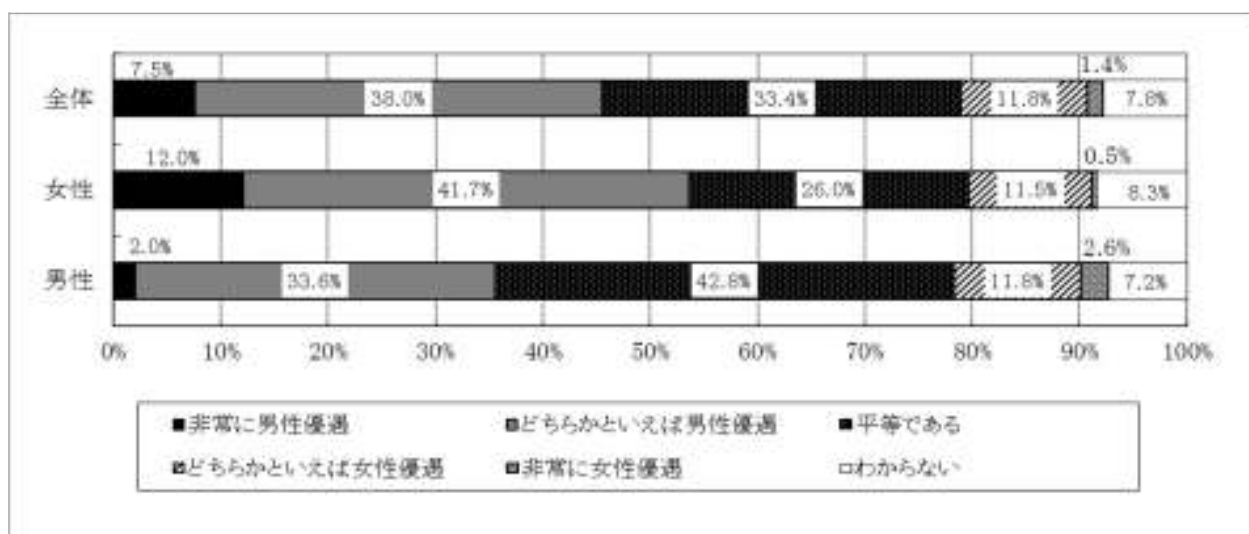
	賛成	いどちらか えば賛成	(賛成の計)	いどちらか えば反対	反対	(反対の計)	わからない
全体	4.6%	17.5%	22.1%	21.3%	26.1%	47.4%	30.5%
女性	4.1%	14.0%	18.1%	24.9%	25.9%	50.8%	31.1%
20歳代	0.0%	27.3%	27.3%	13.6%	18.2%	31.8%	40.9%
30歳代	10.3%	0.0%	10.3%	27.6%	41.4%	69.0%	20.7%
40歳代	0.0%	9.7%	9.7%	29.0%	32.3%	61.3%	29.0%
50歳代	0.0%	10.3%	10.3%	34.5%	24.1%	58.6%	31.0%
60歳代	4.5%	15.9%	20.5%	20.5%	20.5%	40.9%	38.6%
70歳代	7.9%	21.1%	28.9%	23.7%	21.1%	44.7%	26.3%
男性	5.3%	22.4%	27.6%	15.8%	27.0%	42.8%	29.6%
20歳代	0.0%	7.1%	7.1%	14.3%	42.9%	57.1%	35.7%
30歳代	0.0%	17.6%	17.6%	23.5%	23.5%	47.1%	35.3%
40歳代	4.2%	29.2%	33.3%	8.3%	20.8%	29.2%	37.5%
50歳代	0.0%	23.1%	23.1%	11.5%	38.5%	50.0%	26.9%
60歳代	10.3%	23.1%	33.3%	12.8%	25.6%	38.5%	28.2%
70歳代	9.4%	25.0%	34.4%	25.0%	18.8%	43.8%	21.9%

問2 男女の地位の平等感

以下の場面での男女の地位の平等感に関する実態について、あなたはどのように思いますか。

(各項目1つ選択)

① 家庭生活



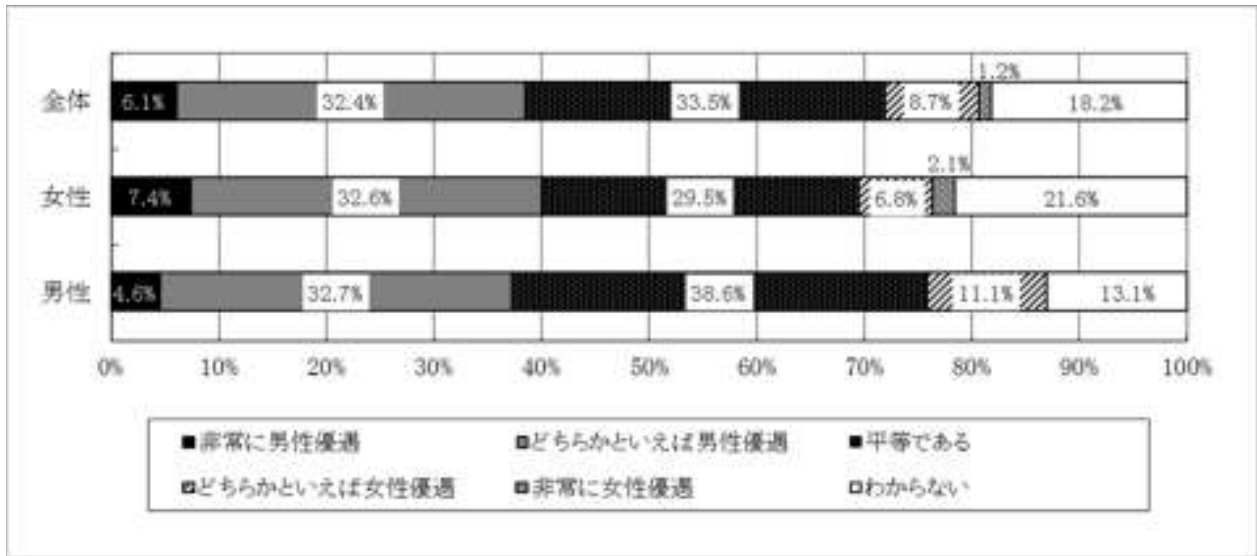
◆家庭生活の男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が45.5%で、『女性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合は13.3%であった。

◆男女別では、女性は『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）と答えた割合が高いのに対し、男性は『平等である』と答えた割合が高かった。

◆全体、男女別ともに、前回調査と大きな変化は見られなかった。

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	(男性優遇の計)	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	(女性優遇の計)	わからない
全体	7.5%	38.0%	45.5%	33.4%	11.8%	1.4%	13.3%	7.8%
女性	12.0%	41.7%	53.6%	26.0%	11.5%	0.5%	12.0%	8.3%
20歳代	9.1%	36.4%	45.5%	22.7%	18.2%	4.5%	22.7%	9.1%
30歳代	13.8%	41.4%	55.2%	20.7%	13.8%	0.0%	13.8%	10.3%
40歳代	12.9%	38.7%	51.6%	32.3%	9.7%	0.0%	9.7%	6.5%
50歳代	17.2%	44.8%	62.1%	20.7%	10.3%	0.0%	10.3%	6.9%
60歳代	11.4%	43.2%	54.5%	25.0%	11.4%	0.0%	11.4%	9.1%
70歳代	8.1%	43.2%	51.4%	32.4%	8.1%	0.0%	8.1%	8.1%
男性	2.0%	33.6%	35.5%	42.8%	11.8%	2.6%	14.5%	7.2%
20歳代	0.0%	7.1%	7.1%	57.1%	21.4%	0.0%	21.4%	14.3%
30歳代	5.6%	27.8%	33.3%	44.4%	16.7%	0.0%	16.7%	5.6%
40歳代	4.3%	34.8%	39.1%	34.8%	8.7%	4.3%	13.0%	13.0%
50歳代	0.0%	34.6%	34.6%	38.5%	11.5%	11.5%	23.1%	3.8%
60歳代	2.6%	48.7%	51.3%	33.3%	12.8%	0.0%	12.8%	2.6%
70歳代	0.0%	28.1%	28.1%	56.3%	6.3%	0.0%	6.3%	9.4%

② 社会活動の場



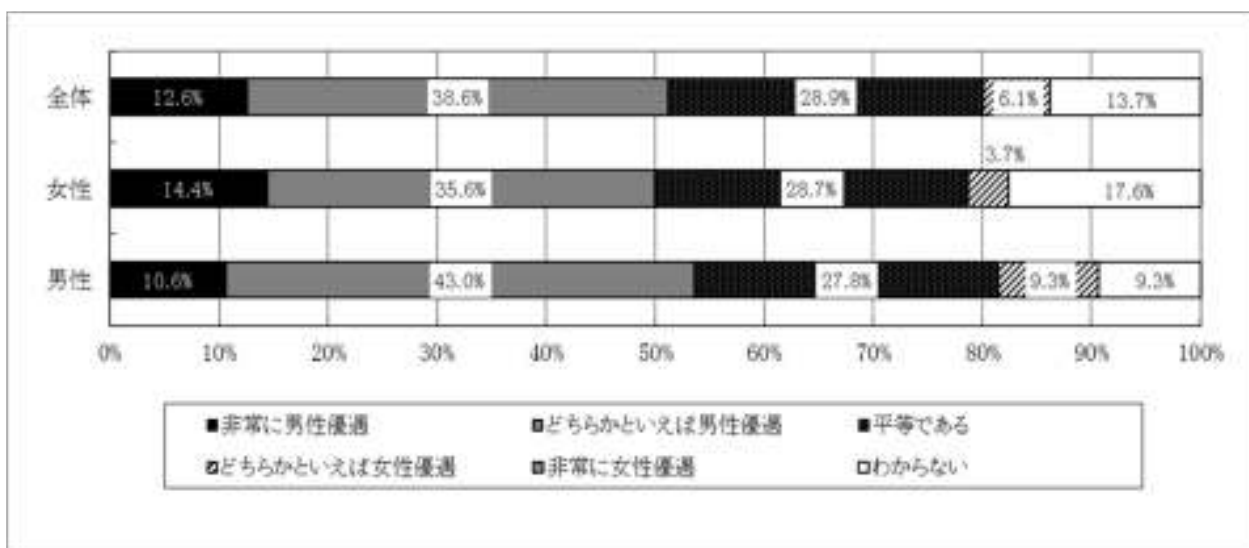
◆社会活動の男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が38.4%で、『女性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合は9.8%であった。前回調査の『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）割合は61.5%であり、今回男性優遇と考える人の割合が大幅に低下した。※

◆男女別では、女性は『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）と答えた割合が最も高いのに対し、男性は『平等である』と答えた割合が高かった。しかし、女性についても、『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）と答えた割合は前回調査（70.3%）より低下してしている。※

※前回調査では「社会活動」ではなく、「地域社会」と表記しているため、誤差がある可能性あり

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	（男性優遇の計）	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	（女性優遇の計）	わからない
全体	6.1%	32.4%	38.4%	33.5%	8.7%	1.2%	9.8%	18.2%
女性	7.4%	32.6%	40.0%	29.5%	6.8%	2.1%	8.9%	21.6%
20歳代	0.0%	18.2%	18.2%	59.1%	9.1%	4.5%	13.6%	9.1%
30歳代	3.4%	44.8%	48.3%	13.8%	6.9%	3.4%	10.3%	27.6%
40歳代	3.2%	29.0%	32.3%	38.7%	6.5%	0.0%	6.5%	22.6%
50歳代	24.1%	24.1%	48.3%	13.8%	6.9%	0.0%	6.9%	31.0%
60歳代	6.8%	27.3%	34.1%	36.4%	6.8%	2.3%	9.1%	20.5%
70歳代	5.7%	48.6%	54.3%	20.0%	5.7%	2.9%	8.6%	17.1%
男性	4.6%	32.7%	37.3%	38.6%	11.1%	0.0%	11.1%	13.1%
20歳代	7.1%	21.4%	28.6%	21.4%	21.4%	0.0%	21.4%	28.6%
30歳代	5.6%	27.8%	33.3%	44.4%	5.6%	0.0%	5.6%	16.7%
40歳代	12.5%	25.0%	37.5%	33.3%	12.5%	0.0%	12.5%	16.7%
50歳代	0.0%	53.8%	53.8%	30.8%	11.5%	0.0%	11.5%	3.8%
60歳代	2.6%	30.8%	33.3%	48.7%	10.3%	0.0%	10.3%	7.7%
70歳代	3.1%	31.3%	34.4%	40.6%	9.4%	0.0%	9.4%	15.6%

③ 職場

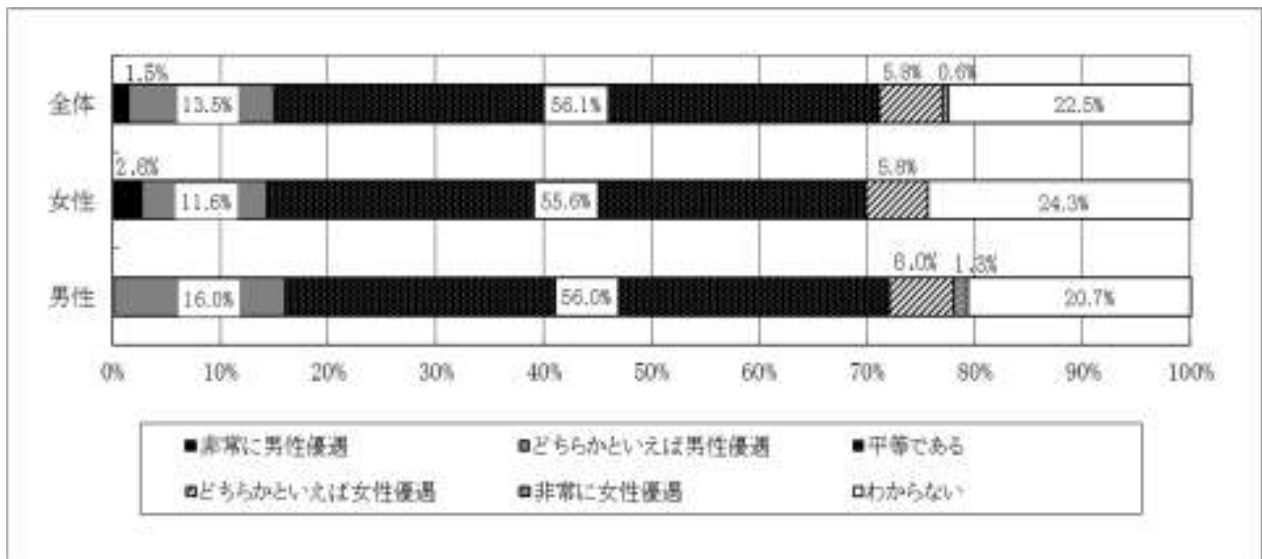


◆職場の男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が51.2%で、『女性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合は6.1%、『平等である』の割合は28.9%であった。前回調査の『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合（68.7%）と今回の割合を比較すると、低下はしているものの、依然として半数以上の人々が職場において『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）であると考えている。

◆なお、男女間の『男性優遇』（『どちらかといえば男性優遇』を合わせ）と『平等である』の割合にはあまり差は見られなかった。

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	（男性優遇の計）	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	（女性優遇の計）	わからない
全体	12.6%	38.6%	51.2%	28.9%	6.1%	0.0%	6.1%	13.7%
女性	14.4%	35.6%	50.0%	28.7%	3.7%	0.0%	3.7%	17.6%
20歳代	9.1%	36.4%	45.5%	36.4%	4.5%	0.0%	4.5%	13.6%
30歳代	24.1%	37.9%	62.1%	24.1%	6.9%	0.0%	6.9%	6.9%
40歳代	6.5%	25.8%	32.3%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%	25.8%
50歳代	27.6%	34.5%	62.1%	24.1%	3.4%	0.0%	3.4%	10.3%
60歳代	9.5%	42.9%	52.4%	26.2%	2.4%	0.0%	2.4%	19.0%
70歳代	11.4%	34.3%	45.7%	22.9%	5.7%	0.0%	5.7%	25.7%
男性	10.6%	43.0%	53.6%	27.8%	9.3%	0.0%	9.3%	9.3%
20歳代	21.4%	28.6%	50.0%	21.4%	21.4%	0.0%	21.4%	7.1%
30歳代	5.6%	44.4%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
40歳代	8.7%	43.5%	52.2%	34.8%	8.7%	0.0%	8.7%	4.3%
50歳代	15.4%	50.0%	65.4%	26.9%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%
60歳代	12.8%	51.3%	64.1%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%
70歳代	3.2%	32.3%	35.5%	29.0%	6.5%	0.0%	6.5%	29.0%

④ 学校教育の場

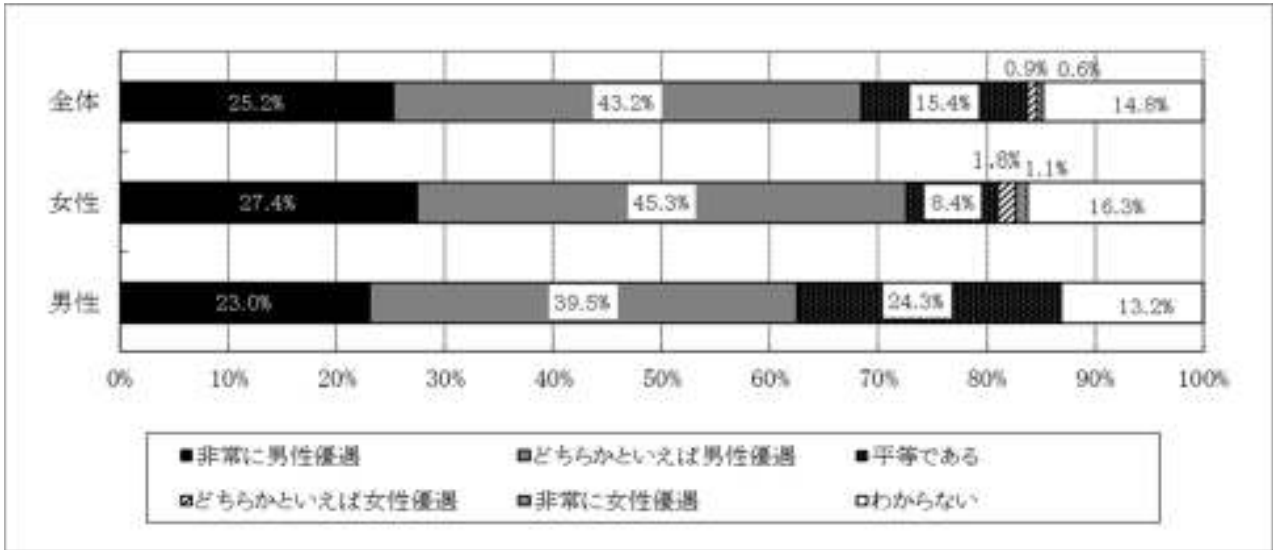


◆学校教育の場の男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が14.9%で、『女性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合は6.4%、『平等である』の割合は56.1%であった。

◆前回調査同様『平等である』の割合が最も高かったが、前回調査の70.9%と比較すると、大幅に低下している。

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	（男性優遇の計）	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	（女性優遇の計）	わからない
全体	1.5%	13.5%	14.9%	56.1%	5.8%	0.6%	6.4%	22.5%
女性	2.6%	11.6%	14.3%	55.6%	5.8%	0.0%	5.8%	24.3%
20歳代	0.0%	18.2%	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	6.9%	6.9%	13.8%	58.6%	3.4%	0.0%	3.4%	24.1%
40歳代	3.2%	6.5%	9.7%	58.1%	6.5%	0.0%	6.5%	25.8%
50歳代	6.9%	13.8%	20.7%	48.3%	6.9%	0.0%	6.9%	24.1%
60歳代	0.0%	14.0%	14.0%	55.8%	4.7%	0.0%	4.7%	25.6%
70歳代	0.0%	11.4%	11.4%	40.0%	11.4%	0.0%	11.4%	37.1%
男性	16.0%	16.0%	16.0%	56.0%	6.0%	1.3%	7.3%	20.7%
20歳代	0.0%	7.1%	7.1%	57.1%	7.1%	7.1%	14.3%	21.4%
30歳代	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
40歳代	0.0%	4.2%	4.2%	66.7%	8.3%	4.2%	12.5%	16.7%
50歳代	0.0%	30.8%	30.8%	50.0%	7.7%	0.0%	7.7%	11.5%
60歳代	0.0%	18.9%	18.9%	51.4%	2.7%	0.0%	2.7%	27.0%
70歳代	0.0%	12.9%	12.9%	51.6%	9.7%	0.0%	9.7%	25.8%

⑤ 政治の場

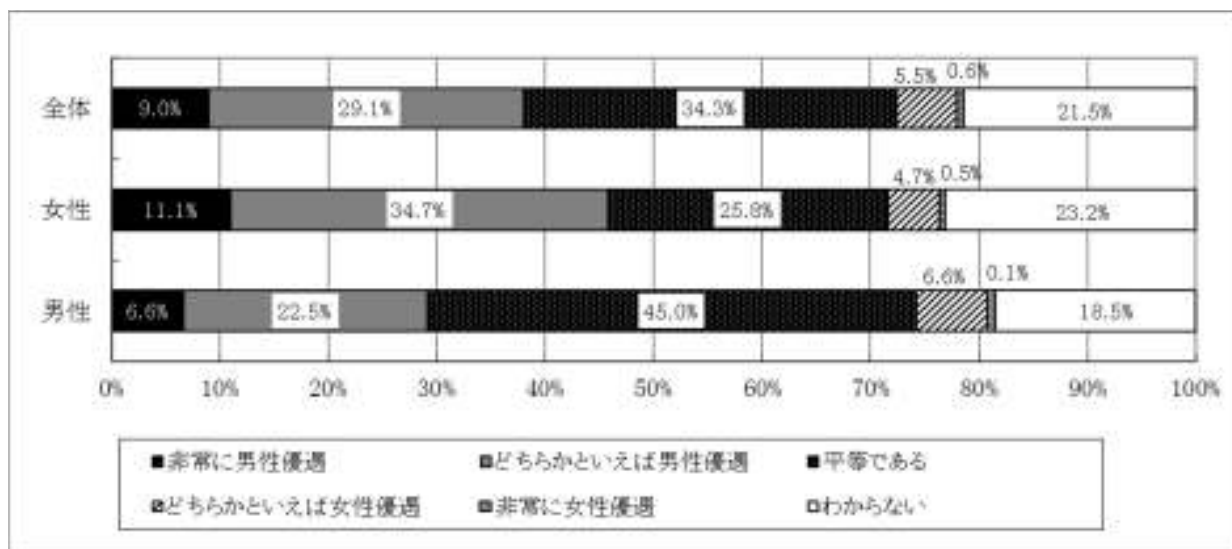


◆政治の場の男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が68.4%で、『女性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合は1.4%であった。

◆男女別では、男性は女性よりも『平等である』と答えた割合が高く、男女間の認識の差が大きかった。

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	（男性優遇の計）	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	（女性優遇の計）	わからない
全体	25.2%	43.2%	68.4%	15.4%	0.9%	0.6%	1.4%	14.8%
女性	27.4%	45.3%	72.6%	8.4%	1.6%	1.1%	2.6%	16.3%
20歳代	18.2%	50.0%	68.2%	9.1%	4.5%	4.5%	9.1%	13.6%
30歳代	48.3%	34.5%	82.8%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	13.8%
40歳代	25.8%	58.1%	83.9%	6.5%	3.2%	0.0%	3.2%	6.5%
50歳代	34.5%	44.8%	79.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%
60歳代	18.2%	50.0%	68.2%	15.9%	2.3%	0.0%	2.3%	13.6%
70歳代	22.9%	34.3%	57.1%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	31.4%
男性	23.0%	39.5%	62.5%	24.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%
20歳代	28.6%	28.6%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
30歳代	33.3%	38.9%	72.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
40歳代	12.5%	45.8%	58.3%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%
50歳代	30.8%	42.3%	73.1%	19.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
60歳代	28.2%	35.9%	64.1%	28.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
70歳代	9.7%	41.9%	51.6%	32.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.1%

⑥ 法律や制度

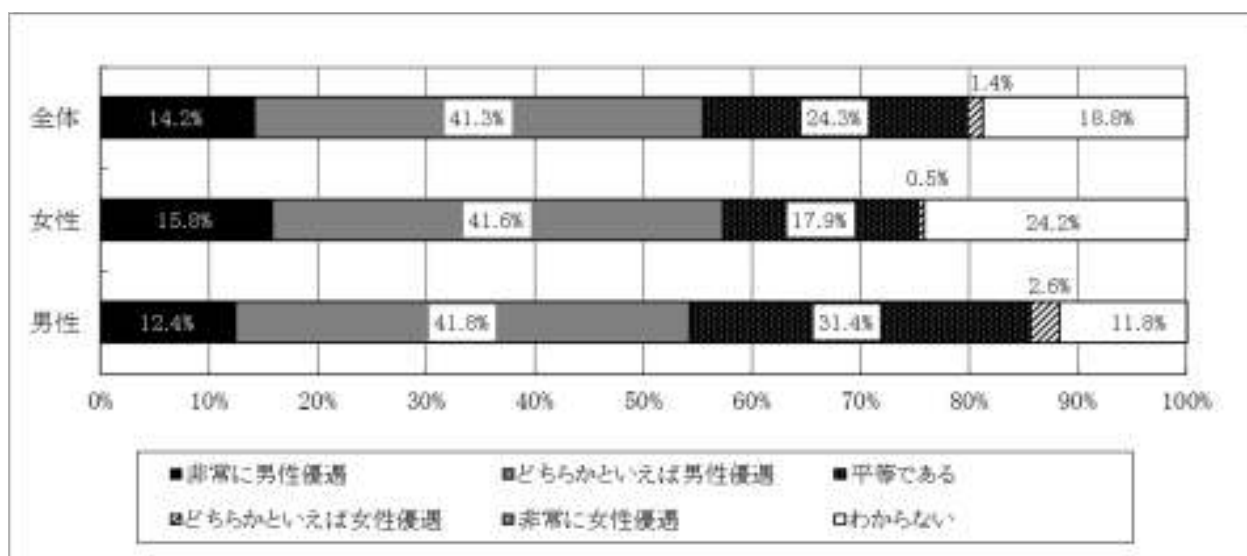


◆法律や制度の男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が38.1%、『平等である』の割合が34.3%、『女性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が6.1%であった。

◆男女別では、女性は『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が最も高いのに対し、男性は『平等である』と答えた割合が最も高かった。

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	(男性優遇の計)	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	(女性優遇の計)	わからない
全体	9.0%	29.1%	38.1%	34.3%	5.5%	0.6%	6.1%	21.5%
女性	11.1%	34.7%	45.8%	25.8%	4.7%	0.5%	5.3%	23.2%
20歳代	0.0%	36.4%	36.4%	31.8%	13.6%	0.0%	13.6%	18.2%
30歳代	31.0%	37.9%	69.0%	3.4%	3.4%	3.4%	6.9%	20.7%
40歳代	12.9%	32.3%	45.2%	22.6%	3.2%	0.0%	3.2%	29.0%
50歳代	10.3%	37.9%	48.3%	20.7%	0.0%	0.0%	0.0%	31.0%
60歳代	4.5%	29.5%	34.1%	47.7%	6.8%	0.0%	6.8%	11.4%
70歳代	8.6%	37.1%	45.7%	20.0%	2.9%	0.0%	2.9%	31.4%
男性	6.6%	22.5%	29.1%	45.0%	6.6%	0.7%	7.3%	18.5%
20歳代	7.1%	14.3%	21.4%	21.4%	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%
30歳代	0.0%	50.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
40歳代	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	8.3%	4.2%	12.5%	20.8%
50歳代	15.4%	23.1%	38.5%	38.5%	11.5%	0.0%	11.5%	11.5%
60歳代	7.9%	23.7%	31.6%	52.6%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%
70歳代	6.5%	12.9%	19.4%	54.8%	3.2%	0.0%	3.2%	22.6%

⑦ 社会通念・習慣・しきたりなど

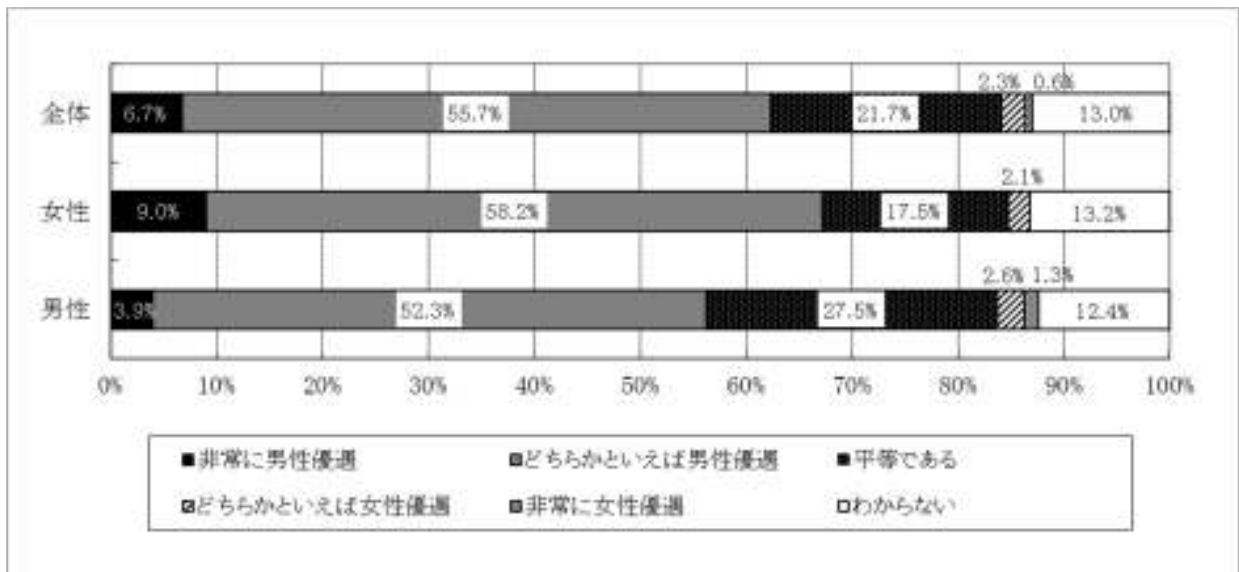


◆社会通念・習慣・しきたりなどの男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が55.5%、『平等である』の割合が23.4%、『女性優遇』（『どちらかといえば女性優遇』を合わせ）の割合が1.4%であった。

◆前回調査における全体の『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合（72.6%）と比較するとだいぶ割合が低下しているが、依然として男女ともに半数以上が『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）と考えている。

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	（男性優遇の計）	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	（女性優遇の計）	わからない
全体	14.2%	41.3%	55.5%	24.3%	1.4%	0.0%	1.4%	18.8%
女性	15.8%	41.6%	57.4%	17.9%	0.5%	0.0%	0.5%	24.2%
20歳代	4.5%	50.0%	54.5%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	31.8%
30歳代	34.5%	31.0%	65.5%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	24.1%
40歳代	12.9%	51.6%	64.5%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	19.4%
50歳代	24.1%	31.0%	55.2%	17.2%	0.0%	0.0%	0.0%	27.6%
60歳代	11.4%	43.2%	54.5%	20.5%	2.3%	0.0%	2.3%	22.7%
70歳代	8.6%	42.9%	51.4%	25.7%	0.0%	0.0%	0.0%	22.9%
男性	12.4%	41.8%	54.2%	31.4%	2.6%	0.0%	2.6%	11.8%
20歳代	14.3%	28.6%	42.9%	42.9%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%
30歳代	5.6%	38.9%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
40歳代	8.3%	45.8%	54.2%	16.7%	4.2%	0.0%	4.2%	25.0%
50歳代	26.9%	42.3%	69.2%	23.1%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%
60歳代	12.8%	46.2%	59.0%	35.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%
70歳代	6.3%	40.6%	46.9%	37.5%	3.1%	0.0%	3.1%	12.5%

⑧ 社会全体では



◆社会全体での男女平等意識は、全体で『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が62.3%、『平等である』の割合が21.7%、『女性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が2.9%であった。

◆前回調査における全体の『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合（73.0%）と比較すると割合が低下しているが、依然として男女ともに『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が最も高い。

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	（男性優遇の計）	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	（女性優遇の計）	わからない
全体	6.7%	55.7%	62.3%	21.7%	2.3%	0.6%	2.9%	13.0%
女性	9.0%	58.2%	67.2%	17.5%	2.1%	0.0%	2.1%	13.2%
20歳代	0.0%	57.1%	57.1%	23.8%	4.8%	0.0%	4.8%	14.3%
30歳代	13.8%	72.4%	86.2%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	6.5%	54.8%	61.3%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	19.4%
50歳代	17.2%	58.6%	75.9%	10.3%	3.4%	0.0%	3.4%	10.3%
60歳代	9.1%	54.5%	63.6%	20.5%	2.3%	0.0%	2.3%	13.6%
70歳代	5.7%	54.3%	60.0%	17.1%	2.9%	0.0%	2.9%	20.0%
男性	3.9%	52.3%	56.2%	27.5%	2.6%	1.3%	3.9%	12.4%
20歳代	7.1%	50.0%	57.1%	28.6%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%
30歳代	0.0%	66.7%	66.7%	16.7%	5.6%	0.0%	5.6%	11.1%
40歳代	4.2%	33.3%	37.5%	45.8%	0.0%	4.2%	4.2%	12.5%
50歳代	11.5%	61.5%	73.1%	11.5%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%
60歳代	2.6%	59.0%	61.5%	28.2%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%
70歳代	0.0%	43.8%	43.8%	31.3%	3.1%	0.0%	3.1%	21.9%

【 問2 総括 】

- ◆現在の生活や社会の男女平等意識は「学校教育の場」については『平等である』と答えた割合が最も高かったが、その他の場面においてはすべて『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が高く、「政治の場」・「社会全体」・「社会通念・習慣・しきたりなど」では特に高かった。
- ◆男女別では、女性は「学校教育の場」を除くすべての項目において『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が最も高かったが、男性は「職場」・「政治の場」・「社会通念・習慣・しきたりなど」「社会全体」の項目については、『男性優遇』（『非常に』と『どちらかといえば』の計）の割合が最も高く、それ以外の項目では『平等である』の割合が高かった。

【 男性優遇と感ずるとき 複数意見紹介 】

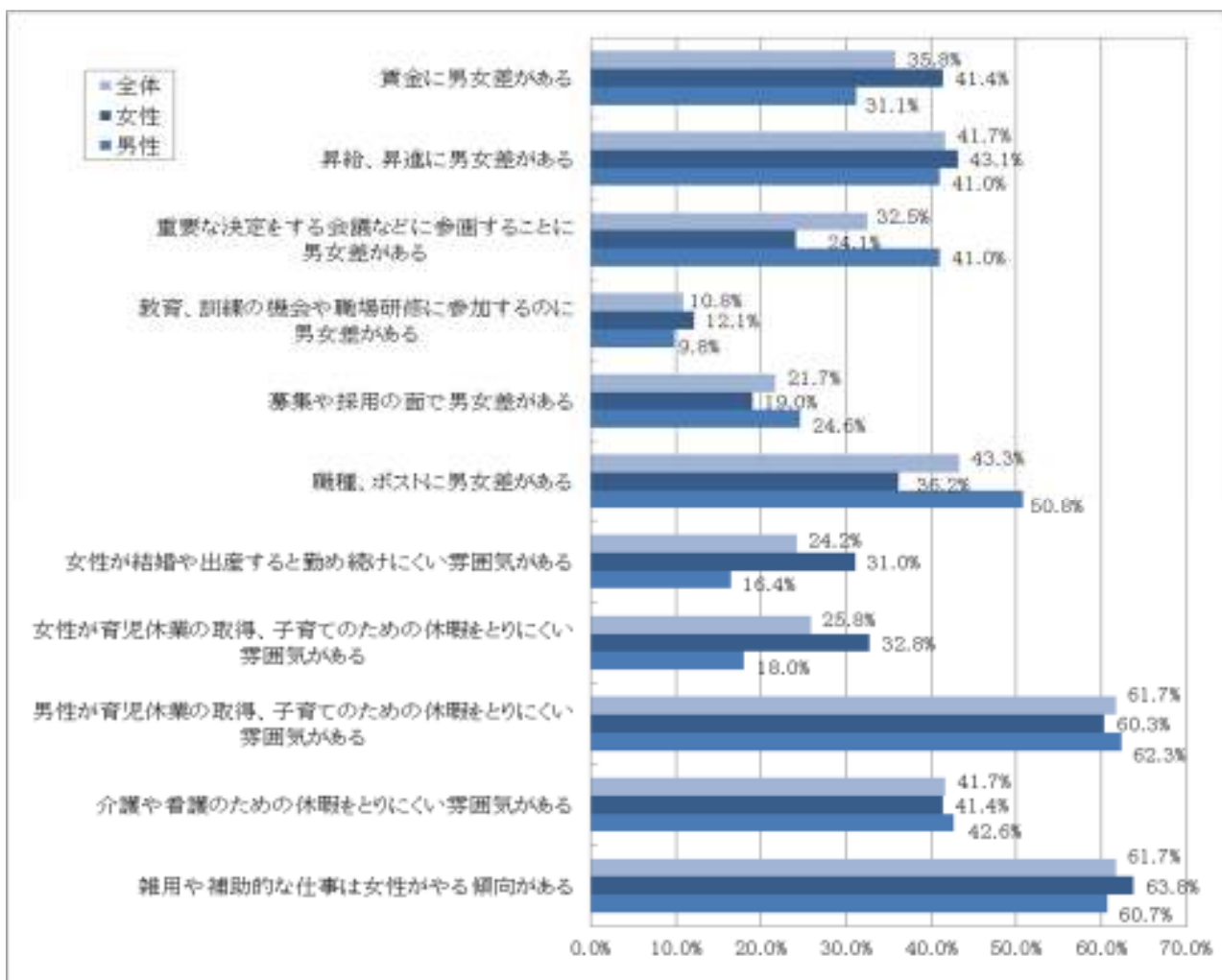
(⑦社会通念・慣習・しきたりなどに『非常に男性優遇』『どちらかといえば男性優遇』と回答した人へ質問)

男性優遇と感ずるとき	回答数
町内の集まりや自治会、地域活動などの行事のとき(男性中心、女性の意見はあまり聞いてもらえないなど)	31
職場において(管理職の数、昇進・昇給時、男性のほうが立場が上という考え)	16
女性だから〇〇すべきという考え(子育てや家事は女性の仕事、男性では許されるが女性はダメなど)に触れたとき	16
世帯主や家の跡取りは男性、夫の姓を名乗る、〇〇の奥さんと呼ばれる	16
社会全般で感覚的に感ずる	15
お茶の片付けや料理取り分け、雑用などを女性が任されるとき	11
高齢の人の男尊女卑の態度や意識に触れたとき	10
団体や行政の職員や首長、議員など男性が多い	8
職場や社会において女性の出産、子育てに関する理解が得られないとき	6
冠婚葬祭のとき	5
女人禁制のしきたりがある	3
合計	137

(2) 仕事と職場について

問3 職場での男女差の実態

この質問は、男女がいる職場で仕事をしている人だけお答えください。
あなたの職場において、次のような事がありますか。(該当するもの全て)



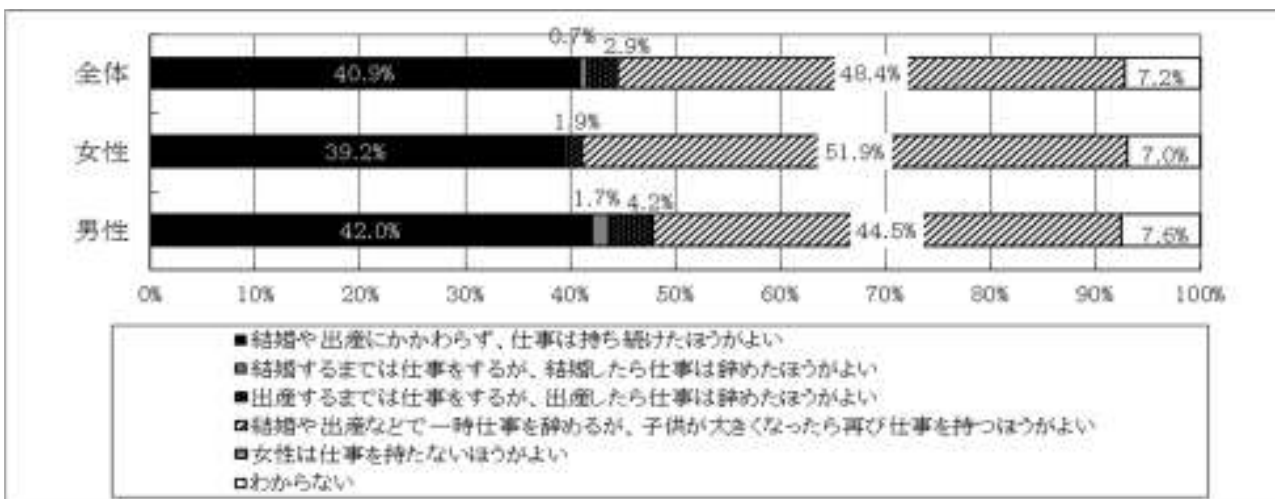
◆職場における男女差について、全体では『男性が育児休業の取得、子育てのための休暇をとりにくい雰囲気がある』および『雑用や補助的な仕事は女性がやる傾向がある』の割合が61.7%で最も高く、次いで『職種、ポストに男女差がある』の割合が高かった。

◆『重要な決定をする会議などに参画することに男女差がある』や『職種、ポストに男女差がある』については女性より男性のほうが割合が高く、さらに前回調査と比較しても大幅に割合が高くなっていることから、問題意識をもつ男性が増えていることがうかがえる。※

※前回調査の男性の割合は、『重要な決定をする会議などに参画することに男女差がある』が27.5%、『職種、ポストに男女差がある』が31.9%であった。

問4 女性が仕事を持つことに対する考え

あなたは、女性が職場で仕事を持つことについて、どのように考えますか。(回答は1つ)



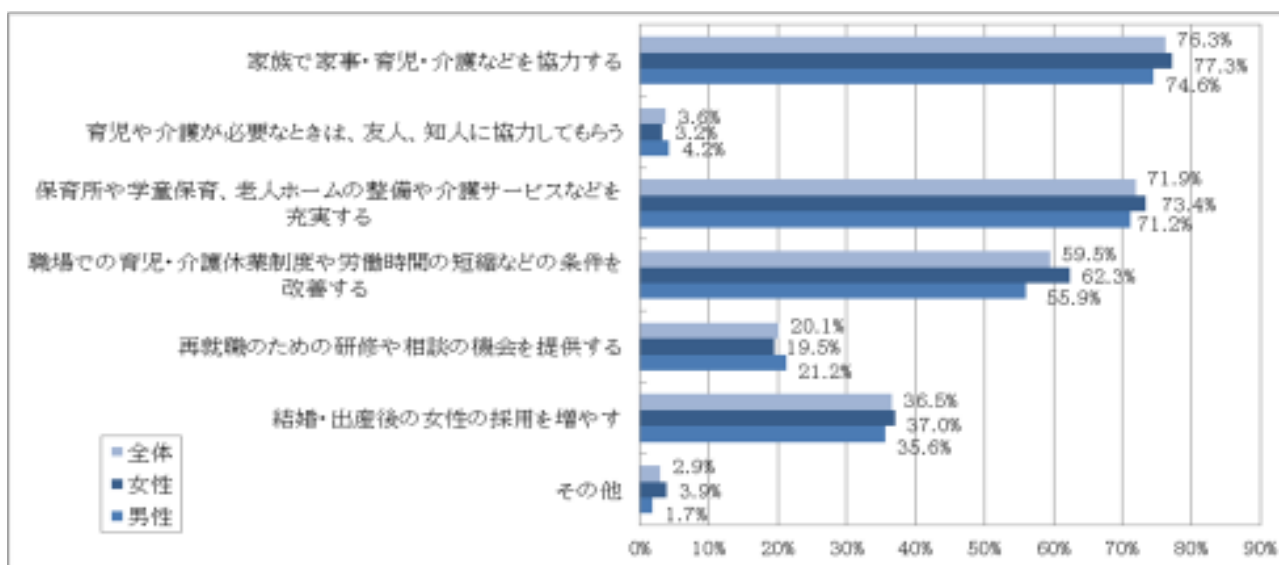
◆女性が仕事を持つことについて、全体では『結婚や出産などで一時仕事を辞めるが、子供が大きくなったら再び仕事を持つほうがよい』の割合が48.4%で最も高かった。過去2回の調査でも同様であったが、その割合は低下している。(H15年度:60.7%⇒前回:52.2%⇒今回:48.4%)
 また、『結婚や出産にかかわらず、仕事は持ち続けたほうがよい』の割合は40.9%で、こちらは年々増加傾向にある。(H15年度:25.6%⇒前回:32.5%⇒今回:40.9%)

◆H26年の内閣府調査では『子どもができてずっと職業を続けるほうが良い』の割合が44.8%で最も高く、その割合は年々低下傾向にあり、今回の調査とは異なる傾向にある。

	はか結 う持婚 がわら いちら よはず い続け た仕 は事か	は結仕結 辞婚事婚 めしをす たたする ほらるま う仕がで が事、は	は出仕出 辞産事産 めしをす たたする ほらるま う仕がで が事、は	再大めで結 ほびきる一婚 う仕くが時や が事な、仕出 よをつ子事産 い持た供をな つらが辞ど	た女 性は いは いほ仕 う事 がを よ持	わ から ない
全体	40.9%	0.7%	2.9%	48.4%	0.0%	7.2%
女性	39.2%	0.0%	1.9%	51.9%	0.0%	7.0%
20歳代	31.6%	0.0%	0.0%	47.4%	0.0%	21.1%
30歳代	46.4%	0.0%	3.6%	42.9%	0.0%	7.1%
40歳代	40.0%	0.0%	0.0%	56.7%	0.0%	3.3%
50歳代	43.5%	0.0%	0.0%	47.8%	0.0%	8.7%
60歳代	38.9%	0.0%	2.8%	55.6%	0.0%	2.8%
70歳代	31.8%	0.0%	4.5%	59.1%	0.0%	4.5%
男性	42.0%	1.7%	4.2%	44.5%	0.0%	7.6%
20歳代	53.8%	0.0%	0.0%	38.5%	0.0%	7.7%
30歳代	55.6%	5.6%	0.0%	38.9%	0.0%	0.0%
40歳代	38.1%	0.0%	4.8%	38.1%	0.0%	19.0%
50歳代	44.0%	0.0%	8.0%	44.0%	0.0%	4.0%
60歳代	35.7%	3.6%	3.6%	46.4%	0.0%	10.7%
70歳代	28.6%	0.0%	7.1%	64.3%	0.0%	0.0%

問5 女性が就業を継続・再就職するために必要なこと

あなたは、女性が結婚・出産後も職場で仕事を続けたり、再就職したりするには特にどのようなことが必要だと思いますか。(回答は3つまで)



◆女性が就業を継続・再就職するために必要なことについて、全体では『家族で家事・育児・介護などを協力する』の割合が76.3%で最も高く、次いで『保育所や学童保育、老人ホームの整備や介護サービスなどを充実する』の割合が高かった。

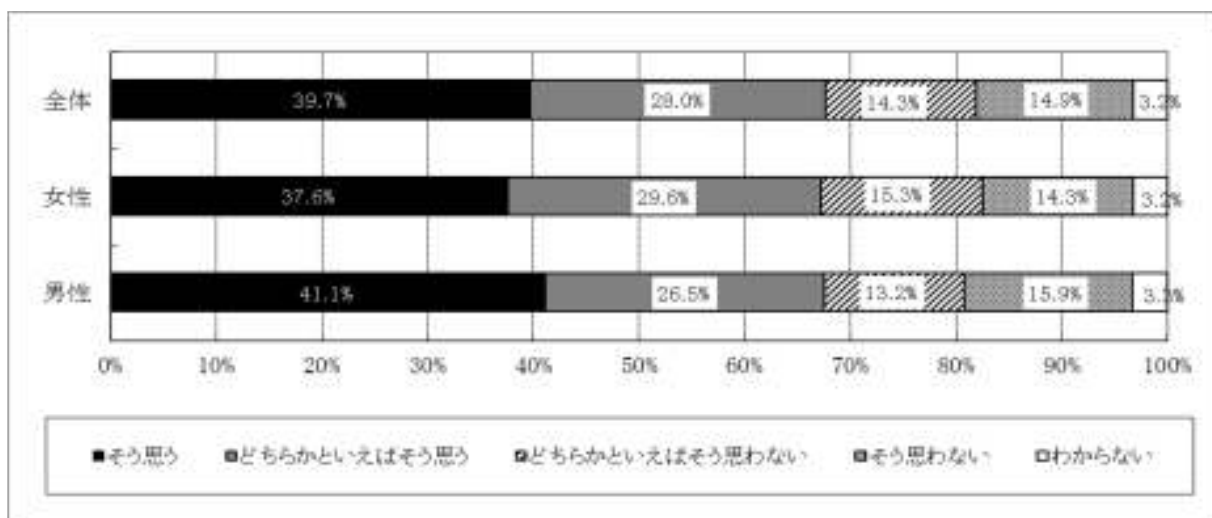
◆前回調査と大きな傾向の変化はみられなかった。

(3) 結婚観、家庭生活について

問6 結婚に関する意識

結婚、子どものことについて、あなたの意見に最も近いものの番号を選んでください。(各項目1つ選択)

① 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

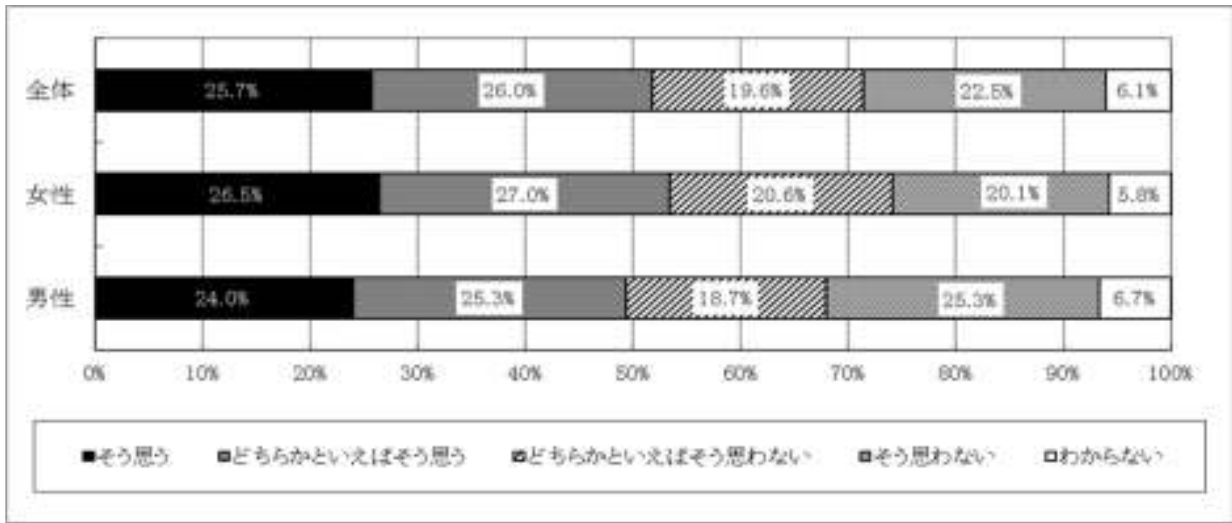


◆全体で『そう思う』(『どちらかといえばそう思う』を合わせ)の割合は67.6%で、『そう思わない』(『どちらかといえばそう思わない』を合わせ)の割合は29.2%であった。

◆前回調査では『そう思う』(『どちらかといえばそう思う』を合わせ)の割合が49.7%、『そう思わない』(『どちらかといえばそう思わない』を合わせ)の割合が42.8%であり差がなかったが、今回大幅に『そう思う』(『どちらかといえばそう思う』を合わせ)の割合が高くなった。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	(そう思うの計)	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	(そう思わないの計)	わからない
全体	39.7%	28.0%	67.6%	14.3%	14.9%	29.2%	3.2%
女性	37.6%	29.6%	67.2%	15.3%	14.3%	29.6%	3.2%
20歳代	59.1%	31.8%	90.9%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%
30歳代	69.0%	13.8%	82.8%	3.4%	10.3%	13.8%	3.4%
40歳代	32.3%	45.2%	77.4%	6.5%	9.7%	16.1%	6.5%
50歳代	34.5%	31.0%	65.5%	6.9%	24.1%	31.0%	3.4%
60歳代	26.2%	33.3%	59.5%	19.0%	19.0%	38.1%	2.4%
70歳代	19.4%	22.2%	41.7%	44.4%	13.9%	58.3%	0.0%
男性	41.1%	26.5%	67.5%	13.2%	15.9%	29.1%	3.3%
20歳代	57.1%	21.4%	78.6%	14.3%	0.0%	14.3%	7.1%
30歳代	44.4%	27.8%	72.2%	16.7%	11.1%	27.8%	0.0%
40歳代	41.7%	33.3%	75.0%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%
50歳代	50.0%	23.1%	73.1%	7.7%	15.4%	23.1%	3.8%
60歳代	35.9%	20.5%	56.4%	17.9%	25.6%	43.6%	0.0%
70歳代	30.0%	33.3%	63.3%	13.3%	20.0%	33.3%	3.3%

② 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

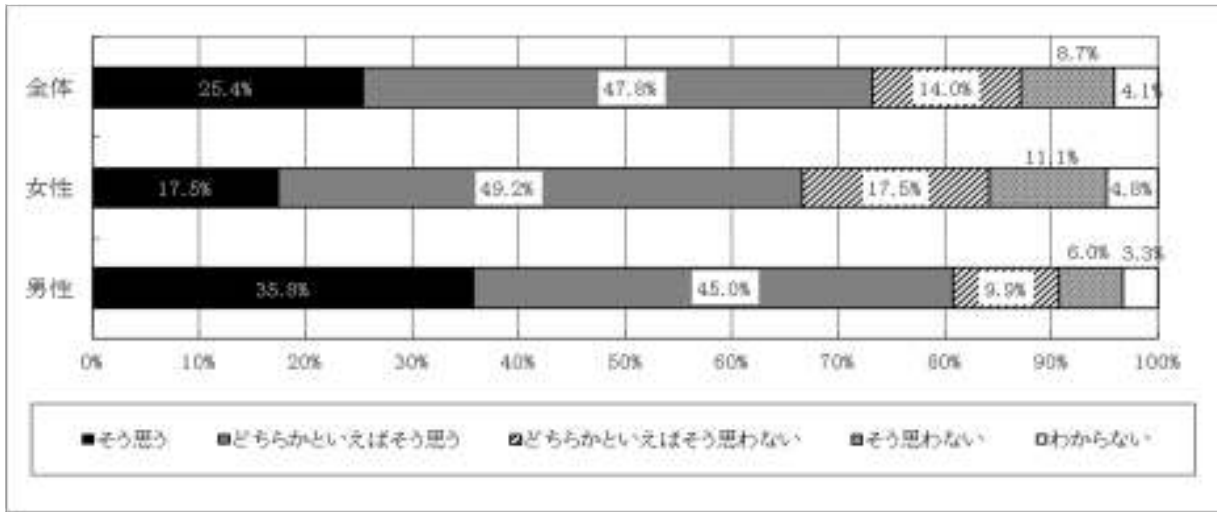


◆全体で『そう思う』(『どちらかといえばそう思う』を合わせ)の割合は51.8%で、『そう思わない』(『どちらかといえばそう思わない』を合わせ)の割合は42.1%であり、男女間で大きな差は見られなかった。

◆前回調査では『そう思う』(『どちらかといえばそう思う』を合わせ)の割合が12.4%、『そう思わない』(『どちらかといえばそう思わない』を合わせ)の割合が78.6%であり、今回調査では割合が反転する結果となった。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	(そう思うの計)	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	(そう思わないの計)	わからない
全体	25.7%	26.0%	51.8%	19.6%	22.5%	42.1%	6.1%
女性	26.5%	27.0%	53.4%	20.6%	20.1%	40.7%	5.8%
20歳代	54.5%	36.4%	90.9%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%
30歳代	44.8%	34.5%	79.3%	3.4%	6.9%	10.3%	10.3%
40歳代	19.4%	41.9%	61.3%	22.6%	9.7%	32.3%	6.5%
50歳代	6.9%	34.5%	41.4%	31.0%	27.6%	58.6%	0.0%
60歳代	26.2%	14.3%	40.5%	26.2%	28.6%	54.8%	4.8%
70歳代	16.7%	11.1%	27.8%	30.6%	33.3%	63.9%	8.3%
男性	24.0%	25.3%	49.3%	18.7%	25.3%	44.0%	6.7%
20歳代	50.0%	7.1%	57.1%	28.6%	7.1%	35.7%	7.1%
30歳代	22.2%	38.9%	61.1%	27.8%	11.1%	38.9%	0.0%
40歳代	26.1%	39.1%	65.2%	13.0%	17.4%	30.4%	4.3%
50歳代	42.3%	15.4%	57.7%	15.4%	15.4%	30.8%	11.5%
60歳代	15.4%	25.6%	41.0%	15.4%	41.0%	56.4%	2.6%
70歳代	6.7%	23.3%	30.0%	20.0%	36.7%	56.7%	13.3%

③ 結婚したら、自分自身のことより家族を中心に考えて生活したほうがよい



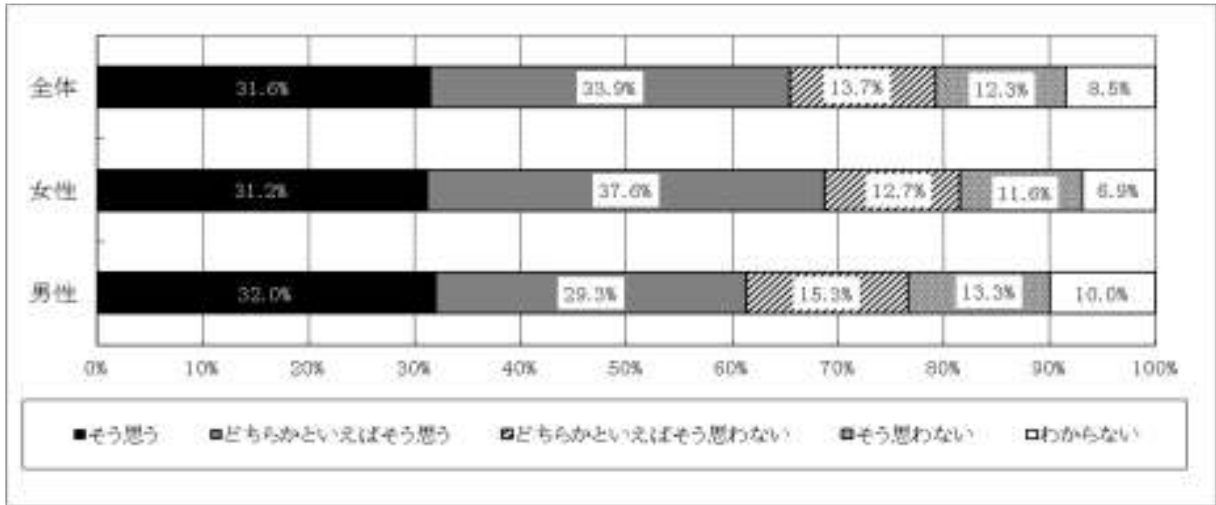
◆全体で『そう思う』（『どちらかといえばそう思う』を合わせ）の割合は73.2%で、『そう思わない』（『どちらかといえばそう思わない』を合わせ）の割合は22.7%であった。

◆男女別では、男性のほうが女性よりも、『そう思う』（『どちらかといえばそう思う』を合わせ）と考えている人の割合が高かった。

◆前回調査と比較して、大きな傾向の変化はみられなかった。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	（そう思うの計）	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	（そう思わないの計）	わからない
全体	25.4%	47.8%	73.2%	14.0%	8.7%	22.7%	4.1%
女性	17.5%	49.2%	66.7%	17.5%	11.1%	28.6%	4.8%
20歳代	13.6%	54.5%	68.2%	13.6%	9.1%	22.7%	9.1%
30歳代	13.8%	51.7%	65.5%	17.2%	13.8%	31.0%	3.4%
40歳代	9.7%	64.5%	74.2%	12.9%	3.2%	16.1%	9.7%
50歳代	20.7%	44.8%	65.5%	24.1%	6.9%	31.0%	3.4%
60歳代	19.0%	47.6%	66.7%	23.8%	7.1%	31.0%	2.4%
70歳代	25.0%	36.1%	61.1%	11.1%	25.0%	36.1%	2.8%
男性	35.8%	45.0%	80.8%	9.9%	6.0%	15.9%	3.3%
20歳代	42.9%	42.9%	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%
30歳代	16.7%	61.1%	77.8%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
40歳代	43.5%	34.8%	78.3%	8.7%	8.7%	17.4%	4.3%
50歳代	34.6%	34.6%	69.2%	15.4%	11.5%	26.9%	3.8%
60歳代	48.7%	35.9%	84.6%	10.3%	2.6%	12.8%	2.6%
70歳代	22.6%	64.5%	87.1%	6.5%	3.2%	9.7%	3.2%

④ 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもよい



◆全体で『そう思う』(『どちらかといえばそう思う』を合わせ)の割合は65.5%で、『そう思わない』(『どちらかといえばそう思わない』を合わせ)の割合は26.0%であり、半数以上が離婚を肯定する結果となった。男女間においても、大きな差は見られなかった。

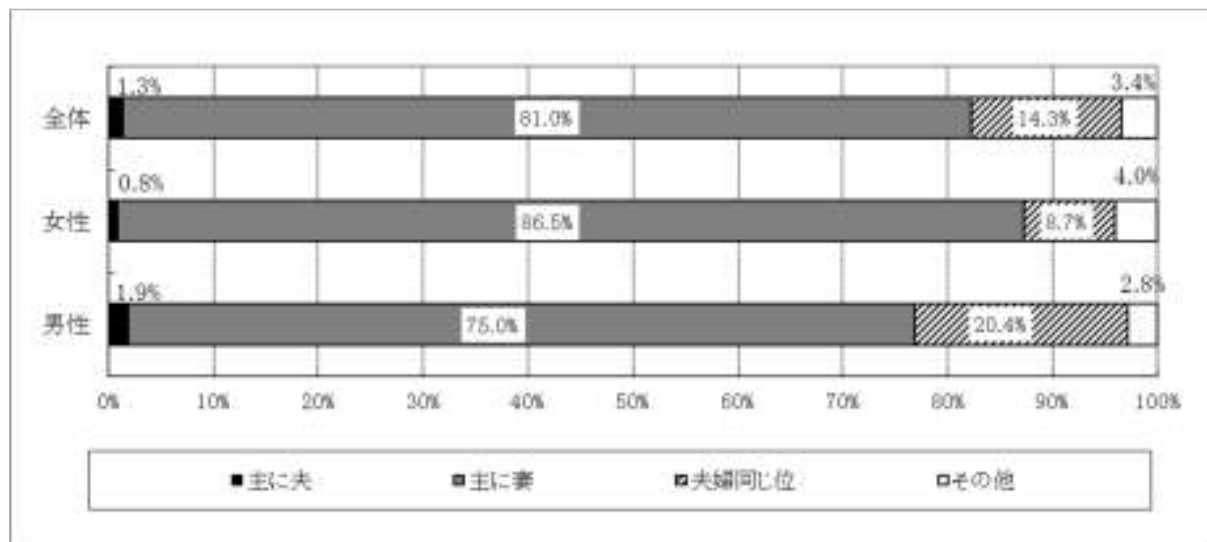
◆前回調査と比較して、大きな傾向の変化はみられなかった。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	(そう思うの計)	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	(そう思わないの計)	わからない
全体	31.6%	33.9%	65.5%	13.7%	12.3%	26.0%	8.5%
女性	31.2%	37.6%	68.8%	12.7%	11.6%	24.3%	6.9%
20歳代	27.3%	54.5%	81.8%	9.1%	4.5%	13.6%	4.5%
30歳代	37.9%	37.9%	75.9%	6.9%	10.3%	17.2%	6.9%
40歳代	32.3%	35.5%	67.7%	16.1%	6.5%	22.6%	9.7%
50歳代	31.0%	37.9%	69.0%	13.8%	17.2%	31.0%	0.0%
60歳代	31.0%	40.5%	71.4%	9.5%	11.9%	21.4%	7.1%
70歳代	27.8%	25.0%	52.8%	19.4%	16.7%	36.1%	11.1%
男性	32.0%	29.3%	61.3%	15.3%	13.3%	28.7%	10.0%
20歳代	21.4%	28.6%	50.0%	7.1%	14.3%	21.4%	28.6%
30歳代	22.2%	44.4%	66.7%	27.8%	5.6%	33.3%	0.0%
40歳代	39.1%	21.7%	60.9%	8.7%	17.4%	26.1%	13.0%
50歳代	42.3%	23.1%	65.4%	15.4%	11.5%	26.9%	7.7%
60歳代	38.5%	25.6%	64.1%	15.4%	15.4%	30.8%	5.1%
70歳代	20.0%	36.7%	56.7%	16.7%	13.3%	30.0%	13.3%

問7 家事等の役割分担状況

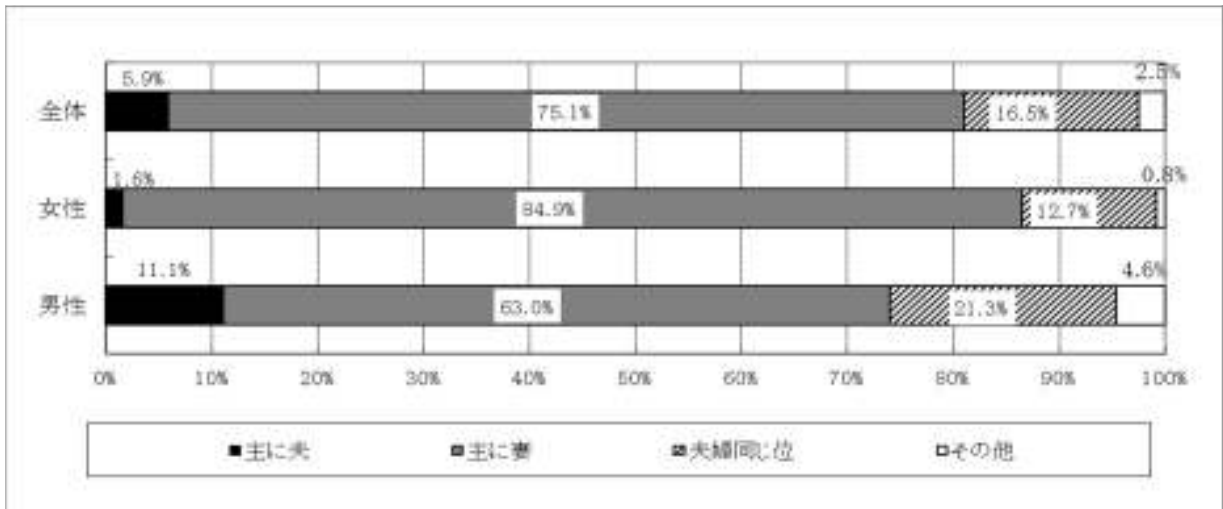
この質問は、現在結婚し、夫婦が同居している人だけお答えください。(事実婚含む)
 次にあげる家庭生活のことについて、あなたの家庭では、どのように役割分担していますか。
 (各項目1つ選択)

① 食事のしたく・食材の買い物・片づけ



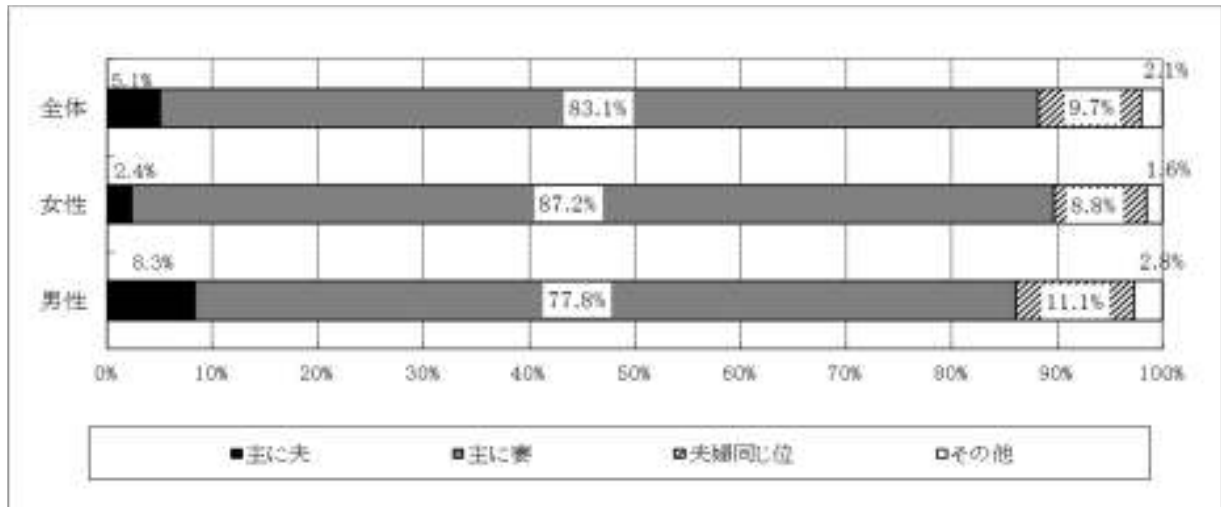
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	1.3%	81.0%	14.3%	3.4%
女性	0.8%	86.5%	8.7%	4.0%
20歳代	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
30歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
40歳代	3.8%	76.9%	15.4%	3.8%
50歳代	0.0%	85.7%	7.1%	7.1%
60歳代	0.0%	92.3%	3.8%	3.8%
70歳代	0.0%	85.2%	11.1%	3.7%
男性	1.9%	75.0%	20.4%	2.8%
20歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
30歳代	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
40歳代	6.3%	62.5%	25.0%	6.3%
50歳代	0.0%	81.8%	13.6%	4.5%
60歳代	0.0%	78.1%	21.9%	0.0%
70歳代	4.0%	76.0%	16.0%	4.0%

② そうじ



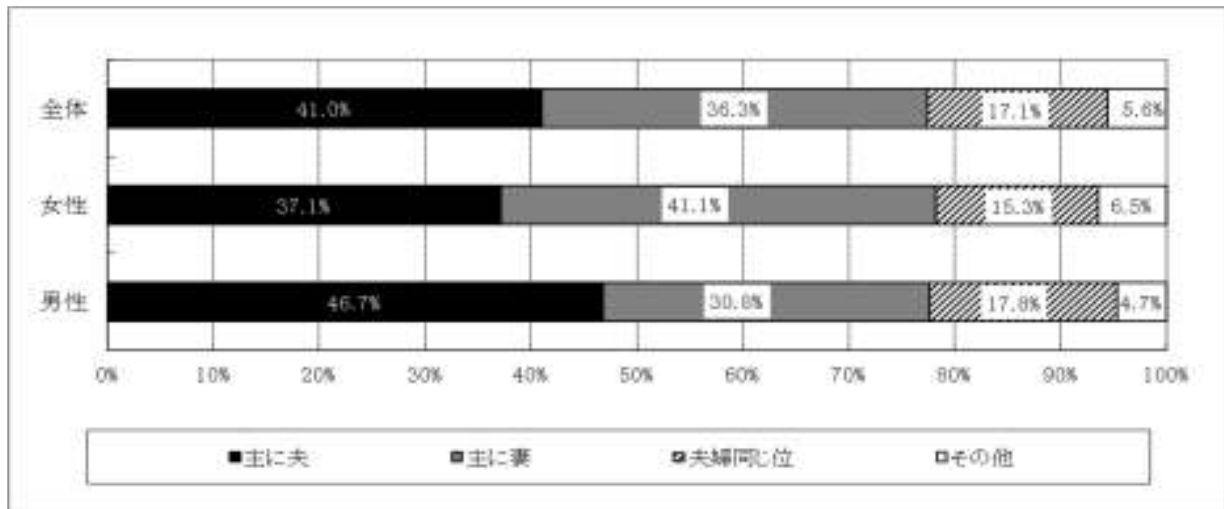
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	5.9%	75.1%	16.5%	2.5%
女性	1.6%	84.9%	12.7%	0.8%
20歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
30歳代	0.0%	93.3%	6.7%	0.0%
40歳代	3.8%	76.9%	19.2%	0.0%
50歳代	0.0%	82.1%	17.9%	0.0%
60歳代	0.0%	88.5%	11.5%	0.0%
70歳代	3.7%	85.2%	7.4%	3.7%
男性	11.1%	63.0%	21.3%	4.6%
20歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
30歳代	25.0%	66.7%	8.3%	0.0%
40歳代	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%
50歳代	13.6%	63.6%	18.2%	4.5%
60歳代	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
70歳代	8.0%	68.0%	16.0%	8.0%

③ 洗たく



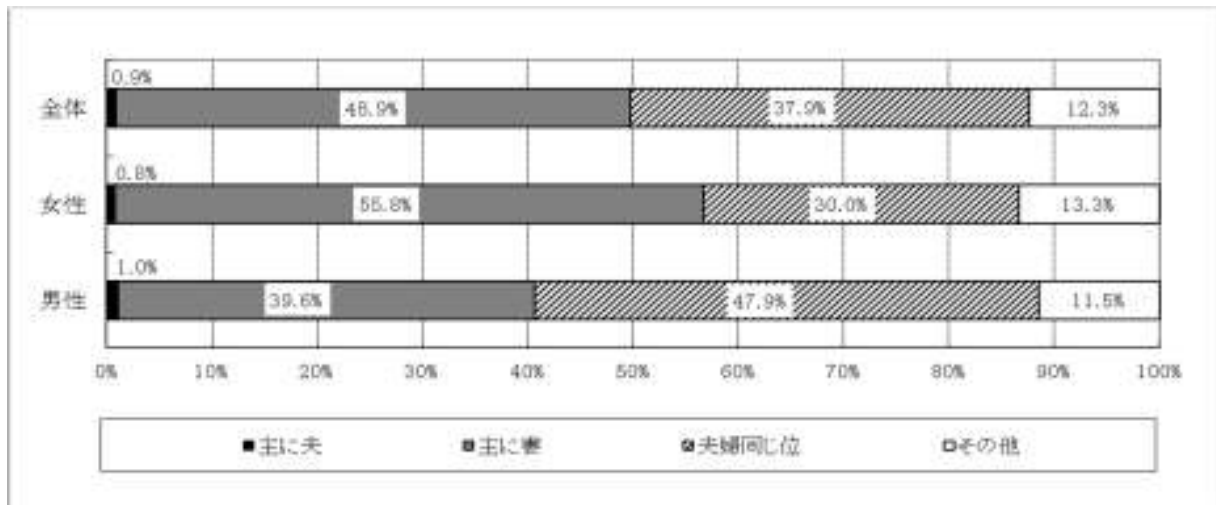
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	5.1%	83.1%	9.7%	2.1%
女性	2.4%	87.2%	8.8%	1.6%
20歳代	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
30歳代	0.0%	86.7%	13.3%	0.0%
40歳代	7.7%	76.9%	11.5%	3.8%
50歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
60歳代	3.8%	84.6%	11.5%	0.0%
70歳代	0.0%	92.6%	3.7%	3.7%
男性	8.3%	77.8%	11.1%	2.8%
20歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
30歳代	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
40歳代	12.5%	75.0%	6.3%	6.3%
50歳代	9.1%	77.3%	9.1%	4.5%
60歳代	6.3%	81.3%	12.5%	0.0%
70歳代	4.0%	80.0%	12.0%	4.0%

④ ゴミ出し



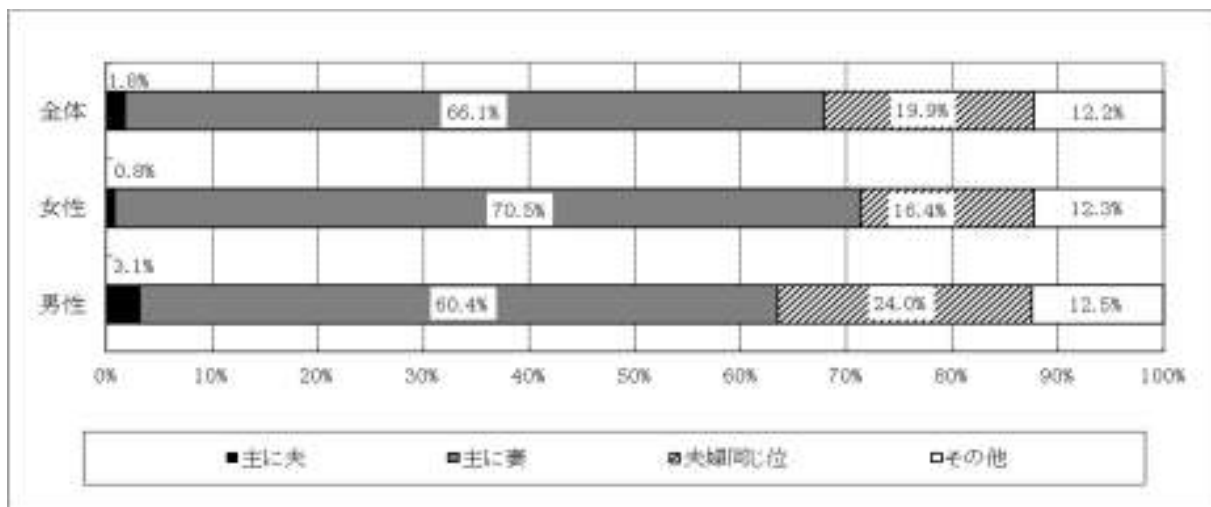
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	41.0%	36.3%	17.1%	5.6%
女性	37.1%	41.1%	15.3%	6.5%
20歳代	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
30歳代	46.7%	20.0%	13.3%	20.0%
40歳代	30.8%	53.8%	11.5%	3.8%
50歳代	37.0%	44.4%	11.1%	7.4%
60歳代	38.5%	50.0%	11.5%	0.0%
70歳代	34.6%	30.8%	30.8%	3.8%
男性	46.7%	30.8%	17.8%	4.7%
20歳代	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
30歳代	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%
40歳代	50.0%	31.3%	12.5%	6.3%
50歳代	45.5%	36.4%	9.1%	9.1%
60歳代	43.8%	31.3%	25.0%	0.0%
70歳代	37.5%	33.3%	25.0%	4.2%

⑤ 育児・しつけ



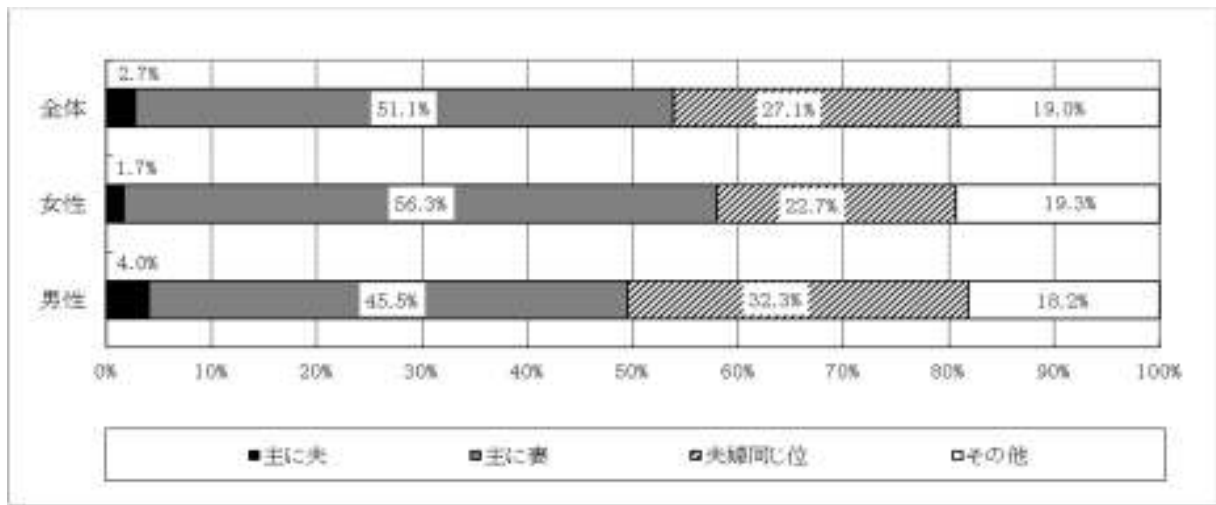
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	0.9%	48.9%	37.9%	12.3%
女性	0.8%	55.8%	30.0%	13.3%
20歳代	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
30歳代	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
40歳代	0.0%	40.0%	44.0%	16.0%
50歳代	3.6%	60.7%	25.0%	10.7%
60歳代	0.0%	64.0%	24.0%	12.0%
70歳代	0.0%	52.2%	26.1%	21.7%
男性	1.0%	39.6%	47.9%	11.5%
20歳代	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%
40歳代	0.0%	18.8%	75.0%	6.3%
50歳代	0.0%	36.4%	50.0%	13.6%
60歳代	3.7%	40.7%	48.1%	7.4%
70歳代	0.0%	55.6%	27.8%	16.7%

⑥ 保育行事・学校行事・教育に関することへの参加



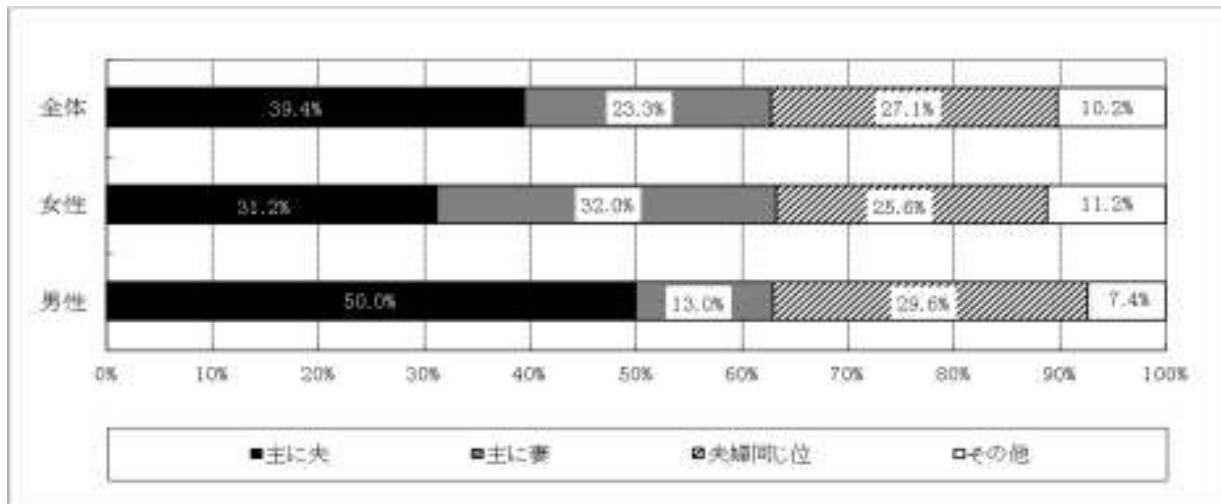
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	1.8%	66.1%	19.9%	12.2%
女性	0.8%	70.5%	16.4%	12.3%
20歳代	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
30歳代	0.0%	80.0%	13.3%	6.7%
40歳代	0.0%	68.0%	20.0%	12.0%
50歳代	0.0%	75.0%	17.9%	7.1%
60歳代	0.0%	68.0%	20.0%	12.0%
70歳代	4.0%	68.0%	8.0%	20.0%
男性	3.1%	60.4%	24.0%	12.5%
20歳代	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代	8.3%	33.3%	41.7%	16.7%
40歳代	6.3%	81.3%	12.5%	0.0%
50歳代	4.5%	68.2%	18.2%	9.1%
60歳代	0.0%	63.0%	22.2%	14.8%
70歳代	0.0%	50.0%	27.8%	22.2%

⑦ 家族の看護・介護



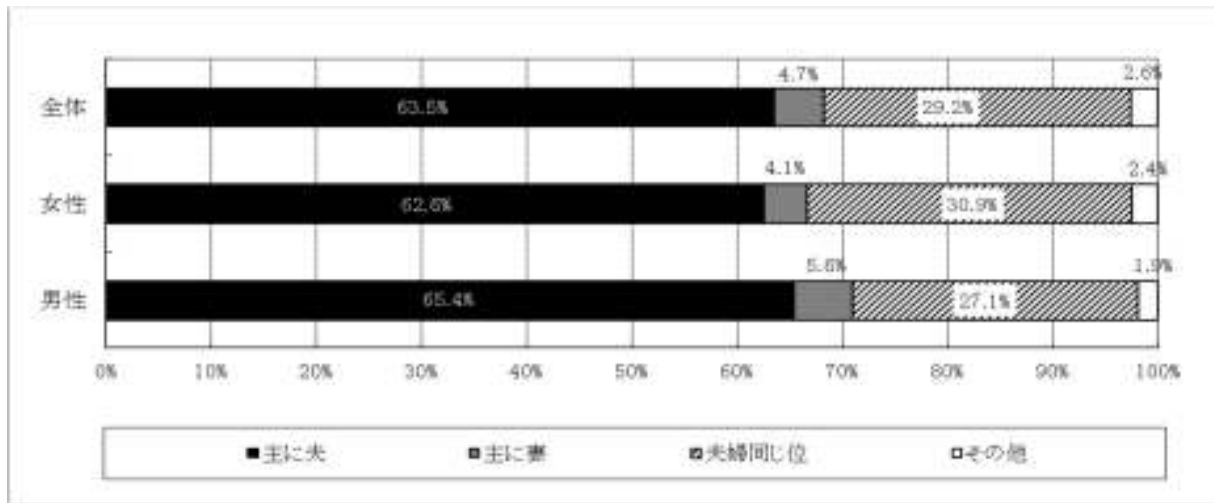
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	2.7%	51.1%	27.1%	19.0%
女性	1.7%	56.3%	22.7%	19.3%
20歳代	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
30歳代	0.0%	57.1%	14.3%	28.6%
40歳代	4.0%	36.0%	20.0%	40.0%
50歳代	3.6%	75.0%	17.9%	3.6%
60歳代	0.0%	58.3%	29.2%	12.5%
70歳代	0.0%	54.2%	29.2%	16.7%
男性	4.0%	45.5%	32.3%	18.2%
20歳代	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
30歳代	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%
40歳代	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%
50歳代	9.5%	66.7%	9.5%	14.3%
60歳代	0.0%	46.7%	40.0%	13.3%
70歳代	10.5%	26.3%	42.1%	21.1%

⑧ 町内会や地域の行事等の活動



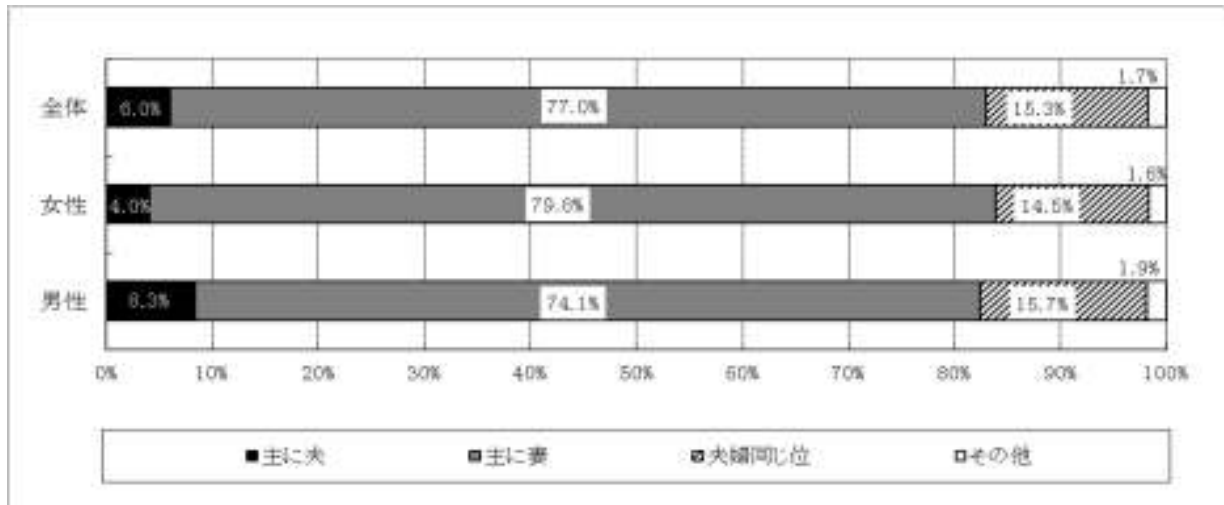
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	39.4%	23.3%	27.1%	10.2%
女性	31.2%	32.0%	25.6%	11.2%
20歳代	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%
30歳代	20.0%	26.7%	26.7%	26.7%
40歳代	23.1%	53.8%	11.5%	11.5%
50歳代	28.6%	28.6%	39.3%	3.6%
60歳代	48.0%	28.0%	20.0%	4.0%
70歳代	33.3%	25.9%	25.9%	14.8%
男性	50.0%	13.0%	29.6%	7.4%
20歳代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	33.3%	8.3%	33.3%	25.0%
40歳代	25.0%	12.5%	43.8%	18.8%
50歳代	50.0%	18.2%	31.8%	0.0%
60歳代	65.6%	9.4%	25.0%	0.0%
70歳代	52.0%	16.0%	24.0%	8.0%

⑨ 生活費を得る人



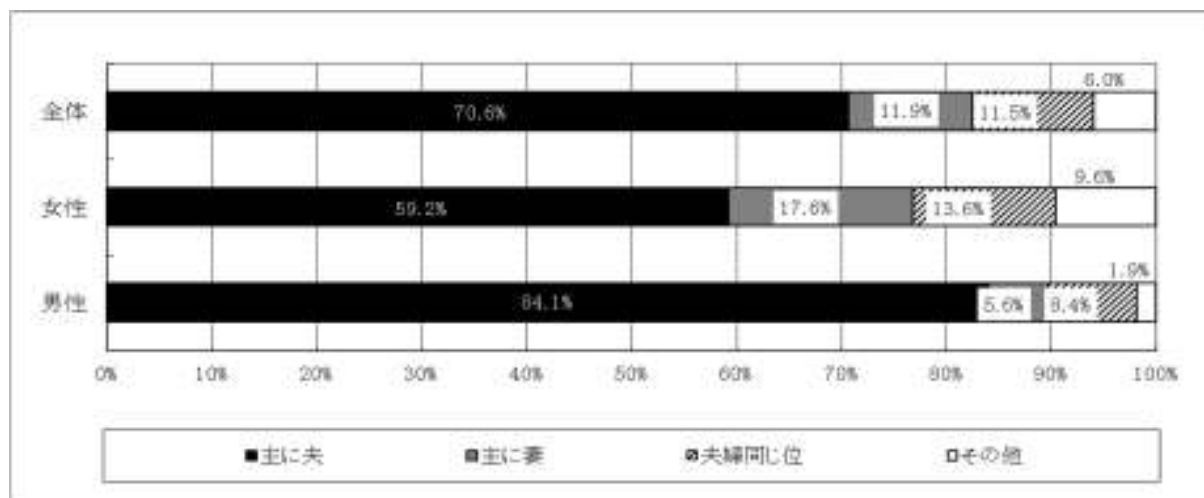
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	63.5%	4.7%	29.2%	2.6%
女性	62.6%	4.1%	30.9%	2.4%
20歳代	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
30歳代	53.3%	6.7%	40.0%	0.0%
40歳代	61.5%	3.8%	34.6%	0.0%
50歳代	78.6%	0.0%	21.4%	0.0%
60歳代	72.0%	4.0%	24.0%	0.0%
70歳代	40.0%	8.0%	40.0%	12.0%
男性	65.4%	5.6%	27.1%	1.9%
20歳代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
40歳代	68.8%	6.3%	25.0%	0.0%
50歳代	72.7%	4.5%	22.7%	0.0%
60歳代	62.5%	9.4%	25.0%	3.1%
70歳代	54.2%	4.2%	37.5%	4.2%

⑩ 家計管理



	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	6.0%	77.0%	15.3%	1.7%
女性	4.0%	79.8%	14.5%	1.6%
20歳代	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
30歳代	0.0%	86.7%	13.3%	0.0%
40歳代	0.0%	84.6%	11.5%	3.8%
50歳代	3.6%	85.7%	10.7%	0.0%
60歳代	12.0%	76.0%	12.0%	0.0%
70歳代	0.0%	73.1%	23.1%	3.8%
男性	8.3%	74.1%	15.7%	1.9%
20歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
30歳代	8.3%	83.3%	8.3%	0.0%
40歳代	6.3%	56.3%	31.3%	6.3%
50歳代	4.5%	90.9%	4.5%	0.0%
60歳代	6.3%	78.1%	15.6%	0.0%
70歳代	16.0%	60.0%	20.0%	4.0%

⑪ 家の中の簡単な修理、修繕



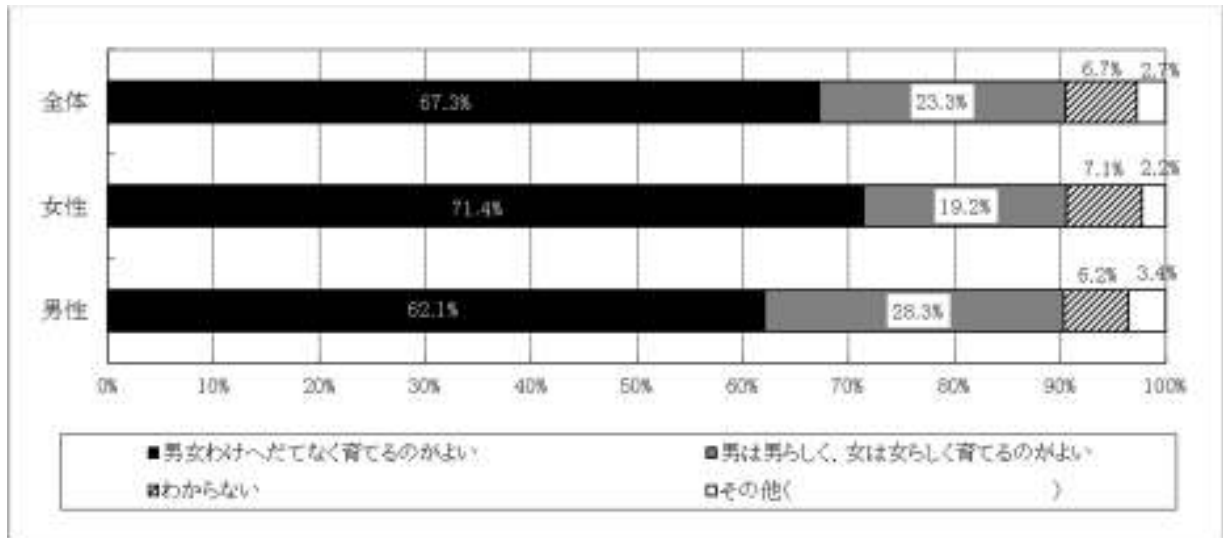
	主に夫	主に妻	夫婦同じ位	その他
全体	70.6%	11.9%	11.5%	6.0%
女性	59.2%	17.6%	13.6%	9.6%
20歳代	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
30歳代	40.0%	26.7%	20.0%	13.3%
40歳代	57.7%	19.2%	19.2%	3.8%
50歳代	50.0%	28.6%	14.3%	7.1%
60歳代	76.0%	8.0%	8.0%	8.0%
70歳代	70.4%	7.4%	7.4%	14.8%
男性	84.1%	5.6%	8.4%	1.9%
20歳代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	83.3%	8.3%	8.3%	0.0%
40歳代	75.0%	6.3%	12.5%	6.3%
50歳代	86.4%	9.1%	4.5%	0.0%
60歳代	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%
70歳代	83.3%	8.3%	4.2%	4.2%

【 問7 総括 】

- ◆全体では、「食事のしたく・食材の買い物・片付け」・「洗たく」については8割以上、「そうじ」・「家計管理」については7割以上が『主に妻』と回答した。また、「保育行事・学校行事・教育に関することへの参加」・「家庭の看護・介護」についても、5割以上は『主に妻』と回答している。
- ◆一方で、「生活費を得る人」や「家の中の簡単な修理、修繕」については、半数以上が『主に夫』と回答している。「ゴミ出し」・「育児・しつけ」・「町内会や地域の行事等の活動」については、その他の事項にくらべて分担が進んでいるといえる。
- ◆男女別では、ほとんどの項目について、男性は『主に夫』・『夫婦同じ位』と回答している割合が女性よりも高く、女性は『主に妻』と回答している割合が男性よりも高かった。役割分担に関しては、男女間で認識の差異があると考えられる。

問8 子育ての方針

あなたは、子育ての方針について、どのように考えますか。(回答は1つ)

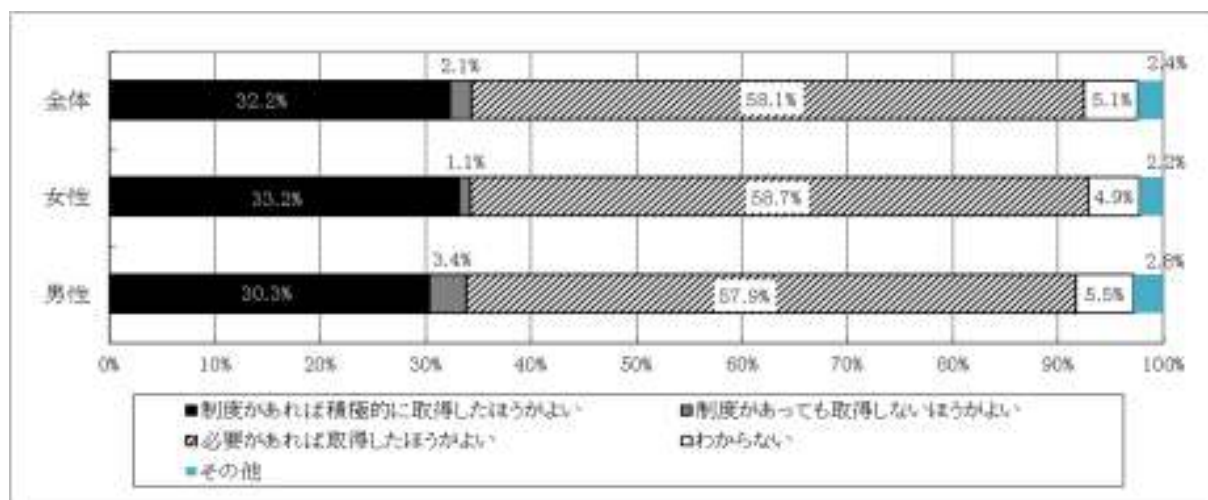


- ◆子育ての方針について、全体では『男女わけへだてなく育てるのがよい』の割合は67.3%、『男は男らしく、女は女らしく育てるのがよい』の割合は23.3%であった。
- ◆男女別では、女性のほうが男性よりも『男女わけへだてなく育てるのがよい』の割合が高く、一方で男性は『男は男らしく、女は女らしく育てるのがよい』の割合が女性よりも高かった。

	てだ男 るて女 いのなわ がくけ よ育へ	るらく男 のし、は がく女男 よ育はら いて女し	わ か ら な い	そ の 他
全体	67.3%	23.3%	6.7%	2.7%
女性	71.4%	19.2%	7.1%	2.2%
20歳代	73.7%	15.8%	10.5%	0.0%
30歳代	67.9%	14.3%	10.7%	7.1%
40歳代	80.6%	12.9%	3.2%	3.2%
50歳代	67.9%	21.4%	10.7%	0.0%
60歳代	71.8%	20.5%	7.7%	0.0%
70歳代	67.6%	27.0%	2.7%	2.7%
男性	62.1%	28.3%	6.2%	3.4%
20歳代	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%
30歳代	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%
40歳代	69.6%	13.0%	4.3%	13.0%
50歳代	61.5%	23.1%	15.4%	0.0%
60歳代	59.5%	32.4%	5.4%	2.7%
70歳代	58.6%	34.5%	6.9%	0.0%

問9 男性の育児休業取得について

あなたは、男性が育児休業を取得することについて、どのように考えますか。(回答は1つ)



◆男性の育児休業取得について、全体では『必要があれば取得したほうがよい』の割合が58.1%、『制度があれば積極的に取得したほうがよい』の割合が32.2%であった。

◆男女別でも割合に大きな差はなく、男性の育児休業取得に関して肯定的な意見が多い結果となった。

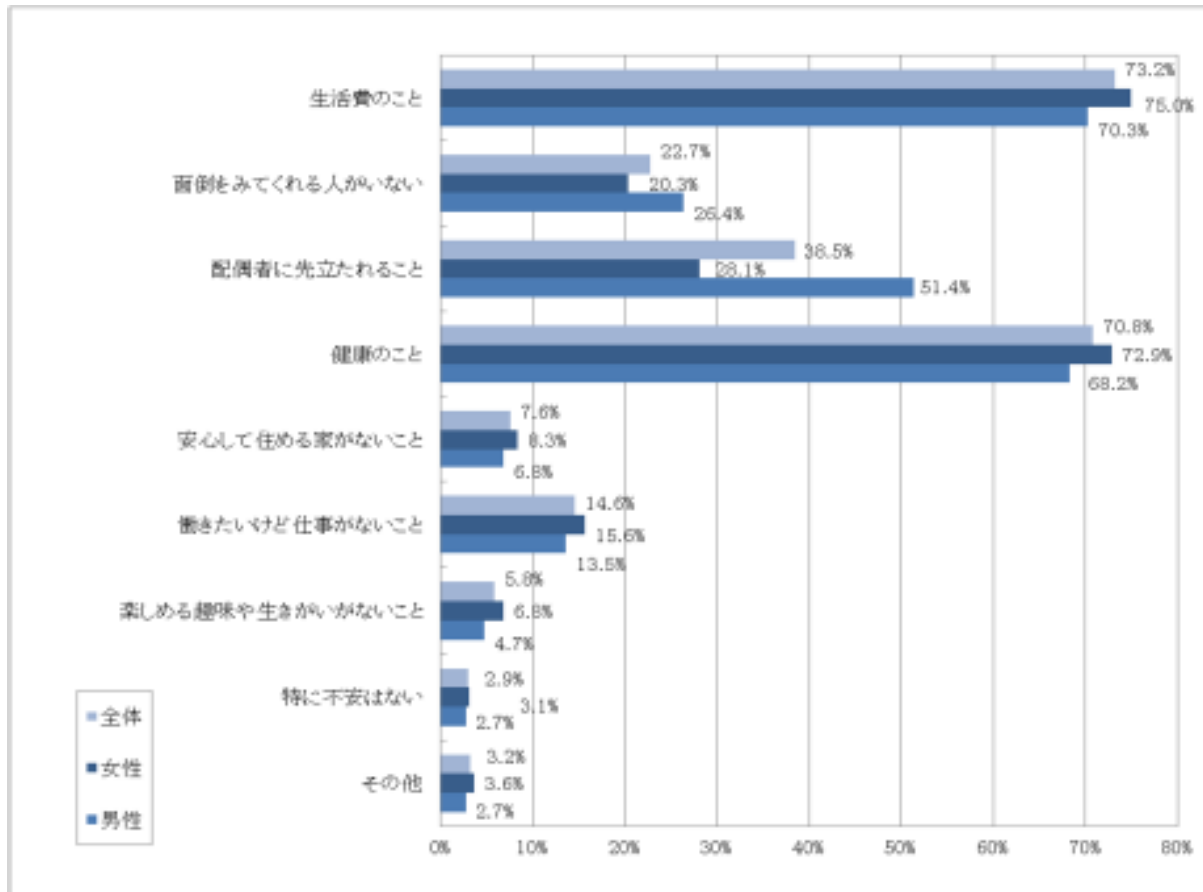
	制度があれば積極的に取得したほうがよい	制度があっても取得しないほうがよい	必要があれば取得したほうがよい	わからない	その他
全体	32.2%	2.1%	58.1%	5.1%	2.4%
女性	33.2%	1.1%	58.7%	4.9%	2.2%
20歳代	47.4%	5.3%	36.8%	5.3%	5.3%
30歳代	28.6%	0.0%	64.3%	3.6%	3.6%
40歳代	41.9%	0.0%	48.4%	3.2%	6.5%
50歳代	27.6%	3.4%	69.0%	0.0%	0.0%
60歳代	37.5%	0.0%	62.5%	0.0%	0.0%
70歳代	21.6%	0.0%	62.2%	16.2%	0.0%
男性	30.3%	3.4%	57.9%	5.5%	2.8%
20歳代	15.4%	0.0%	76.9%	0.0%	7.7%
30歳代	23.5%	0.0%	76.5%	0.0%	0.0%
40歳代	34.8%	4.3%	52.2%	4.3%	4.3%
50歳代	42.3%	3.8%	42.3%	7.7%	3.8%
60歳代	21.6%	5.4%	64.9%	5.4%	2.7%
70歳代	37.9%	3.4%	48.3%	10.3%	0.0%

(4) 老後生活、介護について

問10 老後についての不安

あなたが、老後について特に不安に思うことについて、あてはまるものを選んでください。

(回答は3つまで)

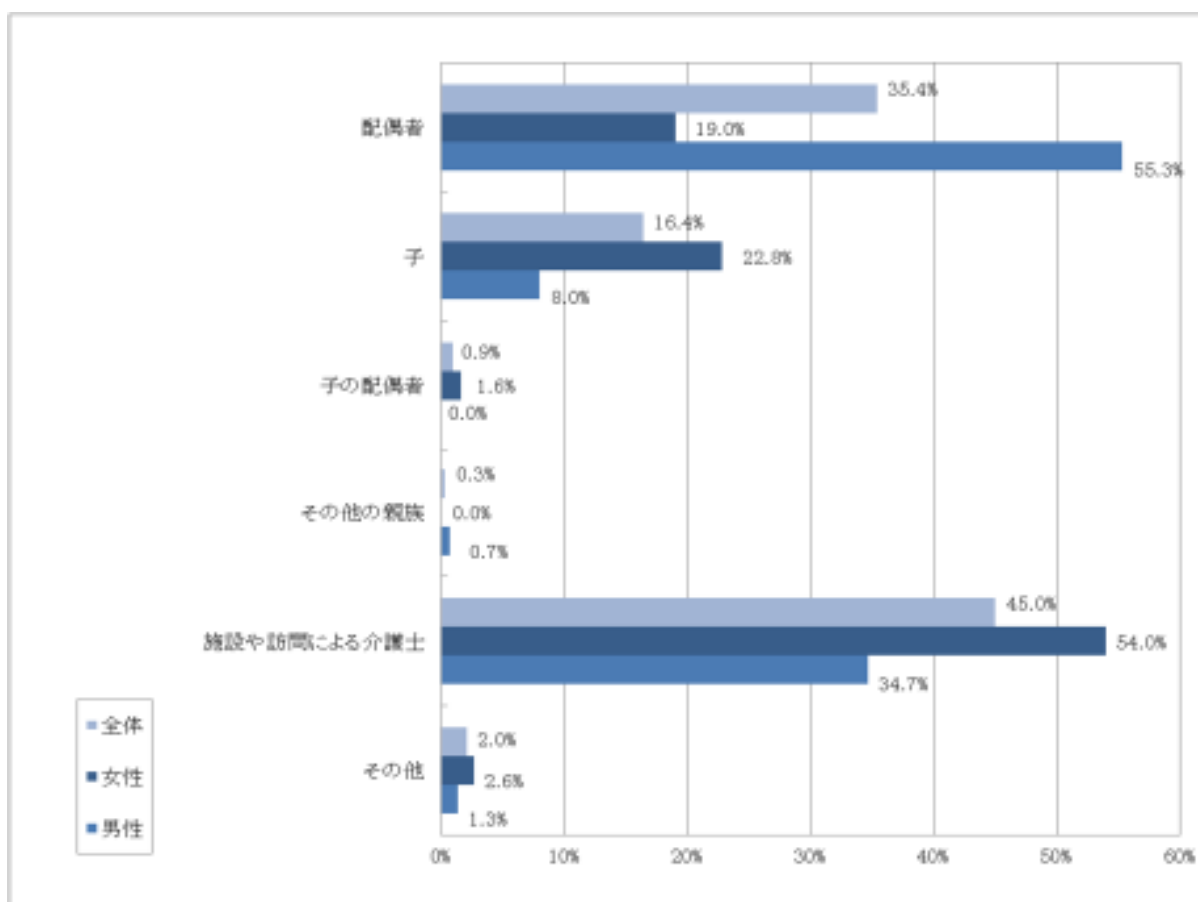


◆老後について不安に思うことについて、全体では、『生活費のこと』の割合が72.9%で最も高く、次いで『健康のこと』の割合が70.8%で高かった。

◆男性については51.4%が『配偶者に先立たれること』を不安に思っているが、女性は28.1%にとどまっており、男女間の認識の差がほかの項目に比べ大きかった。

問11 自分自身の介護の希望

あなた自身が、介護が必要になった場合、主に誰に介護してもらいたいですか。(回答は1つ)

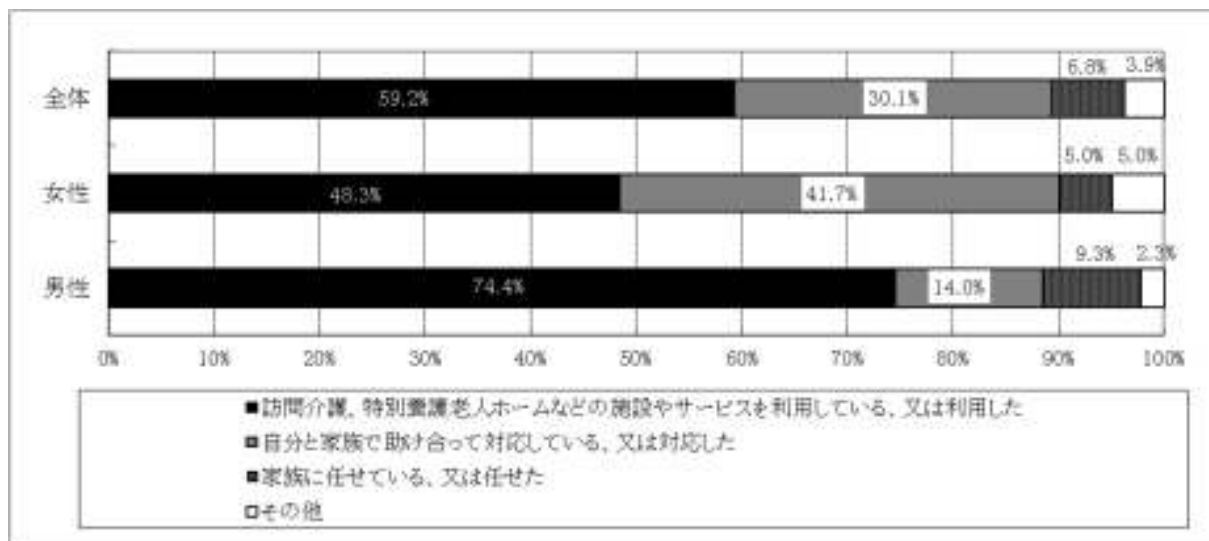


- ◆介護してもらいたい人について、全体では、『施設や訪問による介護士』の割合が45.0%で最も高く、次いで『配偶者』の割合が35.4%で高かった。
- ◆男女別では、男性は『配偶者』の割合が55.3%で最も高く、女性は『施設や訪問による介護士』の割合が54.0%で最も高かった。

問12 介護の現状

現在、介護をしている方、5年以内に介護をした経験がある方にお尋ねします。

どのような対応をしていますか。又は対応をしましたか。（回答は1つ）

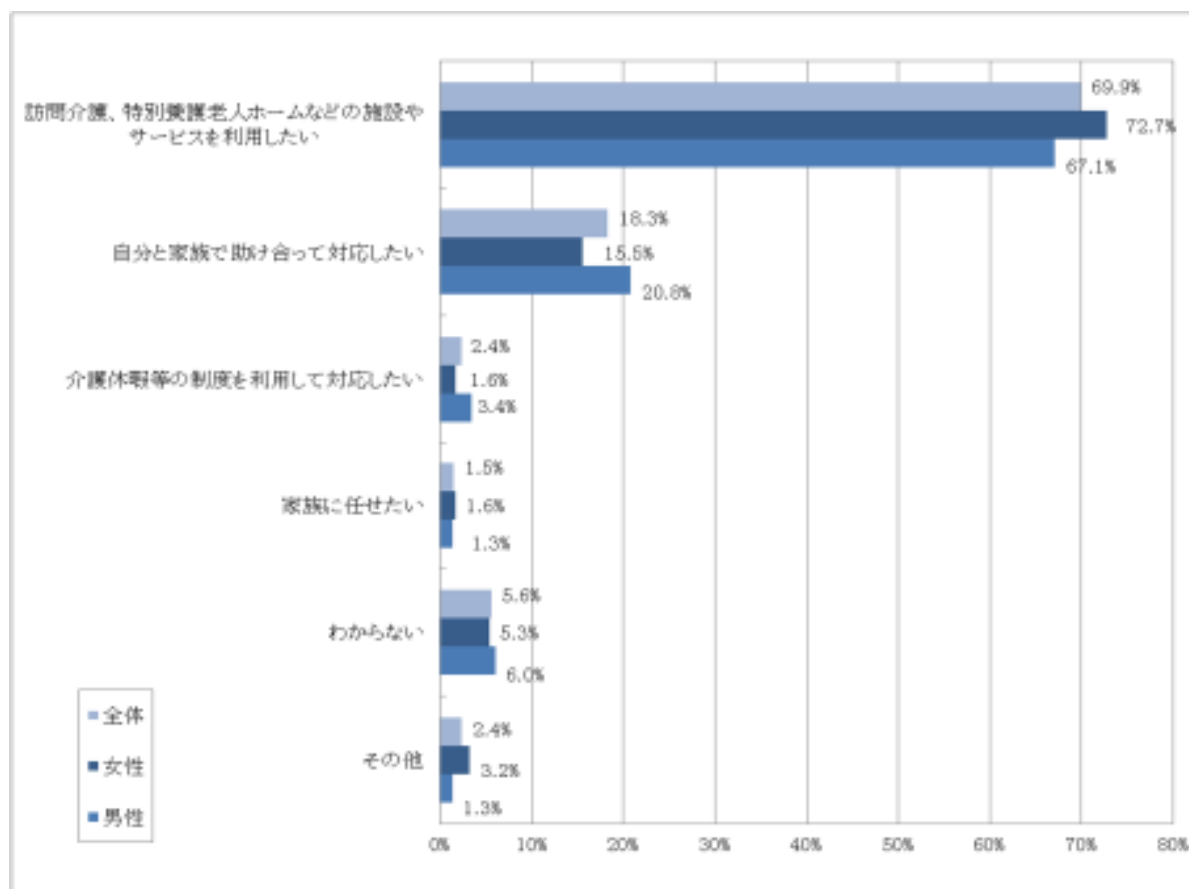


- ◆全体では、『訪問介護、特別養護老人ホームなどの施設やサービスを利用している、又は利用した』の割合が59.2%で最も高く、次いで『自分と家族で助け合って対応している、又は対応した』の割合が30.1%で高かった。

	訪問介護、特別養護老人ホームなどの施設やサービスを利用した	自分と家族で助け合って対応している、又は対応した	家族に任せている、又は任せた	その他
全体	59.2%	30.1%	6.8%	3.9%
女性	48.3%	41.7%	5.0%	5.0%
20歳代	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
30歳代	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
40歳代	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%
50歳代	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%
60歳代	52.4%	38.1%	0.0%	9.5%
70歳代	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%
男性	74.4%	14.0%	9.3%	2.3%
20歳代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
40歳代	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
50歳代	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
60歳代	75.0%	18.8%	0.0%	6.3%
70歳代	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%

問13 家族に対する対応の希望

あなたは、介護が必要な家族がいる場合、どのように対応したいと思いますか。(回答は1つ)



◆全体では、『訪問介護、特別養護老人ホームなどの施設やサービスを利用したい』の割合が69.9%で最も高く、次いで『自分と家族で助け合って対応したい』の割合が18.3%であった。

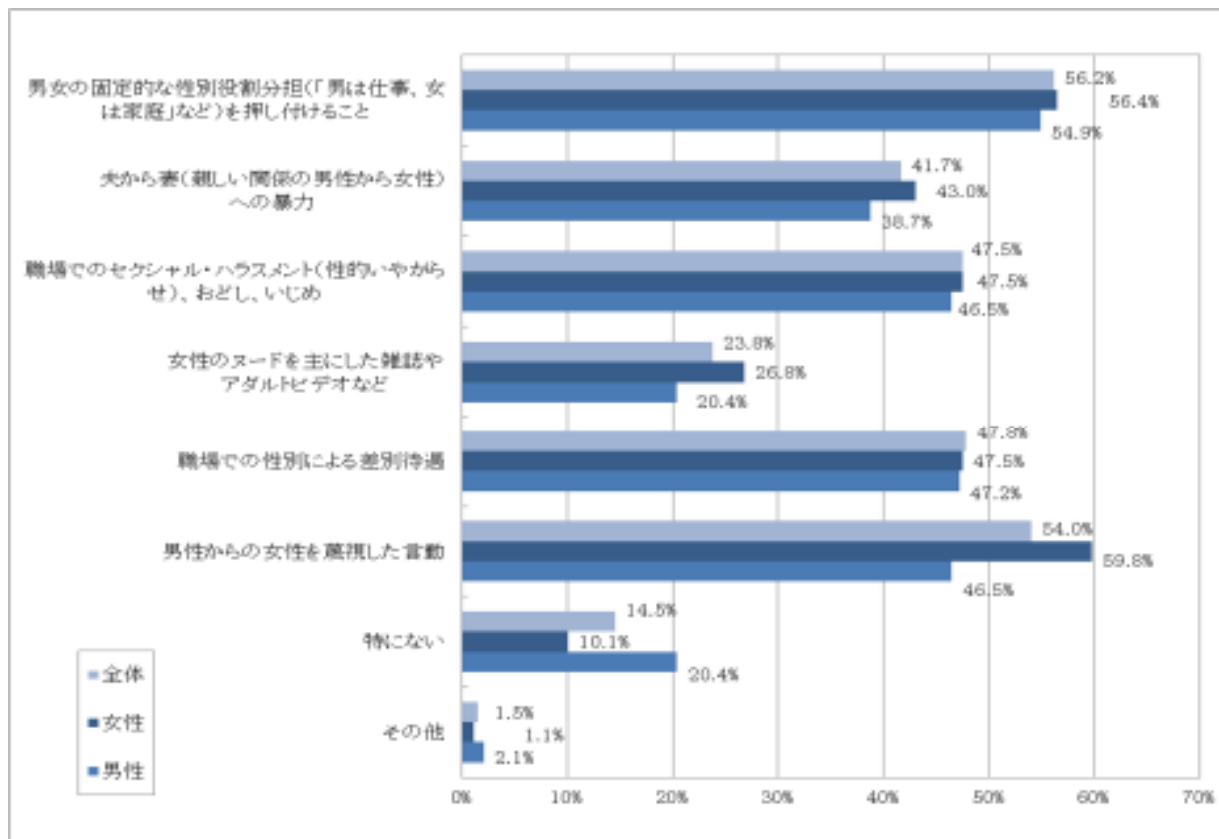
◆問11で自分自身の介護については、配偶者にしてもらいたいという希望が全体で35.4%、男性にいたっては55.3%であったが、実際に介護する側となると、各種サービスを活用したいという人の割合が高いことがわかる。

(5) 人権について

問14 女性の人権について

あなたが、女性の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことについてですか。

(該当するもの全て)



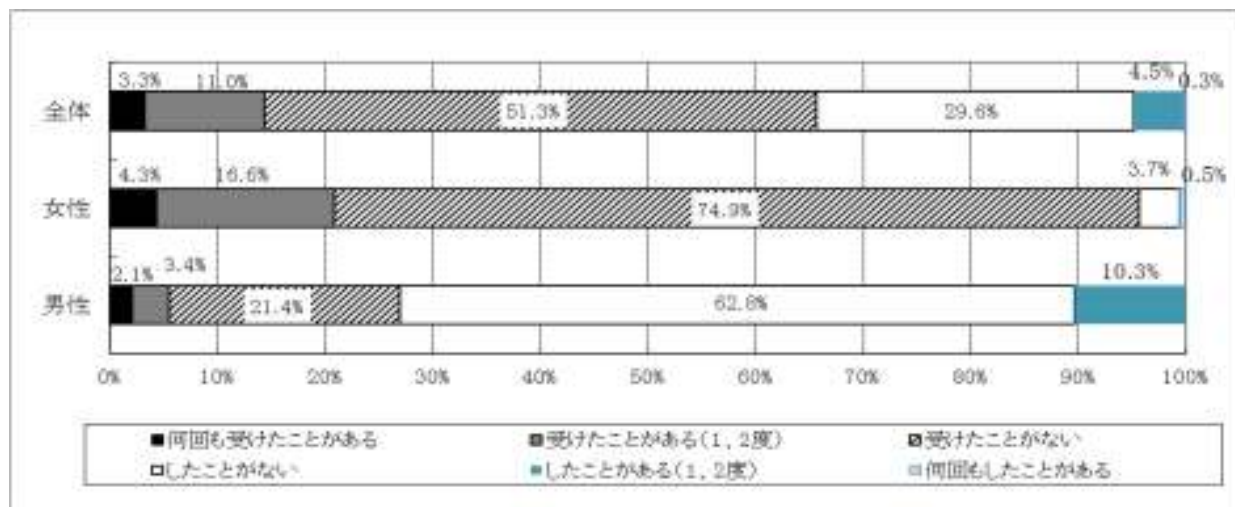
◆全体では、『男女の固定的な性別役割分担(「男は仕事、女は家庭」等)を押し付けること』と『男性からの女性を蔑視した言動』の割合がともに50%超、『職場での性別による差別待遇』・『職場でのセクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)おどし、いじめ』・『夫から妻(親しい関係の男性から女性)への暴力』の割合がそれぞれ40%超であった。

◆男女別では、『男性からの女性を蔑視した言動』の割合が男性よりも女性のほうが高かったが、それ以外の項目については、あまり大きな差は見られなかった。

問15 配偶者間等の男女間の暴力(DV)について

配偶者や親しい関係の男女間の暴力についてお聞きします。(各項目1つ選択)

①身体的な暴力(なぐる・ける・物を投げつける・つきとばす・刃物でおどす等)

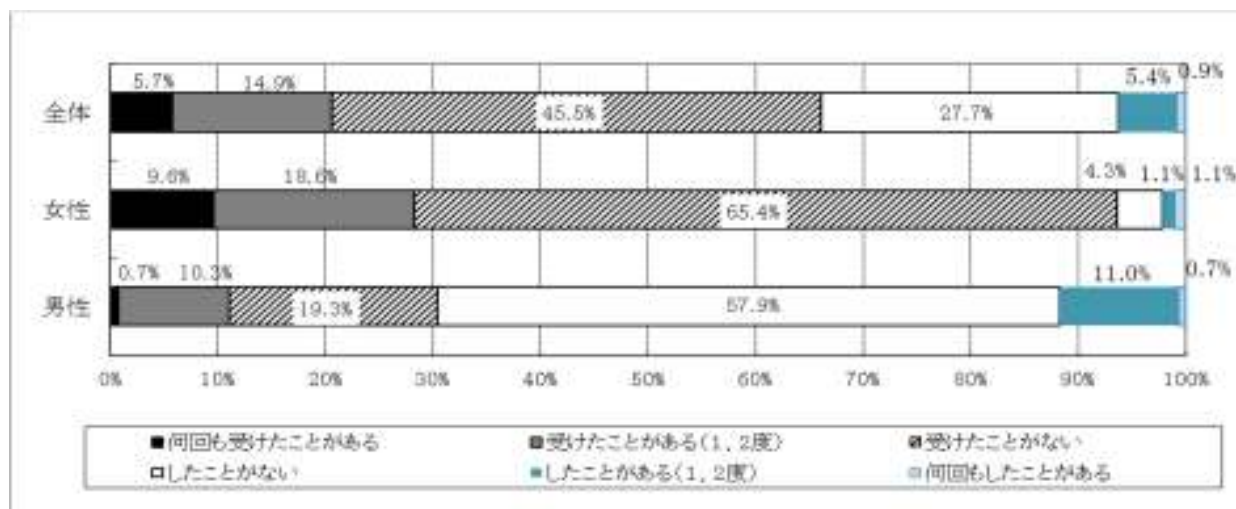


◆身体的な暴力について、全体では、『受けたことがない』と『したことがない』を合わせると80.9%、『受けたことがある(1, 2度)』と『したことがある(1, 2度)』を合わせると15.5%、『何回も受けたことがある』と『何回もしたことがある』を合わせると3.6%であった。

◆男性よりも女性のほうが身体的な暴力を受けたことのある割合が高かった。

	何回も受けたことがある	受けたことがある(1, 2度)	受けたことがない	したことがない	したことがある(1, 2度)	何回もしたことがある
全体	3.3%	11.0%	51.3%	29.6%	4.5%	0.3%
女性	4.3%	16.6%	74.9%	3.7%	0.0%	0.5%
20歳代	0.0%	14.3%	81.0%	4.8%	0.0%	0.0%
30歳代	6.9%	17.2%	75.9%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	6.5%	6.5%	80.6%	6.5%	0.0%	0.0%
50歳代	3.4%	20.7%	72.4%	3.4%	0.0%	0.0%
60歳代	0.0%	23.3%	74.4%	2.3%	0.0%	0.0%
70歳代	8.8%	14.7%	67.6%	5.9%	0.0%	2.9%
男性	2.1%	3.4%	21.4%	62.8%	10.3%	0.0%
20歳代	15.4%	7.7%	7.7%	69.2%	0.0%	0.0%
30歳代	5.9%	5.9%	17.6%	70.6%	0.0%	0.0%
40歳代	0.0%	4.3%	21.7%	69.6%	4.3%	0.0%
50歳代	0.0%	3.8%	34.6%	50.0%	11.5%	0.0%
60歳代	0.0%	0.0%	13.5%	64.9%	21.6%	0.0%
70歳代	0.0%	3.4%	27.6%	58.6%	10.3%	0.0%

②精神的な暴力(おどす・人格を否定することを言う・無視する・行動を監視する等)

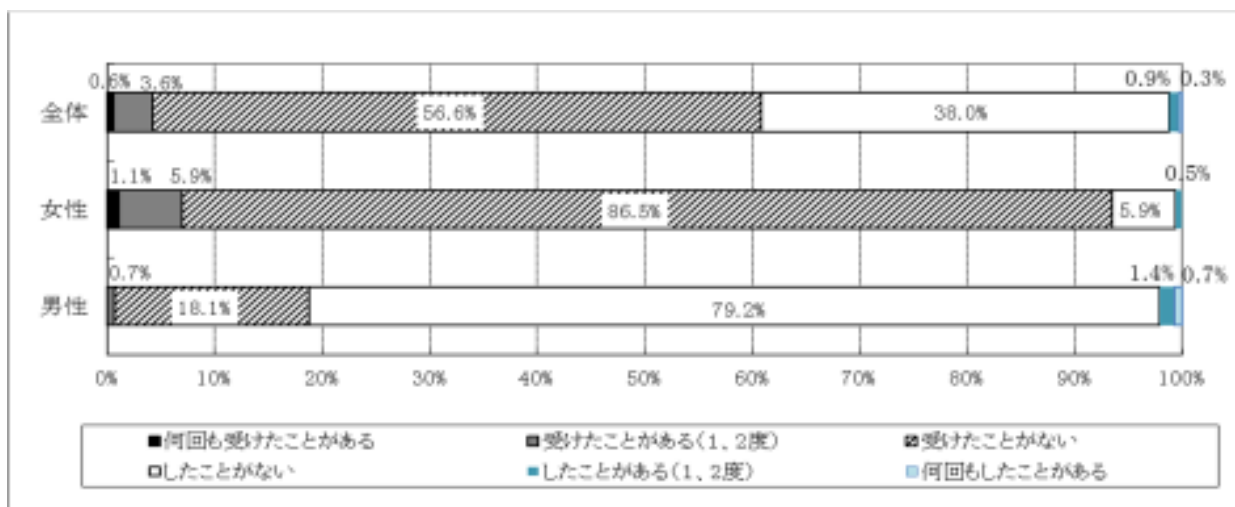


◆精神的な暴力について、全体では、『受けたことがない』と『したことがない』を合わせると73.2%、『受けたことがある(1, 2度)』と『したことがある(1, 2度)』を合わせると20.3%、『何回も受けたことがある』と『何回もしたことがある』を合わせると6.6%であった。

◆男性よりも女性のほうが精神的な暴力を受けたことのある割合が高かった。

	何回も受けたことがある	受けたことがある(1, 2度)	受けたことがない	したことがない	したことがある(1, 2度)	何回もしたことがある
全体	5.7%	14.9%	45.5%	27.7%	5.4%	0.9%
女性	9.6%	18.6%	65.4%	4.3%	1.1%	1.1%
20歳代	4.8%	9.5%	81.0%	4.8%	0.0%	0.0%
30歳代	10.3%	13.8%	62.1%	3.4%	6.9%	3.4%
40歳代	16.1%	16.1%	61.3%	6.5%	0.0%	0.0%
50歳代	10.3%	31.0%	55.2%	3.4%	0.0%	0.0%
60歳代	4.7%	27.9%	67.4%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳代	11.4%	8.6%	68.6%	8.6%	0.0%	2.9%
男性	0.7%	10.3%	19.3%	57.9%	11.0%	0.7%
20歳代	7.7%	15.4%	7.7%	61.5%	7.7%	0.0%
30歳代	0.0%	11.8%	23.5%	58.8%	0.0%	5.9%
40歳代	0.0%	13.0%	21.7%	60.9%	4.3%	0.0%
50歳代	0.0%	15.4%	30.8%	38.5%	15.4%	0.0%
60歳代	0.0%	5.4%	13.5%	64.9%	16.2%	0.0%
70歳代	0.0%	6.9%	17.2%	62.1%	13.8%	0.0%

③性的な暴力(性行為や中絶を強要する、避妊に協力しない等)

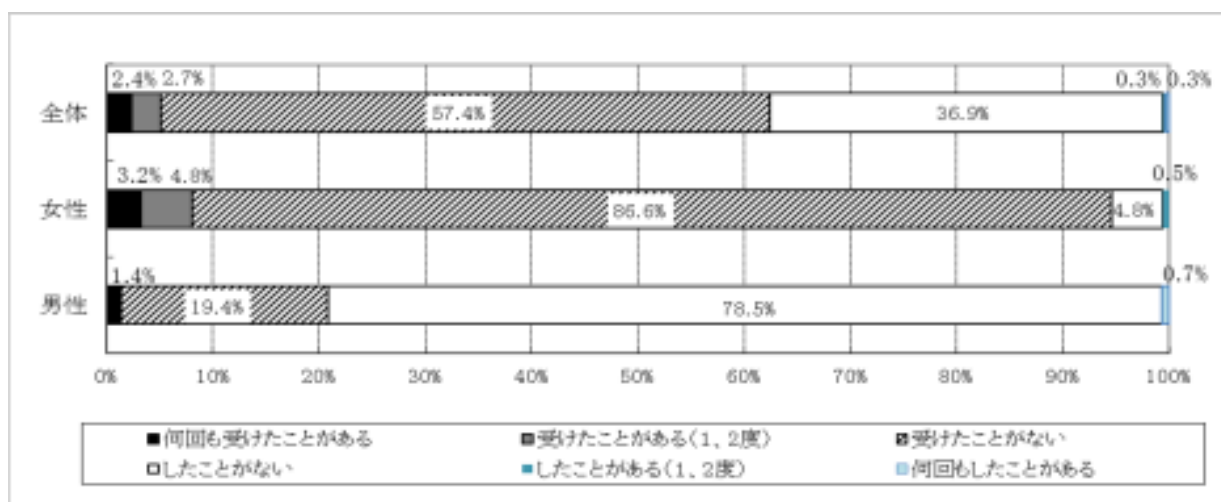


◆性的な暴力について、全体では、『受けたことがない』と『したことがない』を合わせると94.6%、『受けたことがある(1, 2度)』と『したことがある(1, 2度)』を合わせると4.5%、『何回も受けたことがある』と『何回もしたことがある』を合わせると0.9%であった。

◆ほかの項目と比較して、受けたことのある人の割合が最も低かった。

	何回も受けたことがある	受けたことがある(1, 2度)	受けたことがない	したことがない	したことがある(1, 2度)	何回もしたことがある
全体	0.6%	3.6%	56.6%	38.0%	0.9%	0.3%
女性	1.1%	5.9%	86.5%	5.9%	0.5%	0.0%
20歳代	0.0%	4.8%	90.5%	4.8%	0.0%	0.0%
30歳代	0.0%	13.8%	82.8%	3.4%	0.0%	0.0%
40歳代	0.0%	3.2%	90.3%	6.5%	0.0%	0.0%
50歳代	0.0%	10.3%	86.2%	3.4%	0.0%	0.0%
60歳代	2.3%	0.0%	93.0%	4.7%	0.0%	0.0%
70歳代	3.1%	6.3%	75.0%	12.5%	3.1%	0.0%
男性	0.7%	18.1%	79.2%	1.4%	0.7%	0.0%
20歳代	0.0%	0.0%	7.7%	92.3%	0.0%	0.0%
30歳代	0.0%	5.9%	11.8%	82.4%	0.0%	0.0%
40歳代	0.0%	0.0%	21.7%	78.3%	0.0%	0.0%
50歳代	0.0%	0.0%	38.5%	57.7%	3.8%	0.0%
60歳代	0.0%	0.0%	11.1%	86.1%	0.0%	2.8%
70歳代	0.0%	0.0%	13.8%	82.8%	3.4%	0.0%

④経済的な暴力(生活費を渡さない、働くことを妨害する等)

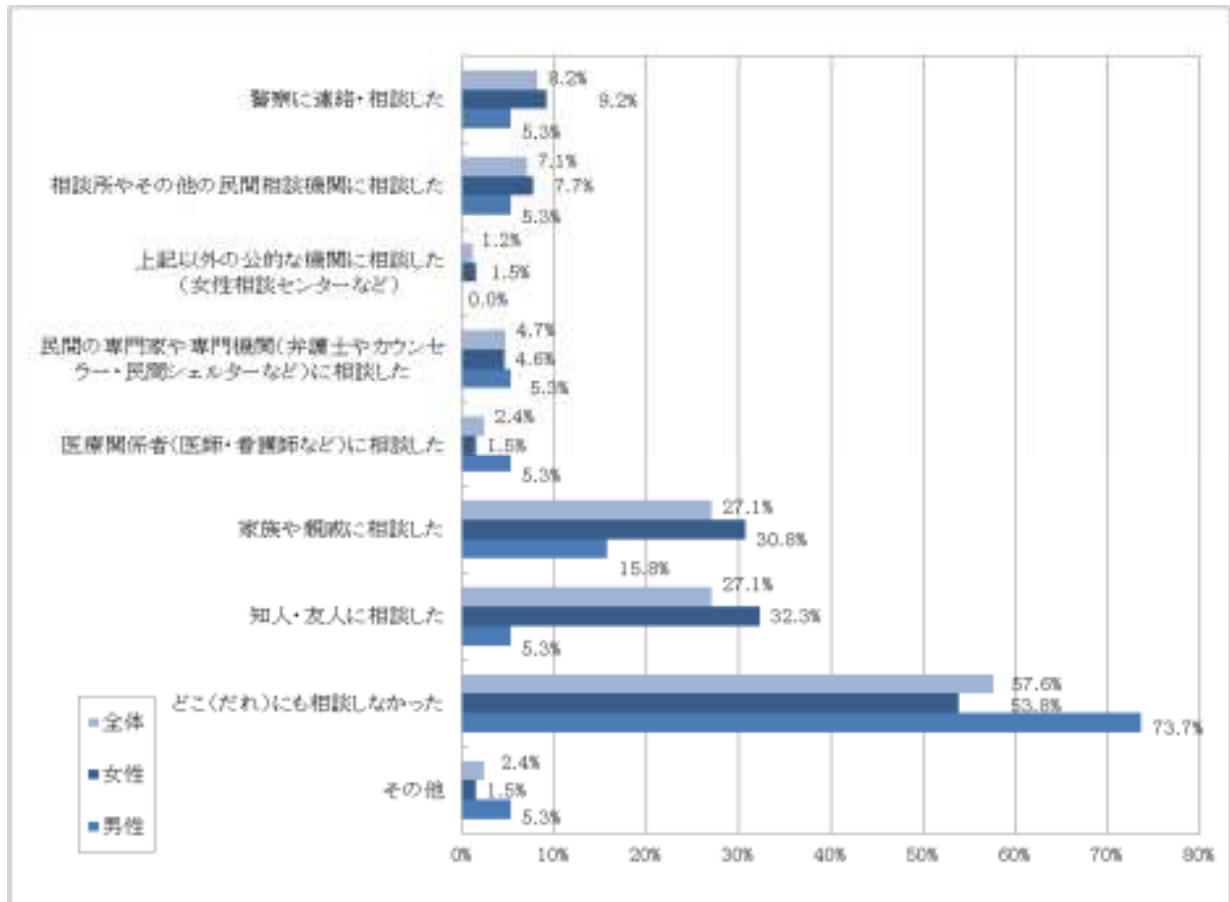


◆経済的な暴力について、全体では、『受けたことがない』と『したことがない』を合わせると94.3%、『受けたことがある(1, 2度)』と『したことがある(1, 2度)』を合わせると3.0%、『何回も受けたことがある』と『何回もしたことがある』を合わせると2.7%であった。

	何回も受けたことがある	受けたことがある(1, 2度)	受けたことがない	したことがない	したことがある(1, 2度)	何回もしたことがある
全体	2.4%	2.7%	57.4%	36.9%	0.3%	0.3%
女性	3.2%	4.8%	86.6%	4.8%	0.5%	0.0%
20歳代	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%
30歳代	6.9%	6.9%	79.3%	3.4%	3.4%	0.0%
40歳代	6.5%	3.2%	83.9%	6.5%	0.0%	0.0%
50歳代	3.4%	6.9%	86.2%	3.4%	0.0%	0.0%
60歳代	0.0%	7.0%	90.7%	2.3%	0.0%	0.0%
70歳代	3.0%	3.0%	84.8%	9.1%	0.0%	0.0%
男性	1.4%	0.0%	19.4%	78.5%	0.0%	0.7%
20歳代	7.7%	0.0%	15.4%	76.9%	0.0%	0.0%
30歳代	0.0%	0.0%	23.5%	76.5%	0.0%	0.0%
40歳代	0.0%	0.0%	21.7%	78.3%	0.0%	0.0%
50歳代	0.0%	0.0%	34.6%	65.4%	0.0%	0.0%
60歳代	2.7%	0.0%	10.8%	83.8%	0.0%	2.7%
70歳代	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%

問16 DVの相談状況について

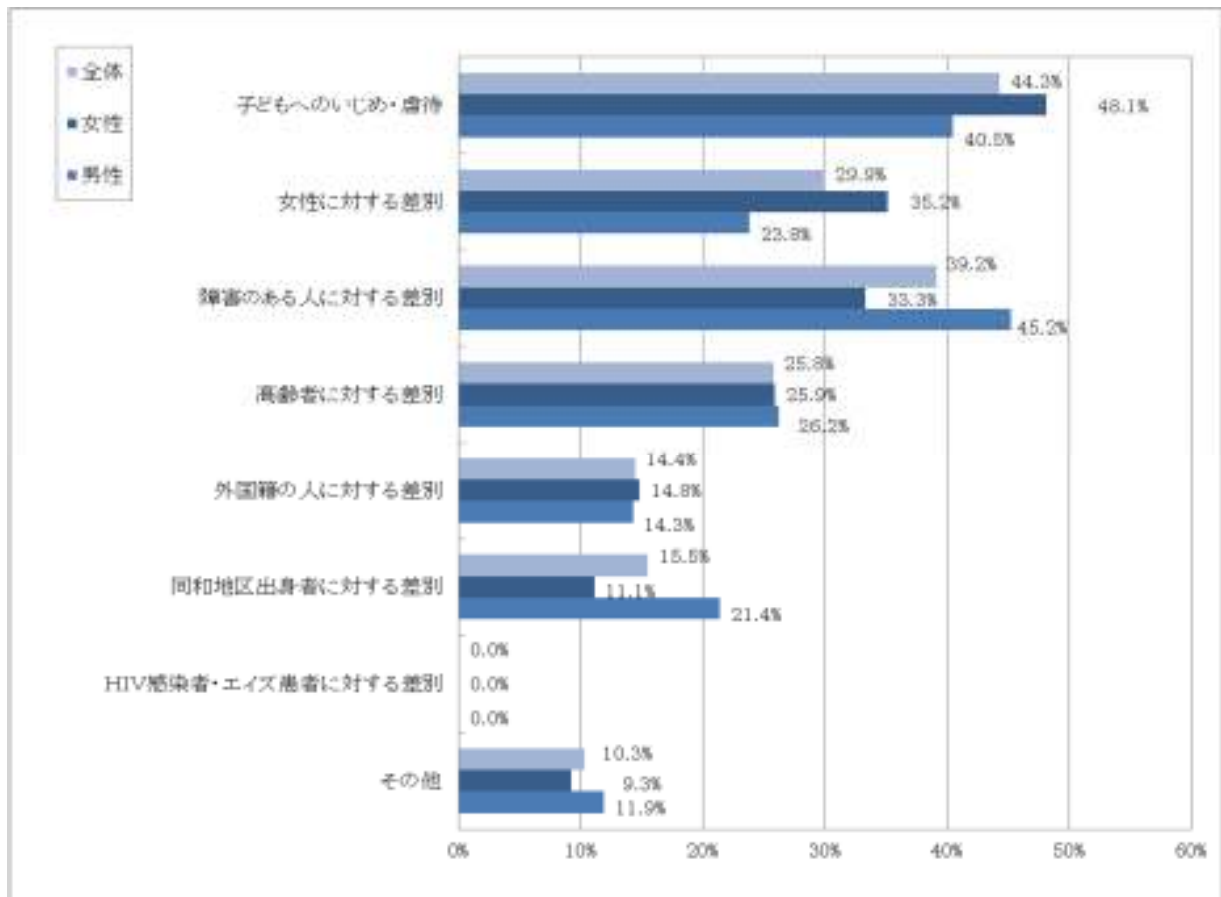
前問(問15)で(何回も受けたことがある)又は(1、2度受けたことがある)と回答した方に伺います。その事をどこか(誰か)に相談しましたか。(該当するもの全て)



- ◆DVの相談状況については、全体では『どこ(だれ)にも相談しなかった』の割合が最も高く57.6%で、次いで『家族や親戚に相談した』と『知人・友人に相談した』の割合が27.1%で高かった。
- ◆特に男性の『どこ(だれ)にも相談しなかった』の割合は7割を超えており、DVを受けたとしても、多くの男性は1人で抱え込む傾向にあるといえる。

問17 差別や人権侵害の経験

あなたやあなたのまわりの人が下記の差別や人権侵害を受けた経験がありますか。
 (該当するもの全て)

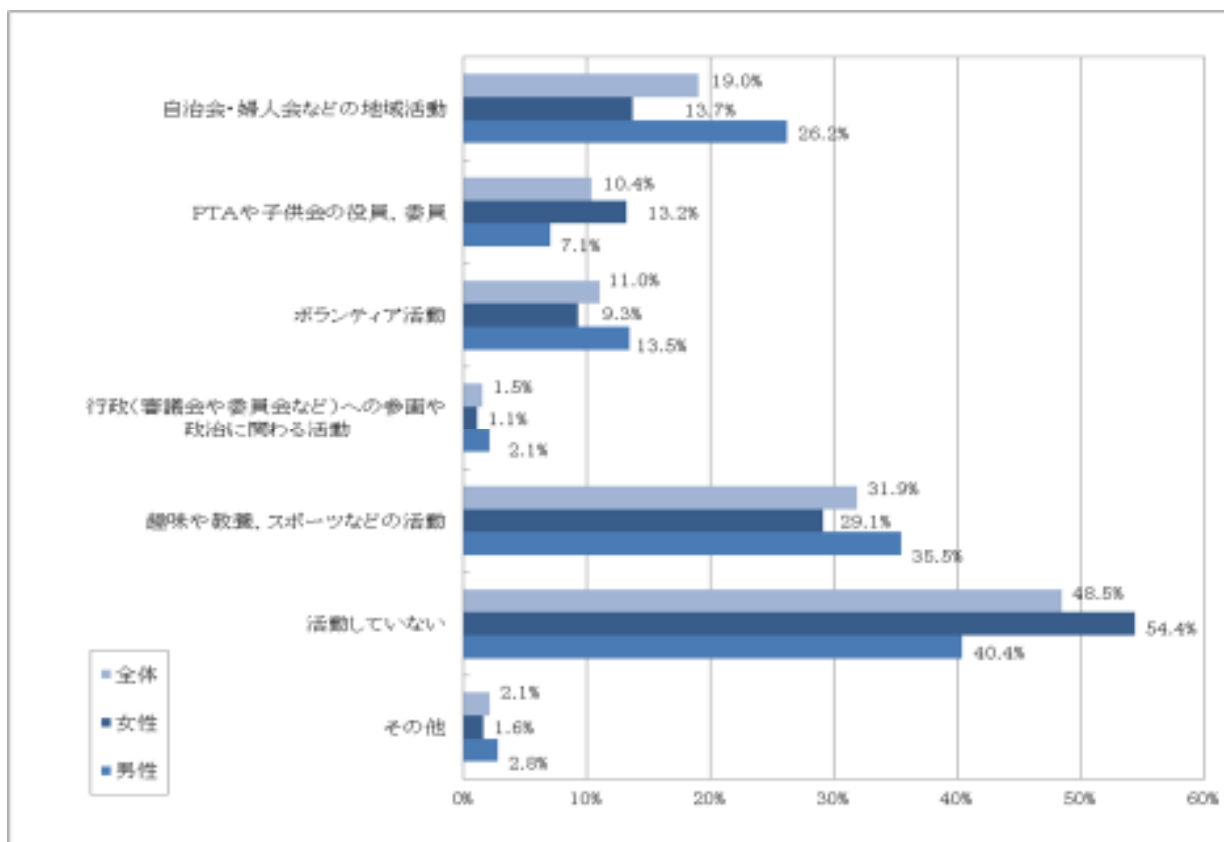


- ◆差別や人権侵害の経験について、全体では『子どもへのいじめ・虐待』の割合が44.3%で最も高く、次いで『障害のある人に対する差別』の割合が39.2%で高かった。
- ◆『女性に対する差別』や『高齢者に対する差別』についても3割近い人が回答しており、男女問わずさまざまな場面で差別や人権侵害を経験していることがわかる。

(6) 社会参画、地域活動について

問18 地域活動への参画状況

あなたは、現在、どのような地域活動や社会活動に参加していますか。(該当のもの全て)

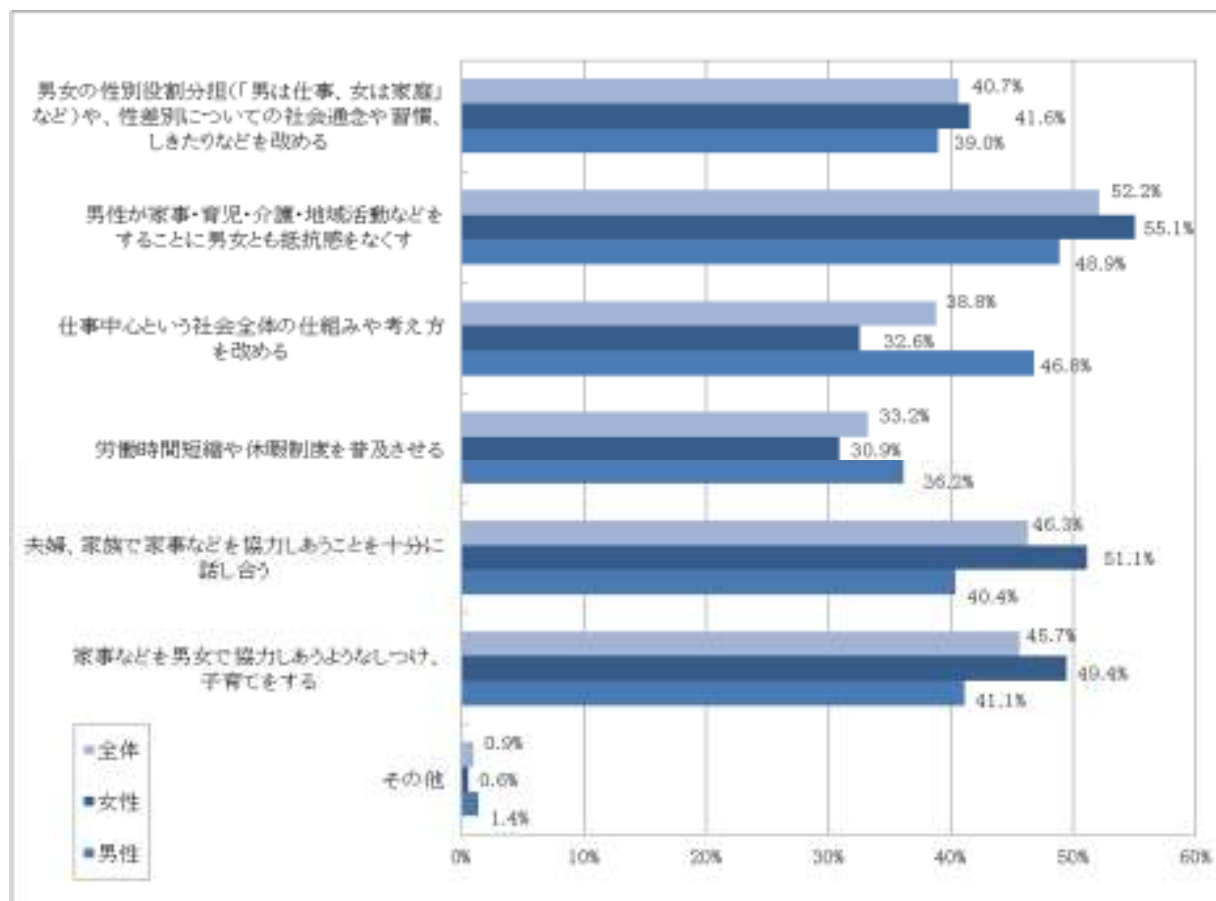


◆全体では、『活動していない』の割合が48.5%で最も高く、次いで『趣味や教養、スポーツなどの活動』の割合が31.9%で高かった。以下、『自治会・婦人会などの地域活動』、『ボランティア活動』、『PTAや子供会の役員、委員』の順で活動に参加している。

◆何らかの活動に参加している人の割合については、『PTAや子ども会の役員、委員』を除いて、女性より男性のほうが高い傾向にあった。

問19 ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なこと

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現する社会をめざしていますが、家庭と仕事、地域活動など、調和のとれた生活をおくるために、あなたは、特にどのようなことが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

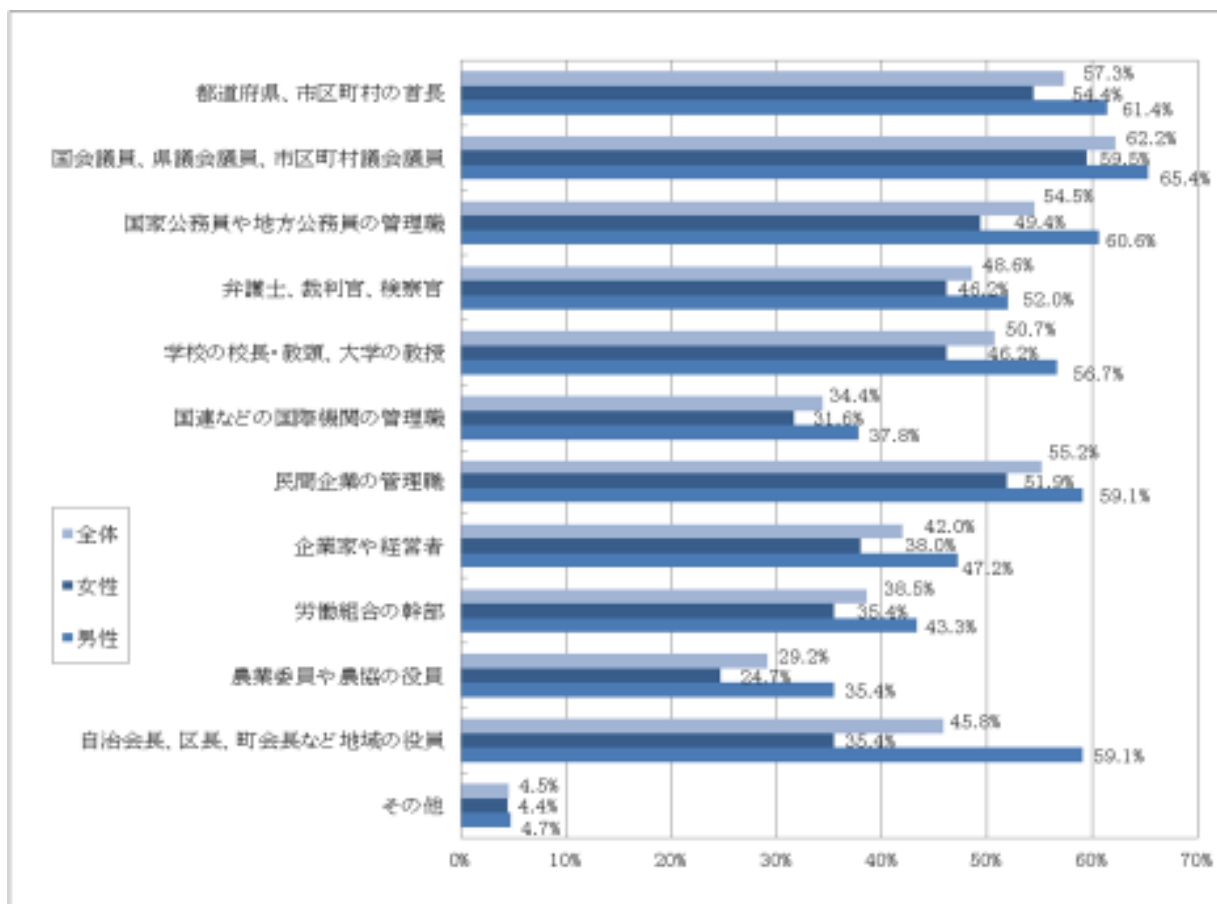


- ◆全体では、『男性が家事・育児・介護・地域活動などをするに男女とも抵抗感をなくす』の割合が52.2%で最も高く、『夫婦、家族で家事などを協力しあうことを十分に話し合う』、『家事などを男女で協力しあうようなしつけ、子育てをする』、『男女の性別役割分担(「男は仕事、女は家庭」など)や、性差別についての社会通念や習慣、しきたりなどを改める』の3項目について必要だと思う人の割合は4割を超えた。
- ◆男女間で回答に大きな差は見られず、多くの人が上記項目について必要だと認識していることがわかる。

問20 今後の女性増加を望む職業・役職

職業や役職において、今後女性がもっと増えるほうがよいと思うものはどれですか。

(該当のもの全て)



◆全体では、『国会議員、県議会議員、市区町村議会議員』の割合が62.2%で最も高く、次いで『都道府県、市区町村の首長』、『民間企業の管理職』、『国家公務員や地方公務員の管理職』の順に割合が高く、すべて5割を超えた。

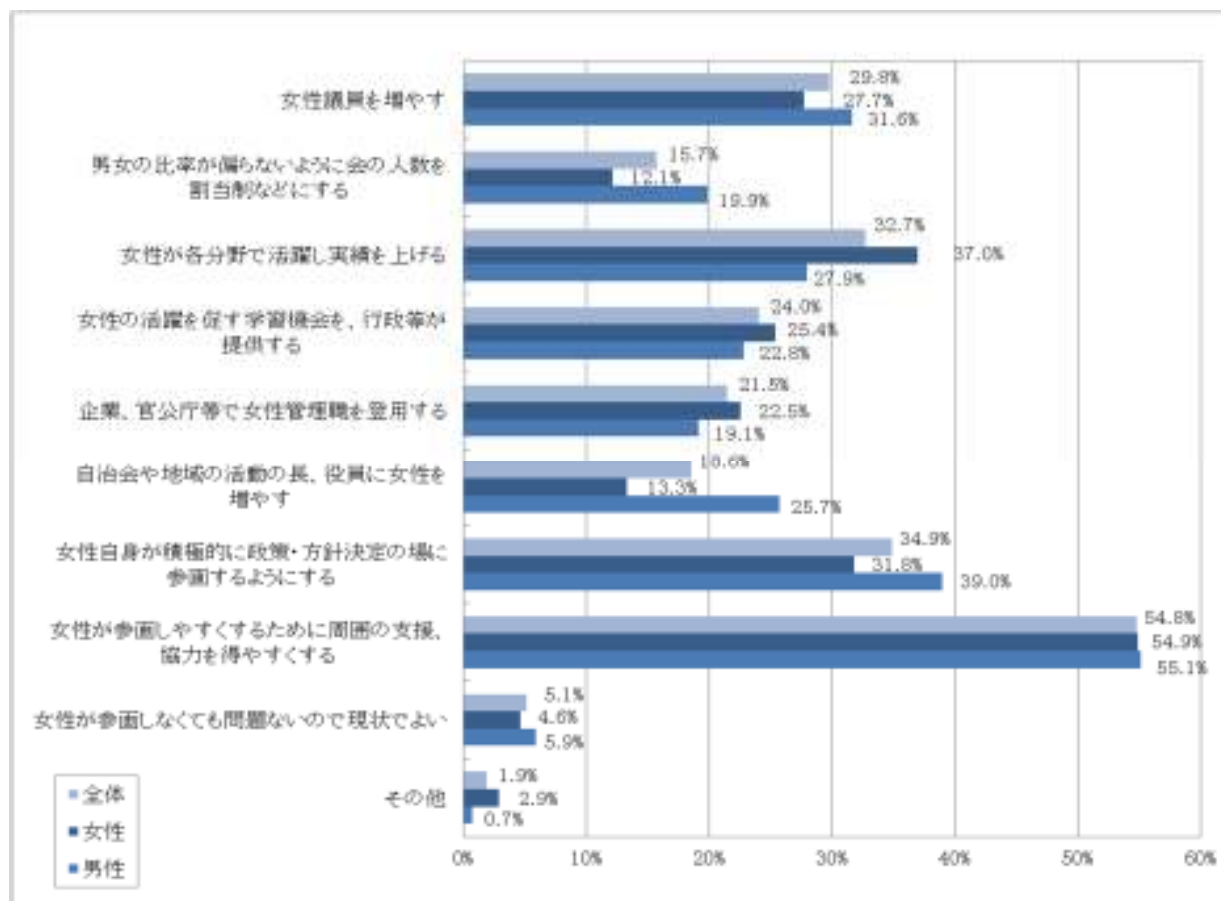
◆男女間で差が大きかったのは、『自治会長、区長、町会長など地域の役員』で、女性よりも男性のほうが、女性がもっと増えるとよいと回答しており、その割合は59.1%にのぼった。

◆その他では、適した人なら男女問わずという意見が複数みられた。

問21 桐生市委員会等への女性参画のために大切なこと

内閣府では、政策・方針決定の場への女性の参画率30%を目標にしていますが、現在、桐生市では市民参加で組織している各種委員会等の女性委員の割合は22%程度です。

桐生市の委員会等への女性の参画を図るうえで、あなたは特にどのようなことが大切だと思いますか。（回答は3つまで）



◆全体では、『女性が参画しやすくするために周囲の支援、協力を得やすくする』の割合が54.8%で最も高く、次いで『女性自身が積極的に政策・方針決定の場に参画するようにする』『女性が各分野で活躍し実績を上げる』の順に割合が高かった。

◆前回調査においても、『女性が参画しやすくするために周囲の支援、協力を得やすくする』の割合が最も高かったが、前回と比較して『女性自身が積極的に政策・方針決定の場に参画するようにする』や『女性が各分野で活躍し実績を上げる』などの割合が高くなっており※、周囲の支援だけでなく、女性自身の努力についても必要であるとする傾向が強くなってきている。

※前回調査における割合は以下のとおり

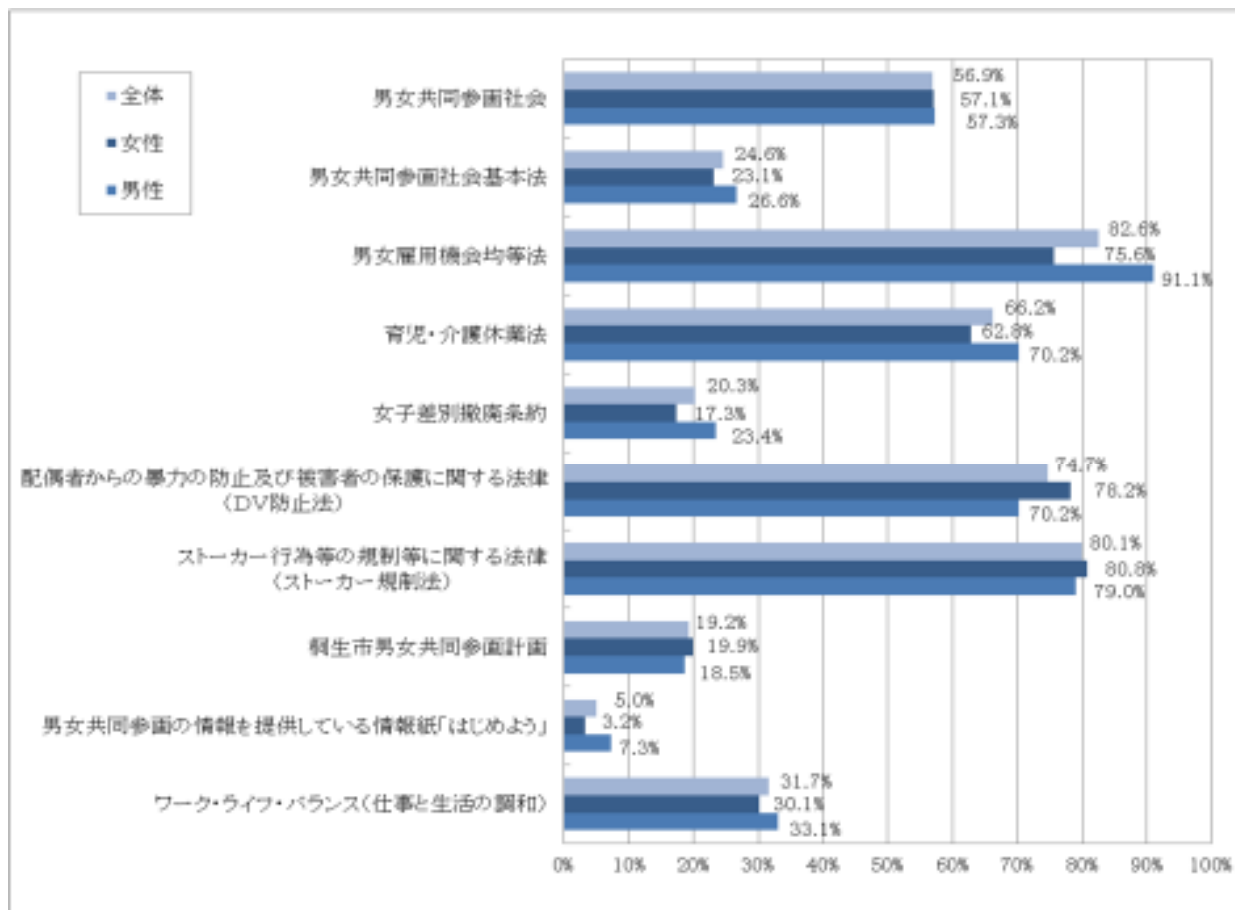
『女性自身が積極的に政策・方針決定の場に参画するようにする』:31.4%

『女性が各分野で活躍し実績を上げる』:23.8%

(7) 市の施策等について

問22 ことば、法律、市の施策の認知度

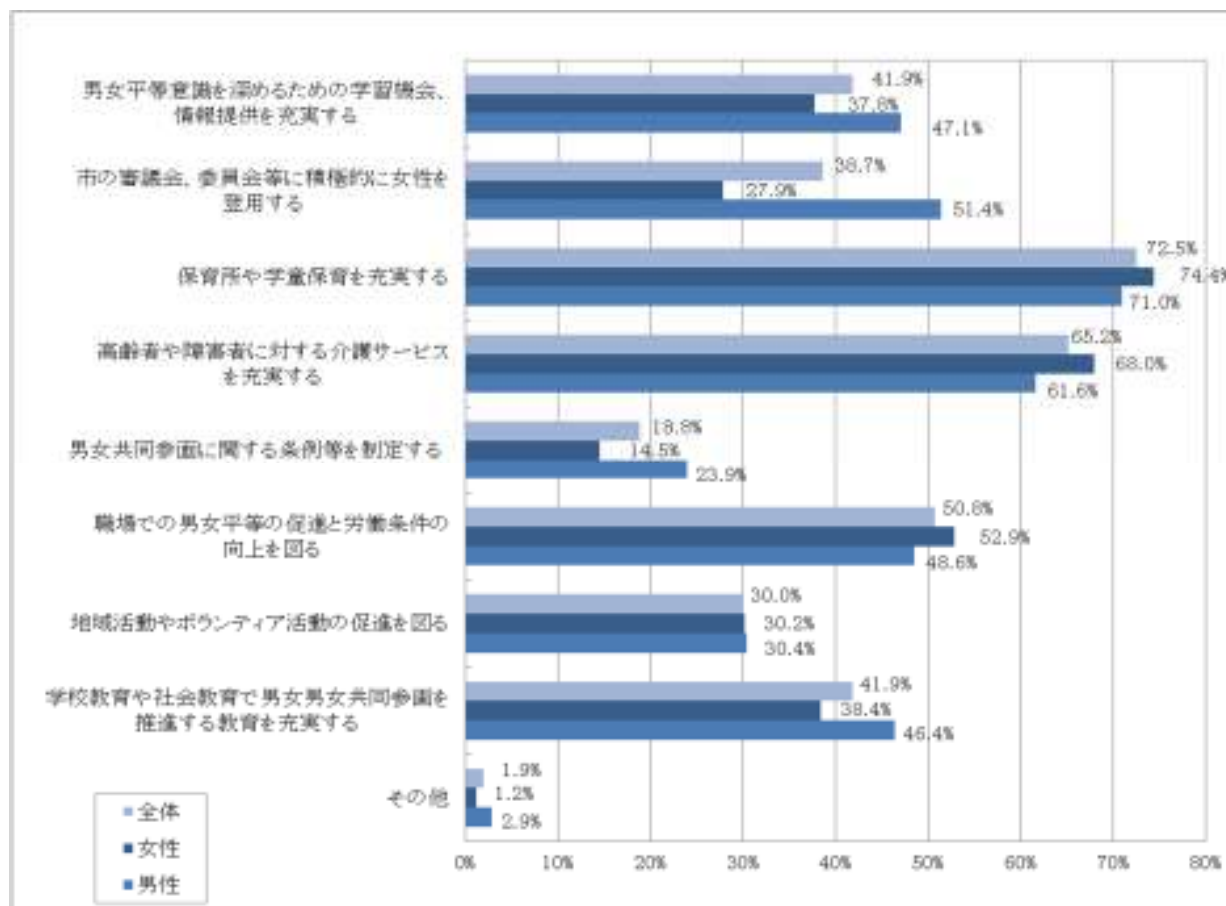
あなたは、次のことばや法律、市の事業などについて見たり聞いたりしたことがありますか。
(該当のもの全て)



- ◆全体では、『男女雇用機会均等法』の割合が82.6%で最も高く、次いで『ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)』、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)』の割合が高かった。
- ◆『男女共同参画社会』の割合は全体で56.9%と半数を超えたが、『男女共同参画基本法』や『桐生市男女共同参画計画』の存在を知っている人の割合は約20%にとどまった。『ワーク・ライフ・バランス』についても、約3割であり決して認知度が高いとは言えない状況にある。
- ◆今後さまざまな年代の多くの人々に、ひとつでも多くの言葉や事業に興味を持っていただけるよう、各種取り組みの強化が必須である。

問23 男女共同参画社会実現のために注力すべきこと

男女共同参画社会を進めるために、市ではどのような取り組みに力を入れる必要があると思いますか。(該当のもの全て)



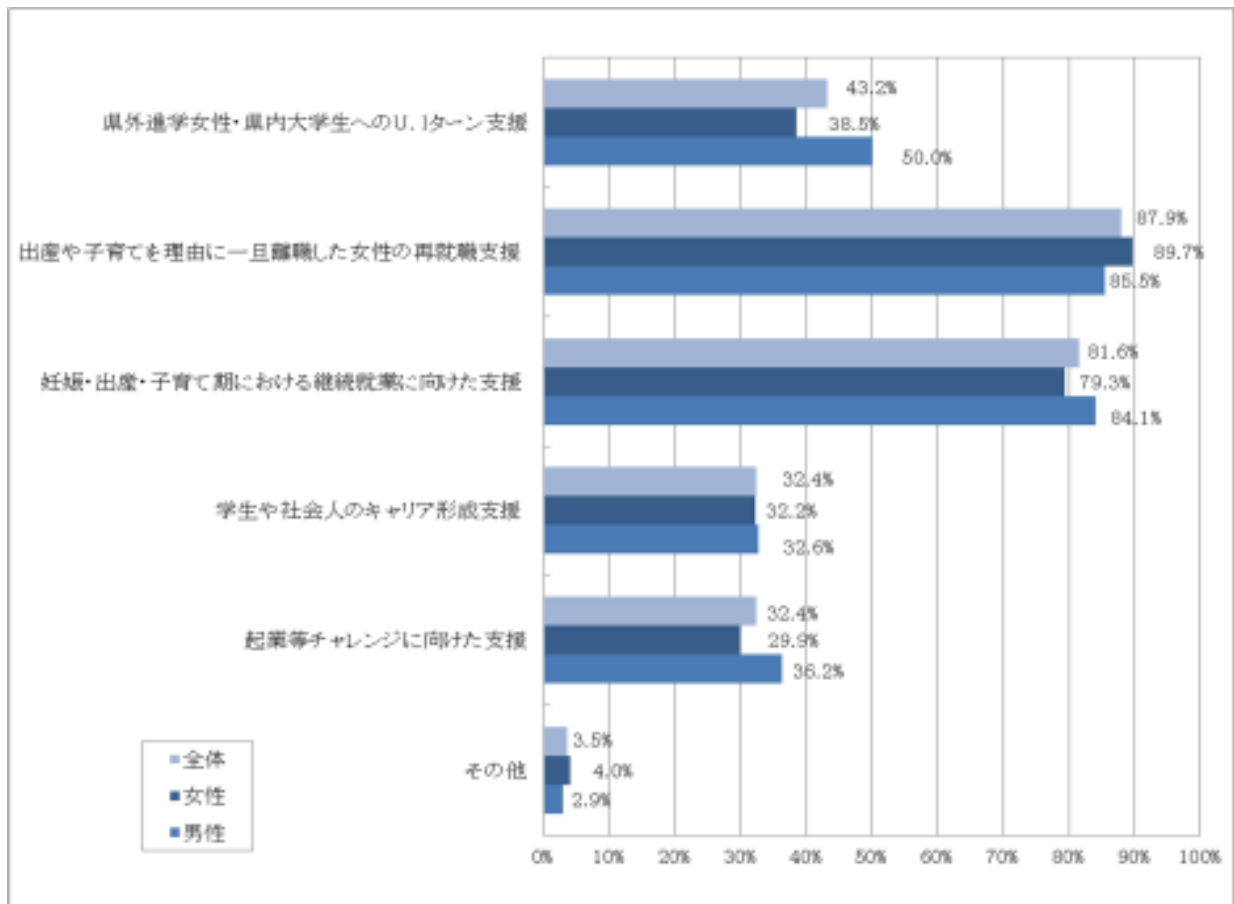
◆全体では、『保育所や学童保育を充実する』の割合が72.5%で最も高く、次いで『高齢者や障害者に対する介護サービスを充実する』の割合が65.2%で高かった。

◆男女間で差が大きかったのは『市の審議会、委員会等に積極的に女性を登用する』であり、男性のほうが女性よりも、女性の積極登用へ力を入れる必要性を感じていることがわかった。

(8) 国の施策等について

問24 女性活躍推進のために行政に期待すること

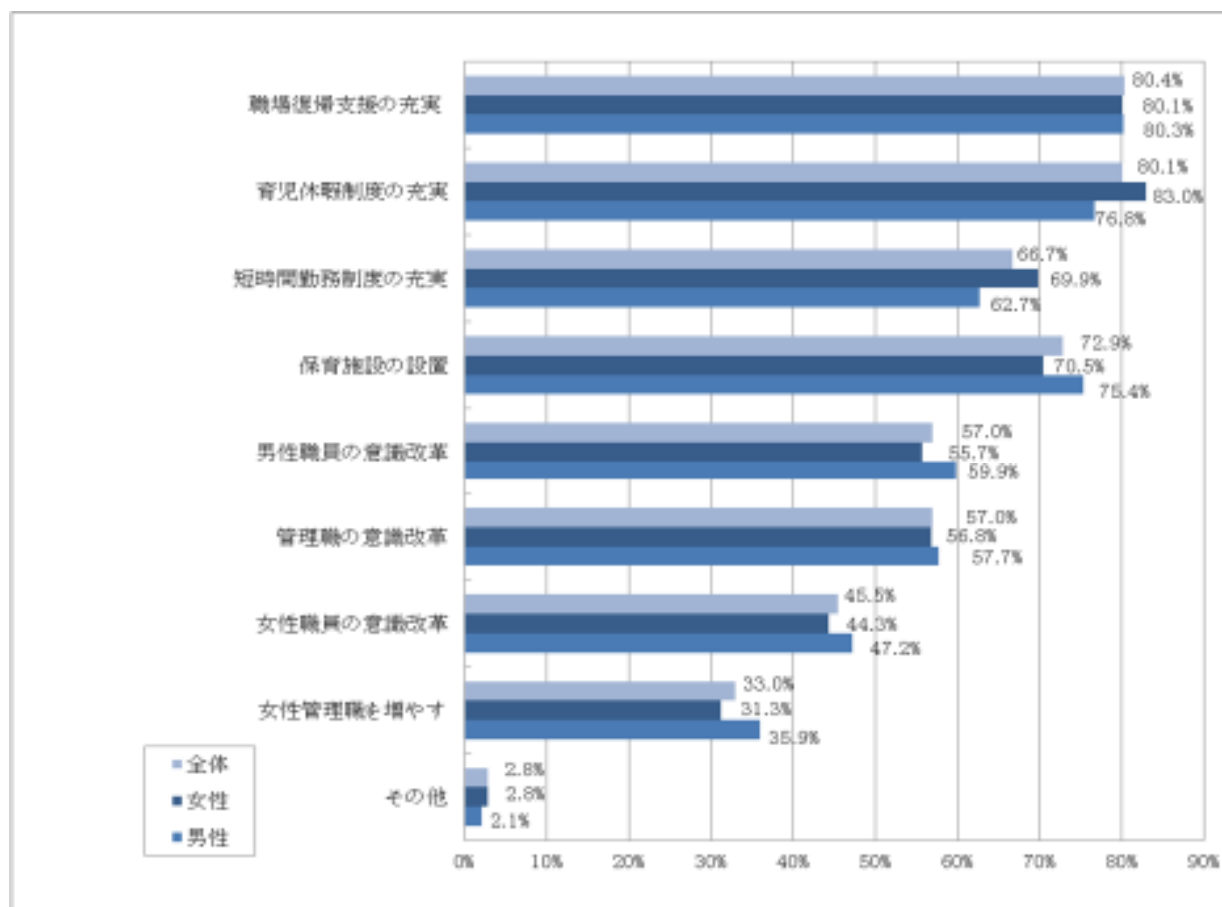
女性の活躍を推進するために、行政に期待することは何ですか。(該当のもの全て)



- ◆全体では、『出産や子育てを理由に一旦離職した女性の再就職支援』の割合が87.9%で最も高く、次いで『妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた支援』の割合が81.6%が高かった。
- ◆男女問わず、上記2項目について期待する割合は非常に高かったが、Uターンや企業支援など仕事に関連する項目については、女性よりも男性のほうが割合が高かった。

問25 女性が働きやすい職場にするために必要なこと

女性が働きやすい職場にするために何が重要だと思いますか。(該当のもの全て)



◆全体では、『職場復帰支援の充実』の割合が80.4%で最も高く、次いで『育児休暇制度の充実』の割合が80.1%で高かった。また、『保育施設の設置』や『短時間勤務制度の充実』についても約7割の人が必要だと回答した。

◆女性が働きやすい職場にするためには、まだまだ多くの課題が存在するといえる。

(9) 自由意見

性別	年代	職業	結婚歴	共働き	家族構成	意見
女	20代	学生	未婚		その他	女性の社会進出の一番のネックになっているのは子育てだと思う。子育ての支援環境を家庭内や保育施設だけの問題にするのではなく、職場や地域、公共施設の問題としても受け止め、あらゆる場で子育てしやすくすれば、自然に女性は社会に進出すると思います。
女	20代	勤め人(常勤)	未婚		2世代世帯	男女の差別というと「女性が差別する」ということについてばかりで、「男性が差別される」ことについて取り上げられることがないのは気になる。そもそもそういう項目の質問自体があることや、その解決策に女性管理職を置けばよいと思っているならば、まだまだ男女平等にならなそうだなと感じる。
女	20代	勤め人(常勤)	既婚(配偶者有)	共働き	2世代世帯	女性の立場からだけでなく、男性の立場からの質問も入れたほうがよいです。女性の社会進出のためには男性の育児への協力が必要なので、男性も育児が協力できる環境になるようにすると思います(労働時間など)。
男	20代	勤め人(常勤)	既婚(配偶者有)	片方労働	3世代世帯	”男女共同参画”という名前があまりピンとこないので、もっとダイレクトで分かりやすくイメージしやすい名前がいいと思います。
女	20代	勤め人(非常勤)	未婚		2世代世帯	私の世代ではあまり男女不平等を感じたことはありません。学校や就活のときも男女が同じ条件で勝負ができたと思います。そのかわり、「男に負けないくらい頑張らないと社会人としてダメな人」という雰囲気は同世代ではあると思います。女性みんなが男性と同じように働けるわけではないので、その点では「女性は女らしく、男性は男らしく」といった考えをなくすことは、平等なようで実はそうではないのだなあと感じるようになりました。
女	20代	専業主婦	既婚(配偶者有)	片方労働	2世代世帯	現在私は双子を妊娠中で仕事をやめました。今後仕事をしたいと思いますが、保育園に入れるか心配です。また、子育てと仕事を両立できるか心配ですが、色々市のサポートや家族のサポートなどを受けて頑張ろうと思います。桐生市がこのようなアンケートで地域の意見を聞こうとしてとても嬉しいです。ありがとうございます。
男	20代	学生	未婚		2世代世帯	高齢の方は意志が強く、悪い意味で言えば頑固である人が若い人より多い気がします。その点で、これからの社会を変えていくのは私たち若者のほうが有利であると思います。男性、女性がともに平等に生活する社会を実現させるためには、法律や制度を変えたところであり変わらないと思います。ボランティア活動や女性参加の社会活動を多くすることで、いろいろな人と出会うことができ、その中で各個人の考え方や行動が変わっていくことができるのではないのでしょうか。男性、女性が平等な社会を目指すには、まずは地域での交流を増やし、コミュニケーションが円滑に行えるようになることが一番であると思います。
男	20代	勤め人(常勤)	未婚		2世代世帯	女性管理職を「登用」しても「あの人は制度で管理職になったんでしょ?」「実力じゃないんでしょ?」と考えがちな雰囲気があると思います。男性の意識を改善する必要があると思います。まずは小さいころから「男女は平等」の考えを根付かせることが大切ではないのでしょうか? そのためにも教育に力を入れるべきではないのでしょうか?
男	30代	勤め人(常勤)	既婚(配偶者有)	共働き	2世代世帯	このアンケートまで知らない用語でした。もっと情宣して認知度を上げてください。
女	30代	勤め人(常勤)	既婚(配偶者有)	共働き	2世代世帯	女性は家事に育児におまけに外でも働いてとても忙しいです。でも、2足3足のわらじを履きながらも毎日をごこなしている女性はすごいです。そして頭の回転も速いです。一度に複数のことを処理できます。そんな女性達があらゆる場面で活躍できたら、生産性が高いのではないかと思います。
男	30代	学生	未婚		2世代世帯	志や情熱を持った20~40代の男女は首都圏(東京・神奈川など?)での仕事や生活を目指すように思うが、そのような者たちを惹きつける産業の誘致・発展が男女共同参画の前提・基盤として必要のように思う。

性別	年代	職業	結婚歴	共働き	家族構成	意見
男	30代	勤め人 (常勤)	既婚 (配偶者有)	片方労働	2世代 世帯	育児は女性にしかできないことがあるため、育児中の女性の意見を多く取り入れた施策を行ってほしい。
女	30代	勤め人 (非常勤)	既婚 (配偶者有)	共働き	2世代 世帯	制度はあっても使えない(職場・社会の雰囲気などによる)ことが多いと思います。制度は子育てを女性に任せてきた男性が作ったものであることが多いと思うので、それも「使えない制度」の原因になっていると思います。より現実的な使える制度の制定と、それを使えるような社会の意識改革が不可欠だと思います。それには現役の女性の意見を反映させていくことが大事だと思います。今後の桐生市の取り組みに期待します。
男	30代	勤め人 (常勤)	既婚 (配偶者有)	片方労働	2世代 世帯	女性が働きやすい職場にすることは悪いことではないが、育児中の女性が皆、幼い子供を置いて働きたいわけではないと思う。男性の給料が良ければ、また復職することが簡単であれば、育児に専念したいと思っている女性も多いと思う。「女性が働きやすい」以前に「女性が家庭に入ることを選べる」社会にしてほしい。
女	30代	勤め人 (非常勤)	既婚 (配偶者有)	共働き	2世代 世帯	男性が家庭、子供の事情で会社を休みやすくなれば、女性の負担が減ると思います。専業主婦をしていられるほどお金に余裕はありません。老後の事もあり、共働きで貯蓄しなければなりません。
女	30代	勤め人 (常勤)	既婚 (配偶者有)	共働き	2世代 世帯	男女ともにお互いが平等であるという意識を持つことが必要である。そのための教育と啓発が重要である。
男	30代	自営業	既婚 (配偶者有)	片方労働	2世代 世帯	育児休暇制度などがあり、実際に休暇の取れる職業は限られていて、多くの職業の方は育児休暇なんてとても無理なことだと思います。職場も親も子供も負担の無いようなサポートの充実が大切だと思います。
男	40代	勤め人 (非常勤)	未婚		2世代 世帯	女性一人のみならず、グループでの参画(組み合わせは友人・知人・家族など自由に)も同時に推進することで個人の負担となりそうなことなどのリスクも分担できると考えます。参画しやすい環境づくりをしてほしいです。
女	40代	勤め人 (非常勤)	既婚 (配偶者無)		3世代 世帯	男女共同参画といっても、女性は子供がいると子供が一番になってしまうのだが、子供が成長したら、家庭だけにとどまらず、仕事に復帰して、社会の一員としての役割を担える環境整備が必要。
女	40代	専業主婦	既婚 (配偶者有)	片方労働	2世代 世帯	働きたくても働けない女性がたくさんいます。特に子供が小さかったり、病気がち、預け先が無いなど。やる気のある女性が社会に出られるような政策を望みます。
女	50代	自営業	既婚 (配偶者有)	共働き	3世代 世帯	育児や介護が他人まかせでよいのでしょうか？自分の子供は自分で育てる。自分の親は自分でみる。そのための知力、経済力を得る努力をすることが大切だと思います。男女性差は当然あり、それを無視すべきではないと思います。行き過ぎた男女共同参画も疑問に思います(むしろ女性にとって都合のよい社会になっている印象もあと思っています。)
女	50代	専業主婦	既婚 (配偶者有)	片方労働	2世代 世帯	何よりも本人の意思が第一だと思うので、学生のころからの教育が必要だと思います。男性優位と感じている事がまず問題だと思う。
男	50代	勤め人 (常勤)	既婚 (配偶者有)	片方労働	2世代 世帯	以前のように1人の収入で子育てを出来る時代ではなくなっている。共働きの出来る環境を作るべきだと思います。また、介護が負担にならないようにしてください。
男	50代	勤め人 (常勤)	既婚 (配偶者有)	共働き	2世代 世帯	委員会等、女性と男性比率を半分とすべきだ。どちらかに偏ると話しが偏ってしまうと思っている。
女	60代	専業主婦	既婚 (配偶者有)	片方労働	夫婦のみ	長い間当然としてきたことを変えるのは時間がかかると思うが、続けることが大切だと思う。
女	60代	専業主婦	既婚 (配偶者有)	両方無職	2世代 世帯	女性が働きたいと思っても、夫の協力が不可欠ですので、そのところがネックですね。私も今は退職しておりますが、ずっとパート勤務の時短で働きました。

性別	年代	職業	結婚歴	共働き	家族構成	意見
女	60代	その他	既婚 (配偶者無)		1人世帯	税法改正し、女性が働ける時間を増やすこと。103万枠から撤廃したらどうか。
女	60代	勤め人 (非常勤)	既婚 (配偶者無)	共働き	1人世帯	弱い立場で働いている女性の労働ユニオンのような窓口を作って、企業に掛け合ってほしい。
男	60代	自営業	既婚 (配偶者有)	片方労働	2世代世帯	男性60%、女性40%位の比率が出来れば良いと思います。
女	70代	その他	未婚		1人世帯	何を唱えても桐生市は覇気が無いように思う。頑張っている方もいても、他県のように皆でがえない。もっと男女唱える前の問題でもっと若い方々が覇気のある行動を起こして、皆で市を良くしていくことです。男女唱える前のことが空では仕方ない。
女	70代	勤め人 (常勤)	既婚 (配偶者有)	片方労働	夫婦のみ	子供の時から男子にも小学校で女性に対する性教育や生きる事への話し合い、役割分担を教育していかないと成人してから急にとはならないと思います。
女	70代	無職	既婚 (配偶者無)		2世代世帯	女性が社会進出することが望ましいと思いますが、男性の役割、女性の役割をはきちがえないようにお互いに協力し、しっかり子育てすることが大事だと思います。その上で、子供がある程度成長した段階で社会進出するのが望ましいのではないかと思います。
女	70代	無職	既婚 (配偶者有)	両方無職	3世代世帯	高齢者には遠い話
女	70代	専業主婦	既婚 (配偶者有)	両方無職	3世代世帯	育児がネックにならないように…と思います。
男	70代	無職	既婚 (配偶者有)	両方無職	2世代世帯	男性とか女性とかにこだわらず、動きやすくすることが大事だと思う。
女	70代	専業主婦	既婚 (配偶者有)	共働き	夫婦のみ	女性も差別されないで意見ができればよい社会になると思います。家事労働は女に押し付けない。
女	70代	専業主婦	既婚 (配偶者有)	両方無職	夫婦のみ	制度よりも意識改革が必要だと思います。まだまだ女性としてのすべての面でキャリアが不足しています。男性のサポートが必要(歴史的に男性優位の時代が続き、いきなり首長、頂点につかされてもどうしてよいか分からないことはたくさんあります。)

3 参考資料

「男女共同参画に関する市民意識調査」御協力をお願い

日頃から市政に対し、御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

桐生市では、性別にとらわれず、一人一人が安心して生活し、あらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会の実現を目指して、「桐生市男女共同参画計画（平成23年度～平成27年度版）」に沿って様々な施策事業に取り組んでおります。

このたび「桐生市男女共同参画計画（平成28年度～平成32年度版）」策定における基礎資料とし、今後の施策事業に生かすことを目的として、市民の皆様にも男女という性別に対する考えや実態について意識調査をすることになりました。

20歳以上、80歳未満の市民の皆様の中から1,000人を無作為に選びましたところ、あなた様をお願いすることになりました。

記入内容は無記名で、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

平成27年2月

桐生市長 亀山 豊文

御記入にあたってのお願い

1. 回答は、封筒のあて名の御本人が御記入ください。（御本人が記入できない場合は御家族等の代筆でもかまいません）
2. 御記入は、黒ボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
3. 質問ごとにあてはまる回答の番号を、右回答欄に記入してください。
4. 回答の数は、質問によって示してありますので、それに合わせて該当番号を記入してください。
5. 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的な内容を記入してください。
6. 質問によっては、回答していただく人が限られる場合がありますので、断り書きに従ってください。
7. 御記入後は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに **平成27年3月6日（金）までに**御返送ください。 桐生市本庁市民生活課・両支所市民生活課、又はお近くの公民館へ御提出いただくこともできます。

【問い合わせ先】

〒376-8501 桐生市織姫町1-1

桐生市役所市民生活部

市民生活課 男女共同参画推進・生活係

電 話 46-1111 内線317

《こちらの調査票を記入後に返送してください》

はじめに、あなた御自身についておたずねします。
あてはまるものの番号を右の回答欄に記入してください。

回答

F 1 (性別) 1. 女 2. 男

F 1	
-----	--

F 2 (年齢) 平成27年1月29日現在

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70～79歳

F 2	
-----	--

F 3 (職業等) 1. 自営業 (商工業・農林業・サービス業等)
 2. 勤め人 (常勤の人)
 3. 勤め人 (パート、アルバイト、嘱託等の非常勤の人)
 4. 専業主婦・専業主夫
 5. 学生
 6. 無職
 7. その他 ()

F 3	
-----	--

F 4 (結婚暦) 1. 既婚 (配偶者あり・事実婚含む)
 2. 既婚 (死別・離別のため配偶者なし)
 3. 未婚

F 4	
-----	--

F 5 (共働き) F 4 (結婚暦) で、1.の回答の人に伺います。
1. 共働き
2. どちらか1人だけ働いている
3. 両方働いていない

F 5	
-----	--

F 6 (家族構成)
1. 一人世帯
2. 夫婦のみ (事実婚含む)
3. 二世帯世帯 (親と子が同居)
4. 三世帯世帯 (親と子と孫が同居)
5. その他 ()

F 6	
-----	--



男女共同参画に関する意識調査にお答えください

I 男女平等意識についておたずねします

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたは賛成ですか。反対ですか。(回答は1つ)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. どちらともいえない

問1	
----	--

問2 以下の場面での男女の地位の平等感に関する実態について、あなたはどのように思いますか。

(各項目1つ選択)

	非常に男性優遇	どちらかといえば男性優遇	平等である	どちらかといえば女性優遇	非常に女性優遇	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
③ 職場	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問2	
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

問2ーア 上記の質問で ⑦社会通念・慣習・しきたりなどに 1又は2と回答した方にお聞きします。

どのようなときに男性優遇と感じますか。下記に具体的に御記入ください。

II 仕事と職場についておたずねします

問3 この質問は、男女がいる職場で仕事をしている人だけお答えください。

あなたの職場において、次のような事がありますか。(該当するもの全て)

1. 賃金に男女差がある
2. 昇進や昇格に男女差がある
3. 重要な決定をする会議などに参画することに男女差がある
4. 教育、訓練の機会や職場研修に参加するのに男女差がある
5. 募集や採用の面で男女差がある
6. 職種やポストに男女差がある
7. 女性が結婚や出産すると勤め続けにくい雰囲気がある
8. 女性が育児休業の取得、子育てのための休暇をとりにくい雰囲気がある
9. 男性が育児休業の取得、子育てのための休暇をとりにくい雰囲気がある
10. 介護や看護のための休暇をとりにくい雰囲気がある
11. 雑用や補助的な仕事は女性がやる傾向がある

問3	

問4 あなたは、女性が職場で仕事を持つことについて、どのように考えますか。(回答は1つ)

1. 結婚や出産にかかわらず、仕事は持ち続けたほうがよい
2. 結婚するまでは仕事をするが、結婚したら仕事は辞めたほうがよい
3. 出産するまでは仕事をするが、出産したら仕事は辞めたほうがよい
4. 結婚や出産で一時仕事を辞めるが、子どもが大きくなったら再び仕事を持つほうがよい
5. 女性は仕事をもたないほうがよい
6. わからない

問4	
----	--

問5 あなたは、女性が結婚・出産後も職場で仕事を続けたり、再就職したりするには特にどのようなことが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

1. 家族で家事・育児・介護などを協力する
2. 育児や介護が必要なときは、友人、知人に協力してもらう
3. 保育所や学童保育、老人ホームの整備や介護サービスなどを充実する
4. 職場での育児・介護休業制度や労働時間の短縮などの条件を改善する
5. 再就職のための研修や相談の機会を提供する
6. 結婚・出産後の女性の採用を増やす
7. その他

問5	

()

Ⅲ 結婚観、家庭生活についておたずねします

問6 ①～④の結婚、子どものことについて、あなたの意見に最も近いものの番号を選んでください。

(各項目1つ選択)

	そう 思う	そ う ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
① 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
② 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
③ 結婚したら、自分自身のことより家族を中心に考えて生活したほうがよい	1	2	3	4	5
④ 結婚しても、うまくいかなければ、離婚してもよい	1	2	3	4	5

問6	
①	
②	
③	
④	

問7 この質問は、現在結婚し、夫婦が同居している人だけお答えください。(事実婚含む)

次にあげる家庭生活のことについて、あなたの家庭では、どのように役割分担していますか。

(各項目1つ選択)

	主 に 夫	主 に 妻	夫 婦 同 じ 位	そ の 他
① 食事のしたく・食材の買い物・片づけ	1	2	3	4
② そうじ	1	2	3	4
③ 洗たく	1	2	3	4
④ ゴミ出し	1	2	3	4
⑤ 育児・しつけ	1	2	3	4
⑥ 保育行事・学校行事・教育に関することへの参加	1	2	3	4
⑦ 家族の看護・介護	1	2	3	4
⑧ 町内会や地域の行事等の活動	1	2	3	4
⑨ 生活費を得る人	1	2	3	4
⑩ 家計管理	1	2	3	4
⑪ 家の中の簡単な修理、修繕	1	2	3	4

問7	
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	

問8 あなたは、子育ての方針について、どのように考えますか。(回答は1つ)

1. 男女わけへだてなく育てるのがよい
2. 男は男らしく、女は女らしく育てるのがよい
3. わからない
4. その他

[]

問8	
----	--

問9 あなたは、男性が育児休業を取得することについて、どのように考えますか。(回答は1つ)

1. 制度があれば積極的に取得したほうがよい
2. 制度があっても取得しないほうがよい
3. 必要があれば取得したほうがよい
4. わからない
5. その他

[]

問9	
----	--

IV 老後生活、介護についておたずねします

問10 あなたが、老後について特に不安に思うことについて、あてはまるものを選んでください。

(回答は3つまで)

1. 生活費のこと
2. 面倒をみてくれる人がいない
3. 配偶者に先立たれること
4. 健康のこと
5. 安心して住める家がないこと
6. 働きたいけど仕事がないこと
7. 楽しめる趣味や生きがいがないこと
8. 特に不安はない
9. その他 []

問10	

問11 あなた自身が、介護が必要になった場合、主に誰に介護してもらいたいですか。(回答は1つ)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. その他の親族
5. 施設や訪問による介護士
6. その他 []

問11	
-----	--

問12 現在、介護をしている方、5年以内に介護をした経験がある方にお尋ねします。どのような対応をしていますか。又は対応をしましたか。(回答は1つ)

1. 訪問介護、特別養護老人ホームなどの施設やサービスを利用している、又は利用した
2. 自分と家族で助け合って対応している、又は対応した
3. 家族に任せている、又は任せた
4. その他 []

問12	
-----	--

問13 あなたは、介護が必要な家族がいる場合、どのように対応したいと思いますか。(回答は1つ)

1. 訪問介護、特別養護老人ホームなどの施設やサービスを利用したい
2. 自分と家族で助け合って対応したい
3. 介護休業等の制度を利用して対応したい
4. 家族に任せたい
5. わからない
6. その他

{

}

問 13	
------	--

V 人権についておたずねします

問14 あなたが、女性の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことについてですか。
(該当するもの全て)

1. 男女の固定的な性別役割分担(「男は仕事、女は家庭」等)を押し付けること
2. 夫から妻(親しい関係の男性から女性)への暴力
3. 職場でのセクシャル・ハラスメント(性的ないやがらせ)、おどし、いじめ
4. 女性のヌードを主にした雑誌やアダルトビデオなど
5. 職場での性別による差別待遇
6. 男性からの女性を蔑視した言動
7. 特にない
8. その他

{

}

問 14	

問15 配偶者間や親しい関係の男女間の暴力についてお聞きします。(各項目1つ選択)

	と何 がある 回も 受けた	あ る (1・ 2 度)	受 け た こ と が	な い 受 け た こ と が	な い し た こ と が な	し た こ と が あ る (1・ 2 度)	と何 がある 回も したこ
①身体的な暴力 (なぐる・ける・物を投げつける・ つきとばす・刃物でおどす等)	1	2	3	4	5	6	
②精神的な暴力 (おどす・人格を否定する事を言 う・無視する・行動を監視する等)	1	2	3	4	5	6	
③性的な暴力 (性行為や中絶を強要する・避妊に 協力しない等)	1	2	3	4	5	6	
④経済的な暴力 (生活費を渡さない、働くことを 妨害する等)	1	2	3	4	5	6	

問 15	
①	
②	
③	
④	

問16 前問（問15）で（何回も受けたことがある）又は（1・2度受けたことがある）と回答した方に伺います。その事をどこか（誰か）に相談しましたか。（該当するもの全て）

1. 警察に連絡・相談した
2. 相談所やその他の民間相談機関に相談した
3. 上記以外の公的な機関に相談した（女性相談センターなど）
4. 民間の専門家や専門機関（弁護士やカウンセラー・民間シェルターなど）に相談した
5. 医療関係者（医師・看護師など）に相談した
6. 家族や親戚に相談した
7. 知人・友人に相談した
8. どこ（だれ）にも相談しなかった
9. その他 []

問 16	

問17 あなたやあなたのまわりの人が下記の差別や人権侵害を受けた経験はありますか。（該当するもの全て）

1. 子どもへのいじめ・虐待
2. 女性に対する差別
3. 障害のある人に対する差別
4. 高齢者に対する差別
5. 外国籍の人に対する差別
6. 同和地区出身者に対する差別
7. HIV感染者・エイズ患者に対する差別
8. その他 []

問 17	

VI 社会参画、地域活動についておたずねします

問18 あなたは、現在、どのような地域活動や社会活動に参加していますか。（該当のもの全て）

1. 自治会・婦人会などの地域活動
2. PTAや育成会の役員、委員
3. ボランティア活動
4. 行政（審議会や委員会など）への参画や政治に関わる活動
5. 趣味や教養、スポーツなどの活動
6. 活動していない
7. その他 []

問 18	

問19 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現する社会をめざしていますが、家庭と仕事、地域活動など、調和のとれた生活をおくるために、あなたは、特にどのようなことが必要だと思いますか。（回答は3つまで）

1. 男女の性別役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）や性差別についての社会通念や慣習、しきたりなどを改める
2. 男性が家事・育児・介護・地域活動などをするに男女とも抵抗感をなくす
3. 仕事中心という社会全体の仕組みや考え方を改める
4. 労働時間短縮や休暇制度を普及させる
5. 夫婦、家族で家事などを協力しあうことを十分に話し合う
6. 家事などを男女で協力しあうようなしつけ、子育てをする
7. その他 []

問 19	

問20 職業や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うものはどれですか。

1. 都道府県、市区町村の首長 (該当のもの全て)
2. 国会議員、県議会議員、市区町村議会議員
3. 国家公務員や地方公務員の管理職
4. 弁護士、裁判官、検察官
5. 学校の校長・教頭、大学の教授
6. 国連などの国際機関の管理職
7. 民間企業の管理職
8. 企業家や経営者
9. 労働組合の幹部
10. 農業委員や農協の役員
11. 自治会長、区長、町会長など地域の役員
12. その他 []

問 20	

問21 内閣府では、政策・方針決定の場への女性の参画率30%を目標にしていますが、現在、桐生市では市民参加で組織している各種委員会等の女性委員の割合は22%程度です。桐生市の委員会等への女性の参画を図るうえで、あなたは、特にどのようなことが大切だと思いますか。

(回答は3つまで)

1. 女性議員を増やす
2. 男女の比率が偏らないように会の人数を割当制などにする
3. 女性が各分野で活躍し実績を上げる
4. 女性の活躍を促す学習機会を、行政等が提供する
5. 企業、官公庁等で女性管理職を登用する
6. 自治会や地域の活動の長、役員に女性を増やす
7. 女性自身が積極的に政策・方針決定の場に参画するようにする
8. 女性が参画しやすくするために周囲の支援、協力を得やすくする
9. 女性が参画しなくても問題ないので現状でよい
10. その他 []

問 21	

VII 市の政策等についておたずねします

問22 あなたは、次のことばや法律、市の事業などについて見たり聞いたりしたことがありますか。
(該当のもの全て)

1. 男女共同参画社会
2. 男女共同参画社会基本法
3. 男女雇用機会均等法
4. 育児・介護休業法
5. 女子差別撤廃条約
6. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防法)
7. ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)
8. 桐生市男女共同参画計画
9. 桐生市男女共同参画の情報を提供している情報紙「はじめよう」
10. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

問 22	

問23 男女共同参画社会を進めるために、市ではどのような取組みに力を入れる必要があると思いますか。
(該当のもの全て)

1. 男女平等意識を深めるための学習機会、情報提供を充実する
2. 市の審議会、委員会等に積極的に女性を登用する
3. 保育所や学童保育を充実する
4. 高齢者や障害者に対する介護サービスを充実する
5. 男女共同参画に関する条例等を制定する
6. 職場での男女平等の促進と労働条件の向上を図る
7. 地域活動やボランティア活動の促進を図る
8. 学校教育や社会教育で男女共同参画を推進する教育を充実する
9. その他 []

問 23	

VIII 国が提唱する「女性が輝く社会の推進」等についておたずねします

問24 女性の活躍を推進するために、行政に期待することは何ですか。(該当のもの全て)

1. 県外進学女性・県内大学生への U. I ターン支援
2. 出産や子育てを理由に一旦離職した女性の再就職支援
3. 妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた支援
4. 学生や社会人のキャリア形成支援
5. 起業等チャレンジに向けた支援
6. その他 []

問 24	

問25 女性が働きやすい職場にするために何が必要だと思いますか。(該当のもの全て)

1. 職場復帰支援の充実
2. 育児休暇制度の充実
3. 短時間勤務制度の充実
4. 保育施設の設置
5. 男性職員の意識改革
6. 管理職の意識改革
7. 女性職員の意識改革
8. 女性管理職を増やす
9. その他

{

}

問 25	

IX 男女共同参画に関する意見がありましたらご記入ください

{

}

御記入済の調査票は返信用の封筒に入れ切手を貼らずに 3月 6日(金)までに 御返送ください。
桐生市本庁市民生活課・両支所市民生活課、又はお近くの公民館へ御提出いただくこともできます。

○集計結果は後日、桐生市ホームページでお知らせする予定です。

*** 御協力大変ありがとうございました ***